

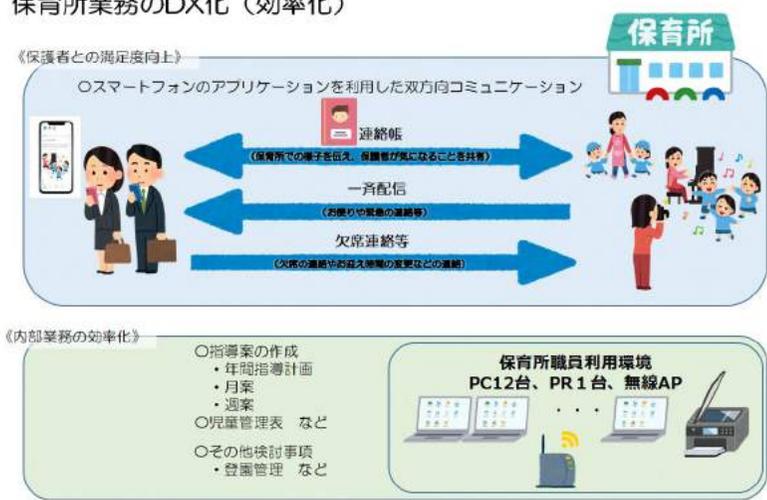
事業概要 【給付費等管理システム導入事業】

自治体名	北海道江別市	人口	118,749人	事業費	10,988千円
事業概要	<p>各施設と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データを一括管理することで、施設と本市の業務負担の軽減及び給付の最適化を図り、施設・事業所の経営や業務の改善につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の職員配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 	<p>園児・職員情報 配置情報 加算申請</p> <p>エラーチェック 給付費計算 データ管理</p> <p>申請管理 承認・差戻 データ突合</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムによる給付費申請率 ②業務従事時間の減少分（当市合計） 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムの満足度 ②業務従事時間の減少分（市内施設合計） 			

事業概要【子育てアプリ導入事業】

自治体名	北海道千歳市	人口	97,960人	事業費	996千円
事業概要	<p>妊娠から出産、子育て期まで、それぞれのライフステージにおいて必要となる情報のプッシュ通知や、各種手続きのオンライン化等が可能となる「子育てアプリ」を導入し、時間のない子育て世代に対する場所や時間に捉われないサービスの提供や、アプリを通じた家族間での情報共有による子育て期のあらゆる不安や孤独感の解消など、「切れ目のない子育て支援の充実」を目指し、子育て世代がしあわせを実感できるまちづくりを目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【子育てアプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て関連情報の発信 妊娠から出産、子育て期までの各種情報 子育て関連イベント情報 保育園、幼稚園、支援センター情報 など 子育てガイド、子育て情報サイト等との連携 子育て特典カード機能 カードの電子化 協賛店の追加検討 母子手帳機能 子どもの成長記録、管理 予防接種、健診スケジュール管理 など <p>【予約サービス・電子申請】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付申請 各種相談、イベント予約 など 	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>■ 子育て関連情報の発信(プッシュ通知)</p> <p>■ 子育てガイド、子育て情報サイト等との連携</p>  <p>子育てガイド・情報サイト</p> <p>アプリと連携 ※情報収集が容易に</p> <p>■ 子育て特典カード</p>  <p>アプリ導入により電子化</p> <p>■ 母子手帳機能</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 予防接種管理 身体発育曲線 健診記録管理 </div> <p>■ 予約サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付申請・ネウボラ利用申請 各種教室申込・各種イベント予約 など <p>■ 電子申請との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> HARP電子申請サービス・マイナポータル・LINE </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育てアプリの登録者数 ②予約サービスの利用者数 ③子育てアプリを通じた情報発信の回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者アンケートによるアプリの満足度 ② ③ 			

事業概要 【保育所業務のDX推進事業】

自治体名	北海道滝川市	人口	37,376人	事業費	1,518千円
事業概要	<p>保育所業務を支援する I C Tシステムを導入し、業務の D X 推進を図ることで、保護者の利便性向上による満足度の向上と内部業務の効率化により保育士の業務負担の軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保し、保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者がスマートフォンのアプリを利用することで <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳に代わるアプリにより、保護者がすぐに保育所に伝えることができ、保育士の間でも共有できる ・園児の欠席や遅刻の連絡をアプリから行える。 ・行事予定や給食献立などをアプリから確認できる。 ・保護者は、家族間で子どもの情報を共有できる。 ・園児の台帳をシステム管理することで、保育士間の情報共有をスムーズに行える。 ・指導案などの作成も過去の情報活用が容易になり、効率的に行える。 	<p>保育所業務のDX化（効率化）</p>  <p>《保護者との満足度向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スマートフォンのアプリケーションを利用した双方向コミュニケーション 連絡帳 (保育所での電子を伝え、保護者が気にならなことを共有) 一斉配信 (お便りや緊急の連絡等) 欠席連絡等 (欠席の連絡や遅欠席等の変更などの連絡) <p>《内部業務の効率化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導案の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画 ・月案 ・週案 ○児服管理表 など ○その他検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・登録管理 など <p>保育所職員利用環境 PC12台、PR 1 台、無線AP</p>			
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のうちシステムを利用している人の割合 ②保護者からの連絡のうちアプリの利用割合 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の利用満足度（アンケートによる） ② ③ 			

事業概要 【子ども通園センター I C T 導入事業】

自治体名	北海道砂川市	人口	15,548人	事業費	700千円
事業概要	<p>砂川市の近隣2市4町で運営する障がい児通所支援事業所において、現状保護者・施設間の連絡体制や情報共有に遅滞が発生しており、保護者・職員の双方で負担となっていることから、I C Tを導入することで緊急時等の一斉連絡が可能になり、情報伝達の遅延が解消され、アプリによる情報の確認や閲覧が常時可能になる。また、データの蓄積による振り返りも容易になるため、情報の共有と利便性の向上が図られ、保護者の負担が解消される。さらに、市・町民サービスと療育支援環境の充実が図られ、職員業務の効率化を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保護者連絡機能のスマート化】 保護者が電話等で行っている欠席の連絡が、スマートフォンやタブレットから可能になる。職員と保護者が必要な連絡を随時配信することができ、いつでも確認や閲覧が可能になる。また、画像・Word・Excelファイルの添付も可能となり、緊急連絡や会報、療育活動の情報伝達も容易になる。</p> <p>【登園管理の自動化】 登降園時に玄関に設置したタブレットを操作することで、これまで保護者が紙面にサインしていたものが、タブレットの簡単操作で登録が可能になる。</p> <p>【関係書類のデジタル化】 システムを通してデータの一元管理が可能になり、設定した期間内でサービス利用予約の確認や申し込みが可能になる。サービス提供記録の自動作成も可能になる等、保護者の負担が軽減される。</p>		<p>児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援向け施設運営システム</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>保護者との情報共有・児童の療育施設運営・請求管理が可能</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>利用台数の制限なし</p> <p>+</p> <p>スタッフごとに個別アカウントを発行</p>  <p>複数人で同時接続ができ、制限もありません。利用できる機能も制御可能</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>業務改善</p> <p>+</p> <p>データを蓄積し、情報を共有</p>  <p>日々の記録や活動が請求データに連携します。現地でなくても作業・確認ができます</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>保護者様へ安心を提供</p> <p>+</p> <p>1人1人の発達指数の記録</p>  <p>保護者の方とのメッセージのやりとり、情報の開示、利用予定日の確認ができます</p> </div> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①保護者のシステム利用率</p> <p>②保護者からの欠席連絡におけるアプリの利用割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保護者の利用満足度</p>		

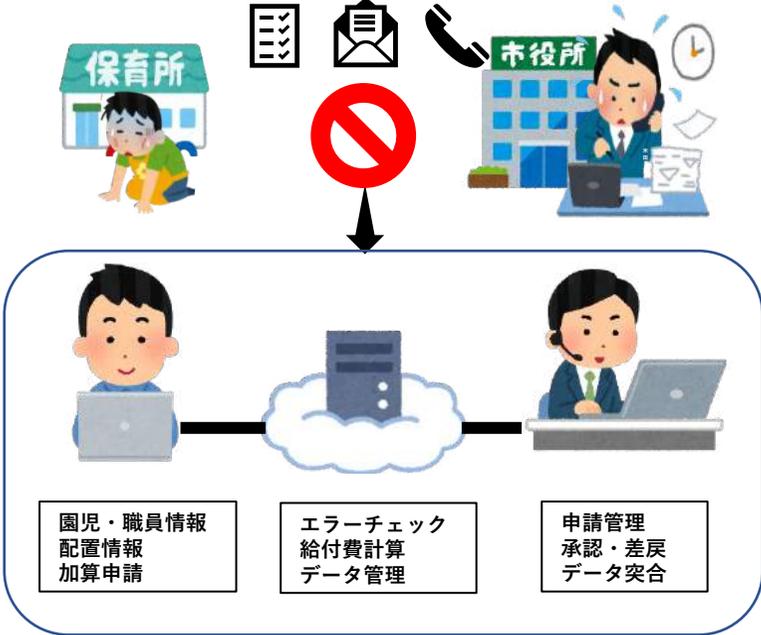
事業概要 【放課後児童クラブ業務支援システム導入事業】

自治体名	北海道登別市	人口	44,479人	事業費	4,896千円
事業概要	<p>近年、学校から児童クラブへ無事到着したかどうか心配する低学年の保護者が増えていることや、保護者が直接来所する場合を除き、保護者から児童クラブへの連絡手段は電話のみであることから、放課後児童クラブ（7か所）へのICTを活用した業務支援システムを導入し、放課後児童支援員と保護者におけるコミュニケーションの円滑化を行う。また、放課後児童支援員の業務効率化を実現させ、これまで事務処理に要していた時間を、こどもと関わる時間に充てることにより、学童保育サービスの充実を図る。</p>				
具体サービス	<p>【放課後児童クラブ業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを活用した登退所管理機能（アプリを通じて保護者と共有） ・児童クラブと保護者間の連絡機能（アプリを通じてメッセージ、おたより、アンケート、欠席・早退の連絡等） ・児童クラブ間での情報共有（事故、ヒヤリハット情報等） 	<p style="text-align: center;">業務支援システムイメージ</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者におけるアプリの利用率 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者における業務支援システムの満足度 ② ③ 			

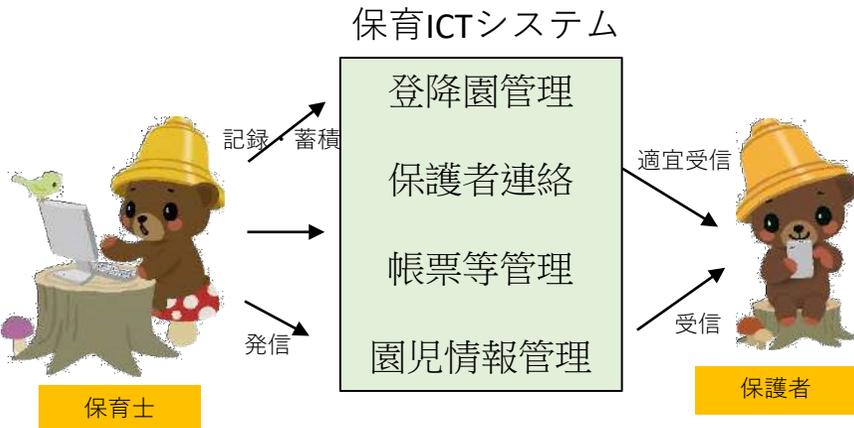
事業概要 【給付費等申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	北海道北広島市	人口	56,936人	事業費	4,400千円
事業概要	<p>各施設と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データを一括管理することで、施設と本市の業務負担の軽減を図り、保育士の採用、待機児童状況の改善につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育、病児保育の人数報告 	 <p>園児・職員情報 配置情報 加算申請</p> <p>エラーチェック 給付費計算 データ管理</p> <p>申請管理 承認・差戻 データ突合</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設職員の業務従事時間数 システムによる給付費申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> システムの満足度 待機児童数 施設からの給付申請の差戻率 			

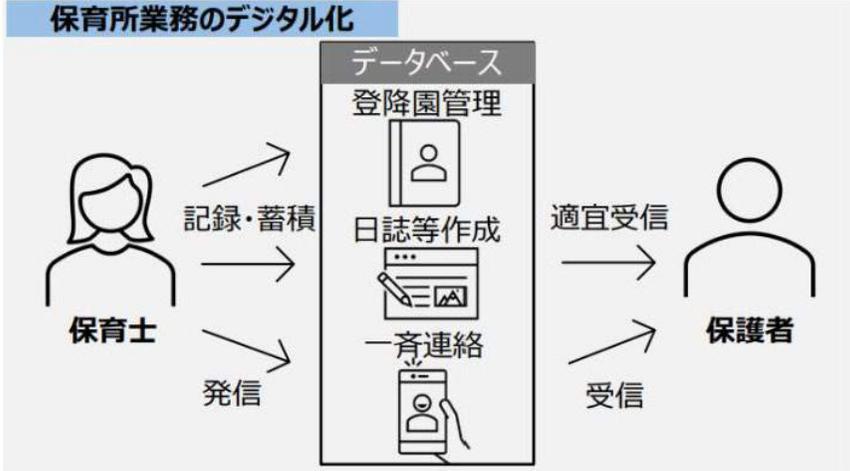
事業概要 【保育所等運営支援システム導入事業】

自治体名	北海道石狩市	人口	57,727人	事業費	5,747千円
事業概要	<p>市に対し、教育・保育施設等がメールや郵送で行っている施設の運営費となる給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムを活用してデジタル化し、施設の業務負担の軽減を図ることで、保育士等の人材不足の解消や待機児童の改善等に繋げることが可能となり地域の充実した子育て環境の構築に貢献する。</p>				
具体サービス	<p>【保育所等運営支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育、病児保育の人数報告 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用施設数 ②システムによる給付費／補助金の申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育・保育施設担当者のシステムの満足度 ②待機児童数 ③市外施設の利用者数 			

事業概要 【保育ICT導入事業】

自治体名	北海道上川町	人口	3,153人	事業費	6,250千円
事業概要	<p>上川町立中央保育所(R7～上川町認定こども園)に保育ICTを導入する。保育ICTを導入することで、登園降園情報及び欠席連絡などをシステムで登録・管理をすることができ、園児の安全対策及び保護者負担の軽減を図ることができる。また、保育事務をシステム内で行うことで、職員の事務時間が削減し、その分園児と向き合う時間が増え、保育及び教育の質の向上につながる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務ICT化】</p> <p>①登降園管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の欠席連絡をスマホアプリで入力。保育士(保育教諭)の電話対応などの時間の削減につながる。 出欠情報をシステムで管理することで、確認漏れなどを防ぎ、園児の安全対策につながる。 <p>②保護者連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡やお便り配信、連絡帳のやり取りなどをアプリをとおしておこなうことで、電話での煩雑なやり取りによるミスを減らすことにつながる。 <p>③帳票管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の日誌や発達経過記録、月案等がデータ連携し、「連動性」を重視した指導案等の作成が可能になる。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリダウンロード数 ②欠席連絡に占めるアプリの利用割合 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育ICT利用保護者満足度 ② ③ 			

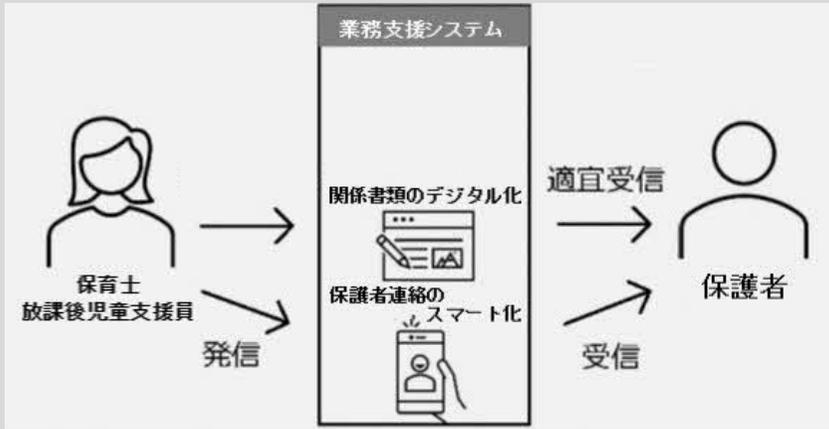
事業概要 【認定こども園ICT化による保育環境・子育て環境向上事業】

自治体名	北海道浜頓別町	人口	3,290人	事業費	1,911千円
事業概要	<p>浜頓別町認定こども園では、保護者とのやり取りを電話や紙で行っており、保護者にとって情報の発信・受信できる場面が限定的なものとなっている。また保育教諭の業務についても、指導案や日誌等の書類作成、連絡帳などの手書き業務等、事務作業も多く、超過勤務の増加に繋がっている。そこで、ICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と保育教諭の業務負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> QRコードの読み込みによる、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） 園児に関する連絡事項について保育教諭と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は電話もしくは登園時、降園時の口頭伝達） 緊急連絡やお便りをアプリにて配信することができる。（現在は紙、もしくは電話での連絡） <p>【帳票の連動による保育教諭業務の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童票、出席簿、園日誌等のデータ連携による転記作業の省力化等。 デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。（現在は紙・口頭での共有） 		<p>保育所業務のデジタル化</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリの利用率 ②こども園から保護者への情報発信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリを利用した保護者の満足度 		

事業概要 【保育等ICTシステム導入事業】

自治体名	北海道斜里郡小清水町	人口	4,423人	事業費	13,729千円
事業概要	令和6年11月開園予定の町立認定こども園（小清水町立小清水認定こども園（仮称））にWi-Fi環境を整備し、保育等ICTシステム（コドモン）を導入することで保護者と認定こども園の情報共有の遅滞解消、保護者と職員間のコミュニケーションの円滑化、職員の業務効率化の実現を図り、職員が子どもと向き合う時間を確保し、教育・保育の質の向上を図る。				
具体サービス	<p>【保護者連絡のスマート化】 保護者が電話や口頭、手帳で行われていた欠席や早退等の連絡を導入するシステムで常時欠席等の連絡が行えるようになること、町立認定こども園からの情報をスムーズかつ確実に受け取れること、保護者が職員との間での子どもの様子の情報を詳細に共有することができる。</p> <p>【職員の業務効率化】 Wi-Fi環境を整備し、システムを導入することにより、職員のシフト管理や月案・週案などの資料の作成の作成時間が短縮できることで、業務の効率化の実現、職員が子どもと向き合う時間を確保ができ、教育・保育の質の向上を図ることができる。</p>	<p>The diagram illustrates the interaction between the town-run certified childcare center (町立認定こども園) and guardians (保護者) through the ICT system (ICTシステム). The system acts as a central hub for various communication and management tasks. On the left side, the center handles 'Shift management and document creation' (シフト管理・資料作成), 'Attendance and early departure confirmation' (欠席・早退確認), and 'Information distribution' (情報発信). On the right side, guardians handle 'Attendance and early departure confirmation' (欠席・早退連絡), 'Information reception' (情報受信), and 'Sharing of children's status' (子どもの様子の共有). Additionally, there are direct connections for 'Attendance and early departure confirmation' (登園降園確認) and 'Attendance and early departure confirmation' (登園降園連絡) between the center and guardians.</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者のうちシステム利用登録者の割合 ②欠席連絡にけるアプリの利用割合 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職員の時間外労働の削減 ②保護者アンケートによる利用満足度 ③ 			

事業概要 【デジタルの力を活用した子ども・子育て支援環境向上事業】

自治体名	北海道別海町	人口	14,200人	事業費	8,336千円
事業概要	<p>町立保育所（7か所）にデジタルの力を活用した業務支援システムを導入し、サービスによる職員（保育士及び栄養士）と保護者の間のコミュニケーションの円滑化と職員の業務効率化を実現させ、北海道別海町の子ども・子育て支援環境の向上を図る。また、保護者から欠席をする際の連絡や、園から保護者に対しての緊急の連絡がいまだに電話によるアナログな対応であることに対して、不満の意見が上がっており、これらの課題解決を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【関係書類のデジタル化】 システムを介し利用者台帳や保育記録など関係書類をデジタル化する。 一元管理により転記の手間が省けるほか、職員間の効率的な情報共有ができる。</p> <p>【保護者連絡のスマート化】 保護者が主に電話で行っている欠席や早退等の連絡を保護者用アプリからできるようになり、システムで受付し、登録する。 保護者用アプリを介し職員が保護者と必要な連絡を随時行うことができるほか、緊急連絡やお便りの配信、アンケートなどを行うことができる。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリ利用率 ②欠席連絡におけるアプリの利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サービス利用満足度 ②保育士（正職員）の超過勤務削減時間 		

事業概要 【母子健康手帳アプリの活用による子育て支援事業】

自治体名	青森県大間町	人口	4,777人	事業費	218千円
事業概要	<p>当町では子育てに関する支援が不足しており、また、子育て支援情報が町ホームページや広報誌での周知のみのためタイムリーな情報提供ができていない状況である。母子健康手帳アプリ『母子モ』の導入により各種健診・予防接種等の記録を電子化することで、予防接種及び健診の日程管理や通知が可能となり、利用者の不安感が軽減し、また、職員の業務効率化により他の子育て支援事業拡充に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ 母子モ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子手帳省令様式に応じた各種記録 計画的な予防接種を支援するスケジューラー 子どもの月齢に応じた子育て支援情報発信 		 <p>The infographic illustrates the '母子モ' (Mother and Child) app's benefits and features. It shows a smartphone with the app interface, three main benefit areas: '負担・不安の減少' (Reduction of Burden and Anxiety), 'サポートの充実' (Support Enhancement), and '充実感の増加' (Increase in Satisfaction). A timeline below these shows stages from pregnancy to childcare. Three detailed boxes describe: 1) '母子健康手帳機能' (App Functionality) for digitalizing records, 2) '予防接種スケジューラー' (Vaccination Scheduler) for planning and notifications, and 3) '地域子育て情報配信' (Local Childcare Information) for sharing local resources.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子健康手帳アプリのダウンロード累計数 母子健康手帳アプリのアクセス件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子健康手帳アプリの満足度 		

事業概要 【子育て相談記録システム導入事業】

自治体名	岩手県花巻市	人口	91,194人	事業費	19,848千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要
市の基幹システムである住民情報システムと連携した「健康かるて」を機能を拡充して、乳児・母子の情報、児童相談記録情報などの相談記録等をデジタル化することで、検診情報などを一元的に管理・閲覧し、様々な相談事案の支援につなげる。

【子育て相談記録システム】

- ・住民サービスの向上
市民が各種相談を行う際、相談員が不在でも相談経過を情報共有できることから、窓口を変えることなくワンストップで対応可能となり、複数の窓口で適切に継続的な支援を受けられ利便性が向上する。
- ・支援アプローチの多角化
相談先となる各担当課と連携している要保護児童対策地域協議会と情報共有が図られることにより、相談者は最適かつ重層的な支援を受けることが可能となる。
- ・業務の質の効率化
各種相談情報をシステムから閲覧できるようになるため、各部署の担当職員が迅速かつ適切に情報を共有することが可能となり関係機関との連携強化が図られる。

【基幹システム】

The diagram illustrates the system architecture. At the top is the 'Resident Information System' (yellow cylinder) connected to the 'Health Care' system (blue box). Below this, a central figure represents the user, with arrows indicating 'Viewing/Recording' (閲覧・記録) and 'Information sharing' (情報共有). To the right, a list of expanded functions includes: 'Infant information (Health creation, Longevity welfare, Disability welfare) + Function expansion', 'Child consultation (Local welfare)', and 'Checkup information'. Below the user, three roles are shown: 'Citizen (Consultant)' (blue), 'Municipality of Hanamaki' (yellow), and 'Child Protection Regional Council' (green). Arrows show 'Consultation without changing windows' (窓口を選ばず相談) from the citizen to the municipality, 'Support and service provision' (支援・サービス提供) from the municipality to the council, and 'Appropriate support' (適切な支援) from the council back to the citizen.

主な KPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相談記録の登録件数（年度末） ②要対協登録児童数（年度末） 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①解決に向けて方向性が見出せるようになった女性の割合 ②解決に向けて方向性が見出せるようになった児童の割合
---------------	--	--

事業概要 【公立保育所等 ICTシステム導入事業】

自治体名	岩手県奥州市	人口	109,942人	事業費	37,640千円
事業概要	<p>ICT化により対面に限らずコミュニケーションを図れるようになることで、保護者と保育士間の連携が緊密になる。このことにより、保育所が子どもを預けるための施設にとどまらず、子育て相談などの子育て支援機能が地域の中で充実する。</p> <p>またシステムを使った情報共有、保育士間の連携を図ることで保育の質を向上させ、市民の子育て環境をよりよいものにする。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育施設向けICTサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登降園記録 保護者との連絡機能 延長保育料計算 健康状態等の園児情報の共有 指導案作成、保育ドキュメンテーション シフト管理 緊急連絡 お便り配信 行事予定表作成 		 <p>こども施設向けICT支援ツール CDMON</p> <p>① 登降園管理 QRコードを使って登降園時間を自動＆非接触で記録、出席簿をペーパーレス化 →感染症対策＆手書きによる手間を軽減</p> <p>② 日誌・指導案など帳票作成 必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成 →帳票作成を効率化し業務負担を軽減</p> <p>③ 保護者とのコミュニケーション 保護者スマートフォン等のアプリからのいつでも連絡 →保護者・職員のスムーズな連絡やりとり実現</p> <p>こどもと接する時間の確保、保育の質向上 保育士や先生の働き方改革</p> <p>※保育所のICTによる支援システムのイメージです。</p> <p>出典 https://www.city.shiraoka.lg.jp/soshiki/keieikikakubu/zaiseika/3_1/521.html 埼玉県白岡市役所HP「行革ニュース 令和5年3月 第11号」</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 欠席連絡に占めるアプリの利用割合 アプリを活用した配信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 利便性や保育の質の向上が図られたと感じた保護者の割合 事務時間を削減し保育に充てた時間数 		

事業概要 【母子健康手帳アプリ事業】

自治体名	岩手県紫波町	人口	32,918人	事業費	968千円
事業概要	<p>妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用し、アナログ版の母子健康手帳と併せて、妊娠中の記録や、乳幼児健診等の子どもの成長記録を自身で管理ができ、また多種類に及ぶ予防接種のスケジュールについてもプッシュ型で情報を発信ができる。これまでは、2回/月の広報誌、ホームページ、個別通知により母子事業の周知や通知を実施してきたが、子育て中の保護者からは、町からのタイムリーな情報発信を望む声が多く情報のデジタル化を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> • 産婦人科で案内を受けてアプリに登録 • アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上での事前申請&面談日時を予約 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの利用満足度 ② ③ 			

事業概要 【認定こども園業務ICT化事業】

自治体名	岩手県金ケ崎町	人口	15,197人	事業費	1,152千円
事業概要	<p>幼児教育・保育の無償化や特別な支援を要する子どもの受け入れなど保育需要が拡大しているが、現場の職員負担増に対して適切な人員配置が困難となっており、本来業務である「教育保育」の時間を十分に確保できない問題が生じている。また、登降園の際の管理不備による園児の死亡事案や通園中の事故、熊との遭遇が全国的に相次いでいることから、子どもたちの生命・身体の危険やそれに伴う保護者の不安感が増しているため、リスクを防ぐ取り組みが求められる。そこで、業務ICT化を推進することで、保護者の利便性向上や現場の業務負担の軽減、登降園の際のリスクヘッジを図り、安定的かつ質の高い教育保育を提供出来る体制を整え、児童や保護者の満足度の向上に資するもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ICTによる業務効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園記録 ・園児バスの運行状況確認 ・健康状態等の園児情報の共有 ・指導案作成 ・職員のシフト管理 ・保護者への緊急連絡 ・お便り配信 ・行事予定表作成 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スマートフォンアプリの利用者数 ②アプリを利用した保護者からの連絡割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育保育の質が高いと感じる保護者の割合 ②子どもと接する時間が増えたと感じる教職員の割合 		

事業概要 【保育所ICT化による保育環境向上事業】

自治体名	宮城県女川町	人口	5,919人	事業費	15,724千円
事業概要	<p>核家族化が進行する中で、保護者の働き方やライフサイクルの多様化に伴い、家庭や地域社会の養育機能の低下や育児不安などをもたらしていることから、保育所の役割が重要となってきた。それに対応するため、公立保育所2か所に「保育業務支援システム」を導入しICT化をすることで、保護者と保育所双方の利便性を高め、双方の負担を軽減する。また、保育所での事務負担低減により、保育士等が、保育業務に充てる時間を増やすなど、保育サービスの質と量の向上を図り、保護者と児童にとっての保育サービスを充実させる。なお、インターネット環境整備工事については1施設がこども園となり現在の施設を解体する予定のため1施設のみの工事となる。</p>				
具体サービス	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面タッチやQRコード読取等による園児の登所及び降所の管理 保護者連絡アプリの活用によるお便りの配信、緊急連絡、アンケート等 指導計画や日誌等の各種帳票のデジタル化 身体測定記録等の発育管理 児童台帳等をシステム管理することで保育士間での情報共有 <p>【システム導入環境整備（Wi-Fi導入等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi環境の整備 各保育室にPCの導入 登降所用タブレットの導入 		<pre> graph LR Staff[保育士] -- "記録・蓄積" --> System[システム] Staff -- "発信" --> System System -- "受信" --> Guardians[保護者] Guardians -- "連絡" --> System </pre>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリのダウンロード数 ②保護者アプリの連絡帳利用割合 ③保護者アプリの操作利用説明会参加人数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育業務支援システムの満足度 ②保育所に関する満足度 		

事業概要 【給付費等申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	山形県上山市	人口	28,146人	事業費	2,912千円
事業概要	<p>民間保育所等と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データを一括管理することで、施設と本市の業務負担の軽減を図る。それにより、民間保育所等の人材確保及び施設側の運営相談、電子申請を含めた窓口の対応に時間を充てることで、市民や施設に対するきめ細やかな対応が可能になるため、保育サービスの充実を図ることができる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行（途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能） 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 一時預かり、延長保育、病児保育の人数報告 	<p>The diagram illustrates the workflow of the cloud-based application system. It shows a transition from manual, fragmented processes (represented by a nursery building, a checklist, an envelope, a phone, and a stressed worker) to a centralized, efficient system (represented by a worker at a laptop, a cloud server, and a worker at a laptop). A red prohibition sign indicates the elimination of the old manual processes. Below the diagram, three boxes describe the system's capabilities: 園児・職員情報配置情報加算申請 (Child/Staff information, facility configuration information, and application calculation), エラーチェック給付費計算データ管理 (Error checking, payment calculation, and data management), and 申請管理承認・差戻データ突合 (Application management, approval, and data reconciliation).</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用施設の拡充 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①民間保育園の満足度 ② ③ 			

事業概要【児童センターICT化事業】

自治体名	山形県長井市	人口	24,892人	事業費	11,240千円
事業概要	<p>市内で集団保育を行う児童センターでは、保護者との連絡を電話や紙等で行っており、保護者にとって連絡や情報を収受できる時間や方法が限られている。また、保育士の業務についても、日誌等の書類の作成、連絡帳の手書き業務等、事務作業の負担が多い。ICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性の向上と保育士の業務負担軽減による保育時間の確保を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードの読み取り等により、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。 ・園児に関する連絡事項について保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。 ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信。 <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。 <p>デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。</p> <p>【バスの運行管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児バスの位置情報を施設や保護者がリアルタイムで確認することが可能となる。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリをダウンロードした保護者の割合 ②アプリを活用した欠席連絡の割合 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のシステム利用満足度 ② ③ 		

事業概要【母子保健デジタル活用事業】

自治体名	山形県天童市	人口	60,670人	事業費	3,319千円
事業概要	<p>「母子健康手帳」と「子育て支援機能」等を組み合わせた「子育て支援アプリ」を活用し、伴走型相談支援等を行うことで、利用者に負担をかけることなく、子育て世代へ効率的なサポートが可能になる。</p> <p>また、利用者が都合の良い時間帯に、「質問票サービス」を活用し、事前回答や面談の予約が出来るため、来所時の待ち時間の短縮を図ることが出来る。さらに、来所者の回答内容を事前に把握することで、問題を把握し対応策を検討出来るので、問題解決までの手順が円滑になる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【子育て支援アプリ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳機能（妊娠経過や子どもの成長記録、乳幼児健診記録管理） 予防接種スケジュール管理（予防接種間隔表示、プッシュ通知） 市からの情報配信（乳幼児健診案内、子育てイベント情報配信等） その他の機能（12言語の外国語表示対応、利用者集計機能） <p>【質問票サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出での活用（事前のアンケート回答入力、来所日入力、集計） 伴走型相談支援での活用（対象妊婦リスト抽出、アンケート回答入力、集計） 新生児訪問での活用（事前のアンケート回答入力、集計） 		 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリの登録延人数 ②アプリ利用延人数 ③質問票サービス利用者実人数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリ活用に関する満足度 ②子育て支援に関する満足度 ③質問票サービス利用による面談の満足度 		

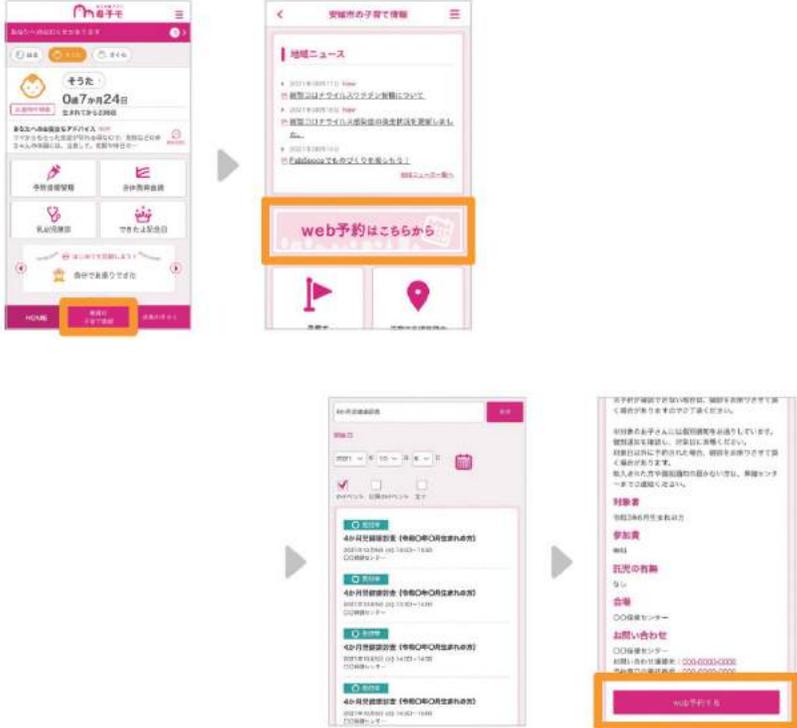
事業概要 【公立保育所情報化推進事業】

自治体名	福島県いわき市	人口	320,946人	事業費	81,248千円
事業概要	<p>ICTクラウドサービスによる保育所等業務支援システムを導入し、保育現場の業務省略化・効率化によって「保育の質の確保・向上」を図るとともに、保護者の利便性を向上させる。</p> <p>また、職場環境の改善を図ることで、保育士の人材確保につなげ、人材不足の解消、離職率の抑制及び県内の有効求人倍率2倍を超える市内の有効求人倍率を改善し、待機児童を解消していく。</p>				
具体サービス	<p>保育業務支援システム（CoDMON）の導入</p> <p>■対象業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者連絡（出欠連絡、連絡帳機能など） ・職員間の情報共有 ・登降園管理 ・発育・健康記録 ・各種帳票作成（ほか） <p>■導入箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立幼稚園 10ヶ所 （入園児童 330名 ※R5.5月現在） ・市立保育所 30ヶ所 （入所児童 1,885名 ※R5.12月現在） 		 <p>The image shows the CoDMON logo at the top, which consists of two stylized blue faces with dots for eyes and the text 'CoDMON' in blue. Below the logo, a white tablet and a black smartphone are displayed. The tablet screen shows a grid of colorful icons representing various functions of the CoDMON system. The smartphone screen shows a mobile application interface with a header, a main content area featuring a photo of children, and a bottom navigation bar with icons.</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリ登録率 ②欠席連絡におけるアプリの利用割合 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①負担軽減につながっていると感じる職員の割合 ②保育所に満足している保護者の割合 ③ 		

事業概要 【子育て支援ICTシステム導入事業（幼稚園・児童クラブ）】

自治体名	福島県白河市	人口	57,216人	事業費	21,571千円
事業概要	<p>市内の子育て世帯の多くは共働き世帯であり、就労等により時間的余裕を持ってないなか、施設とのコミュニケーションに苦慮している。特に電話による欠席連絡や紙前提のお便り通知等、保護者と施設間の円滑な連絡手段に課題を抱えている。「子育て支援ICTシステム」を導入することで、いつでもどこでもアプリケーションを通じて施設とのコミュニケーションが図れるようになる。時間的制約のない連絡手段を導入することで、保護者の利便性向上と関係者間の情報共有による事故リスク低減を図り、安心して子育てが出来る環境を整備する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【幼稚園業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理機能（欠席・遅刻連絡を含む） ・連絡帳機能 ・お知らせ配信機能 ・指導計画・日誌等帳票作成機能 ・アンケート機能 <p>【児童クラブ業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻連絡 ・連絡帳機能 ・お知らせ配信機能 ・アンケート機能 <p>【システム導入環境整備Wi-Fi導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境整備 ・システム導入など <p>【園側端末導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ipad・管理用PCの導入 		 <p style="text-align: center;"></p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①施設からの情報発信数 ②オンラインでの欠席・遅刻連絡率 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用満足度 ② ③ 		

事業概要 【母子健康手帳アプリを活用したオンライン予約サービス事業】

自治体名	福島県二本松市	人口	51,387人	事業費	1,688千円
事業概要	<p>妊娠期から子育て期の情報は市のホームページや紙媒体が中心で必要な情報がタイムリーに届いていない。また、乳幼児健診、健康相談等の予約は電話で平日のみで、働いている保護者は予約が難しい状況のため、妊娠期から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』のオンライン予約機能を活用して、乳幼児健診、健康相談等の予約をアプリから行えるようにすることで、市からのお知らせの受け取りから乳幼児健診、健康相談等の予約までをアプリで行えるようにし、子育て支援策の住民満足度向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>母子健康手帳アプリサービス</p> <p>母子健康手帳アプリ『母子モ』により、各属性（子どもの生年月日など）に応じてアプリへ当市からのお知らせを受け取ることができるため、必要な支援情報をプッシュ型で届けることができ、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行えるようになる。</p> <p>母子モ子育てDXオンライン予約サービス</p> <p>アプリのオンライン予約機能により、保護者は自身の対象となる乳幼児健診、健康相談等への予約がアプリから行えるようになるため、対象事業の案内から予約までをアプリで行えるようになる。</p> <div data-bbox="300 982 1094 1063" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも乳幼児健診、健康相談等の予約できる 予約日の空状況の確認や予約日の変更など電話の手間が省ける </div> <div data-bbox="300 1116 1094 1199" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約の電話対応の手間の削減 予約内容を事前に把握し業務調整により業務を効率化できる。 </div>	 <p>The image shows a sequence of four app screens. The first is the home screen with a date '04月24日' and various service icons. The second screen highlights a 'web予約はこちら' button. The third screen shows a list of services like '4歳児健診' and '4歳児歯科検診'. The fourth screen shows a confirmation page with a 'web予約' button at the bottom.</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリ登録率 オンライン予約率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリの利用満足度 オンライン予約の利用満足度 			

事業概要 【保育所ICTシステム導入事業】

自治体名	福島県本宮市	人口	29,920人	事業費	23,005千円
事業概要	<p>市内公立保育施設及び施設を利用している保護者へのアプリの導入により、登園や退園の時間把握や、遅刻・欠席連絡のワンタッチ申請、子どもの保育記録等をデジタル化することによる情報の共有、帳票管理、車内置き去り防止策等を図り、保育士の負担軽減及び保育の質の向上、保護者の満足度向上に寄与する。</p>				
具体サービス	<p>【コドモンシステム利用サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリ利用500人以上（利用者数） ・保育管理者サービス ・毎日の登園記録・毎月の保育料計算・写真販売・保護者からの電話連絡・園児情報の共有・保護者へのお便り通知など <p>【システム導入環境整備Wi-Fi導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境整備 ・システム導入など <p>【園側端末導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ipad29台の導入 		 <p>The infographic is divided into three main sections:</p> <ul style="list-style-type: none"> 園と保護者の様々な連絡を1本につなぎます (Connecting various communication channels to one line): Lists features like '欠席・遅刻連絡' (Absence/Late notification), '遅刻・遅退通知' (Late/Late departure notification), '写真販売' (Photo sales), '保育料計算' (Nursery fee calculation), '保護者アプリ' (Parent app), '行先予定表' (Itinerary), and '資料' (Materials). このような日々の悩みを解決します (Solving daily troubles like this): Focuses on '遅刻・遅退' (Late/Late departure), '写真販売' (Photo sales), and '保育料計算' (Nursery fee calculation). 指導案作成をはじめ、各種業務負担を軽減 (Reducing staff workload from lesson plan creation to various tasks): Details '指導案作成' (Lesson plan creation), '日報等から体感業務の削減' (Reduction of perceived workload from daily reports), '保育士個人アプリ' (Nursery teacher personal app), 'プリント管理' (Print management), '施設・設備・材料・在庫管理' (Facility/equipment/material/inventory management), and '個別な児童対応' (Individual child response). 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コドモンアプリダウンロード数 ②欠席連絡におけるアプリの利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子どもの保育環境に関する満足度 ②コドモンサービスの満足度 		

事業概要 【児童クラブ I C T 化によるサービス環境向上事業】

自治体名	福島県河沼郡湯川村	人口	3,056人	事業費	1,406千円
事業概要	<p>湯川村放課後児童クラブでは、保護者とのやり取りを電話や書面で行っており、保護者にとって情報の発信・受信できる場面が限定的なものとなっている。また、児童クラブ職員の業務についても日誌の書類作成などの手書きによる事務作業も多く、負担となっている。そこで、児童クラブに I C T を活用した業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と児童クラブ職員の業務負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登所記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコード読み込みで、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） ・児童に関する連絡事項について、児童クラブ職員と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は電話もしくは登所時、退所時の口頭伝達） ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信。（現在は紙、もしくは電話での連絡） <p>【帳票の連動による児童クラブ職員業務の効率化】</p> <p>出欠確認、日誌等のデータ連携による作業の省力化。</p> <p>デジタル化された児童情報を児童クラブ職員間で共有することが可能となる。</p> <p>（現在は紙・口頭での共有）</p>		<p>The diagram illustrates a central ICT support system for teachers. At the center, a tablet and a smartphone are shown. Surrounding them are numerous circular icons representing different services: 出退勤管理 (Attendance Management), 質問管理 (Question Management), 写真販売 (Photo Sales), 園児台帳 (Child Register), 保護者からの連絡 (Contact from Guardians), 園内連絡 (In-Club Contact), お知らせ一斉配信 (One-to-all Notice Distribution), 行事予定 (Event Schedule), デイリーボード (Daily Board), 保護者コメントチャンネル (Guardian Comment Channel), 販売・注文 (Sales/Orders), レジビ情報 (Receipt Information), 駅立管理 (Station Management), バス出席情報 (Bus Attendance Information), 承認トレイ (Approval Tray), 記録と計測 (Recording and Measurement), 請求管理 (Billing Management), シフト管理 (Shift Management), 資料室 (Materials Room), アンケート (Survey), and 出退勤管理 (Attendance Management).</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童クラブから保護者への情報発信数 ②アプリのダウンロード数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用満足度 ② ③ 		

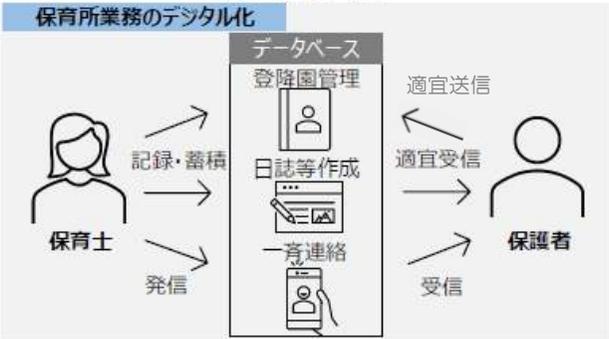
事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した母子保健事業】

自治体名	福島県湯川村	人口	3,056人	事業費	330千円
事業概要	<p>現在、湯川村の乳幼児健診や予防接種のお知らせは、書面で行っており、受診忘れや接種忘れが発生していること、またお知らせ文書作成や対象者管理を行う上での事務負担が多くなっている。</p> <p>妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ「母子モ」を活用し、乳幼児健診や予防接種の予定の通知や地域の子育て支援情報をデジタル化することで、保護者の乳幼児健診・予防接種スケジュール管理や自治体の手間を削減するとともに、受診忘れや接種忘れを防止し、安心・安全な子育て環境を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母子手帳省令様式に応じた各種記録 ・妊婦健診～乳幼児健診ごとの情報の登録・管理、予防接種記録の登録・管理を行うことができる。 ・アプリの登録を行うと接種記録がアプリに反映され、予防接種のスケジュールが自動作成される。また、プッシュ通知で接種忘れを防止することができる。 ○子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信 ・自治体から子育て情報の配信ができる。 ・利用者の属性等によって子育て情報のプッシュ配信ができる。 ○アンケート機能の活用 ・任意に設定した内容のアンケートを配信し、回答を得ることができる。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【住民】 母子モ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●妊婦健診・乳幼児健診・予防接種情報の登録 </div> <div style="text-align: center;"> <p>★予防接種予定のプッシュ通知 ★子育て情報の配信 ★アンケートの配信</p> <p>←</p> <p>→</p> <p>★アンケートの回答</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【自治体】 自治体ツール</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子育て情報の掲載 ●アンケートの設定 </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの登録者数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの利用満足度 ② ③ 			

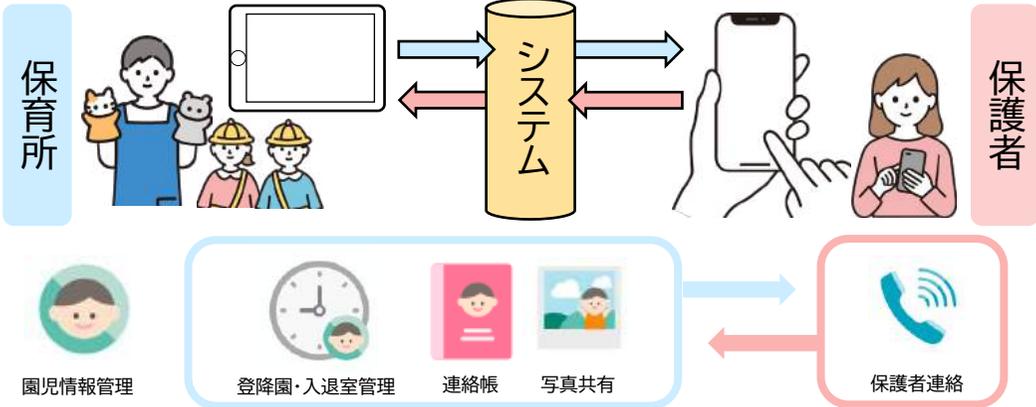
事業概要【プチ移住で子育て支援！第2のふるさとさがわ体験事業】

自治体名	福島県鮫川村	人口	2,900人	事業費	11,426千円
事業概要	<p>本村では、近年の出生数が年間6～8名であり、県内でも人口減少率が第4位の58.2%となっている。そのため、こどもセンターへの入園数も減少しており、それを防ぐ施策が必要である。そのため、入園者の増加施策として「保育園留学」を実施するが、その実施に伴い申し込みから入園までをオンラインで行えるようなシステムを導入すると共に、保育の質を向上させ魅力的なこどもセンターへの転換のため、保育業務のICTサービス「コドモン」を導入して業務の効率化を行い保育時間の確保を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育園留学サービス】 保育園留学に関する問合せ機能 Web面談ツールでの相談予約機能 質問に対する自動回答チャットボット 申込フォームと必要書類提出機能</p> <p>【コドモンシステム利用サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンアプリ 保護者連絡 登降園記録 帳票作成 写真共有・販売 発育記録・健康記録・身体測定 バス運行管理 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育園留学問い合わせ機能利用者 ② 保育園留学システム申込機能利用者 ③ コドモンシステム利用サービス利用者数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 手続所要時間の短縮 ② コドモンシステム利用サービスの満足度 ③ 保育・子育て環境に関する満足度 		

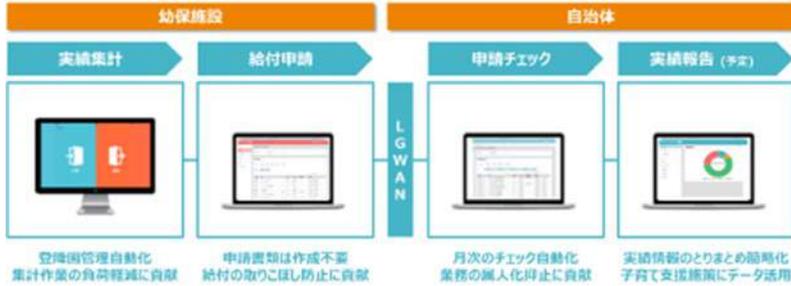
事業概要 【公立保育園・認定こども園のICT化推進事業】

自治体名	茨城県日立市	人口	166,028人	事業費	19,889千円
事業概要	<p>公立保育園・認定こども園において、保育業務支援システムの導入、WiFi整備及びタブレット端末の購入等の通信環境を整備し、保護者の利便性向上やヒューマンエラー等による事故を未然に防ぐことで、手厚い保育サービスを提供できる体制を構築するとともに、保育士が子どもや保護者との触れ合う時間を増やすことで保育サービスの質の向上を図るため、保育士による書類作成業務等を効率化する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【公立保育園業務デジタル化サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠席や遅刻の連絡、お便りの配信、緊急連絡等を行う保護者連絡アプリや園児の登園及び降園の管理、記録が可能 各種指導案や日誌、保育記録を蓄積する機能が備わっている ドキュメンテーション機能により、写真を貼り付ける等、連絡帳がデジタル化され、冊子として印刷も可能 <p>【公立保育園ICT環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園における通信環境、通信機器等といったICT環境を整備 		<p>＜サービスイメージ＞</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの利用者数（人） ②保護者からの欠席連絡における利用割合（％） 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用満足度（ポイント） ②保育園に対する満足度（ポイント） 		

事業概要 【公立保育所におけるICT化推進事業】

自治体名	茨城県石岡市	人口	70,197人	事業費	7,300千円
事業概要	<p>市立保育所にICTシステムを導入することで、保育所と保護者の情報共有の円滑化、利便性向上を図る。現状、連絡が多い朝の時間帯は保育所の電話がつながりにくい等、情報共有面で不便が生じているが、アプリ上での欠席連絡等が可能になることで改善を目指す。その他、連絡帳やお知らせの確認、写真共有等がすべてアプリでできるようになる。また、保育士の業務を効率化することで、園児と向き合う時間を多く確保し、保育の品質向上を図る。</p>				
<p>【保育所ICTシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリでの出欠連絡や登降園管理により、保護者の方が安心して保育所を利用できる環境づくりを図る。 アプリを介して双方向のやりとりが可能。保育所から保護者に対しての一斉連絡や行事予定の送付に加え、連絡帳や欠席・延長連絡の個別のやりとりも実現。保護者側の電話連絡の手間を省くとともに、保育士の業務としても負担の大きい朝の連絡対応や連絡帳の手書き作業を効率化できる。 <p>具体サービス</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の忙しい時間に電話等で保育所へ欠席連絡しなくてはならない。 欠席者の情報は保育士間で随時共有（口頭、メモ等） 紙媒体の連絡帳でやりとり。 写真送付までに保育士の手間がかかるため、写真の共有が少ない。 <p>【システム導入後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士は園児の情報確認、保護者向けの連絡等をシステム上で行うことが可能。 保護者は保護者用アプリを通じて、24時間どこからでも通知確認、欠席登録が可能。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリへのアカウント登録率 ②出欠・延長連絡のアプリ利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる利用満足度 ②保育士の事務業務時間の削減により他の保育業務に充てられた時間 		

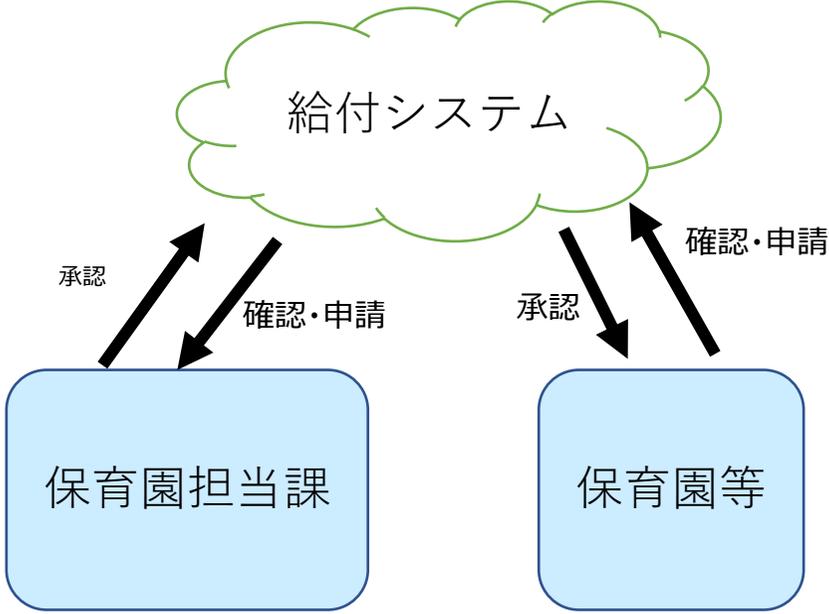
事業概要 【教育・保育施設等給付業務管理システム導入事業】

自治体名	茨城県常総市	人口	61,258人	事業費	2,750千円
事業概要	<p>市内の認可教育・保育施設等に対し、施設の運営費となる補助金を申請・交付する事務について、オンラインで一元的な管理・申請が可能なシステムを導入する。現状、多種多様な申請・実績報告の管理・資料作成が現場職員の負担になっていることから、システムを導入することで施設の事務負担を削減し、保育に専念する時間を創出させ、保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育施設等給付業務管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員配置状況、利用子どもの認定状況、加算取得状況等の給付業務に関わる施設情報の一元的な管理。 施設型給付費、地域子ども・子育て支援事業にかかる13事業を始めとした、交付金・補助金の申請・実績報告及び請求業務の電子化。 		<p>《 システム導入前 》</p>  <p>《 システム導入後 》</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムサーバーへのログイン件数 ②教育・保育施設等給付業務管理システムを用いた給付申請件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育・保育施設等給付業務管理システムの使用満足度 ②事務作業時間の削減 ③教育・保育施設に対する保護者の利用満足度 		

事業概要 【保育施設入所手続き等オンライン申請事業】

自治体名	茨城県取手市	人口	106,008人	事業費	1,485千円
事業概要	<p>保育施設入所手続き等をオンライン化することで、保護者の来庁時間や申請書類作成にかかる時間的負担の軽減を図る。また、申請内容を即座に点数化するシステムを導入することで、保護者と点数を共有することが可能となり、副次的に職員の利用調整に係る業務の効率化も図られる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【スマート申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設入所手続き等についてオンライン申請を可能とする。 ・申請内容をもとに取手市保育所の利用調整に関する基準に準ずる点数化を行い、保護者へ通知する。 ・申請書類等に不備があった場合、差し戻し及び再提出が可能。 ・通知発送（PDF）が可能となるため、利用内定等の通知をオンライン化することを検討。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オンライン申請の申請者数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用満足度 ②手続き所要時間の短縮 ③ 			

事業概要【教育・保育給付費等管理システム導入事業】

自治体名	茨城県牛久市	人口	84,110人	事業費	6,600千円
事業概要	<p>子ども・子育て支援法の確認を受けた民間保育園等は、運営に必要な毎月の給付費などを請求するために多大な時間を要しているため、自治体と民間保育園等がクラウド上で情報を共有・電子化することで、申請・承認までの工程をスムーズに行うことができる。また、システムを導入することで民間保育園等での事務作業時間の短縮が期待できることから、その時間を保育園業務に充てる等、保育の質の向上が図られ、保護者の満足度向上に繋がる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育給付費等管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育園等と市が共有の画面を用いて、給付の申請・承認を行う。 保育士配置等の確認が簡便になるため、保育士数の試算等に係る業務従事時間が削減される。 	 <pre> graph TD Office[保育園担当課] -- 承認 --> System((給付システム)) System -- 確認・申請 --> Office Nurseries[保育園等] -- 確認・申請 --> System System -- 承認 --> Nurseries </pre>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムを利用した報告件数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の保育への満足度 ② ③ 			

事業概要 【坂東市給付費等申請システム構築事業】

自治体名	茨城県坂東市	人口	52,372人	事業費	2,200千円
事業概要	<p>民間の保育施設が質の高い子育て支援を行うために、市と民間施設の連携により保育サービスの水準を高めていくことが必要となることから、施設と行政における請求／審査・給付計算に関わる業務の一元化を図るシステムを導入し、双方において正確性の徹底と業務負担の軽減を図るとともに、情報共有機能やコミュニケーション機能により運営アドバイスや研修等のスキルアップ情報を提供していく。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【坂東市給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 請求／審査・給付計算に関わる業務の一元化 ダッシュボード機能、コミュニケーション機能の構築 事務時間短縮による児童・保護者への対応時間の増加とサービスの向上。 	 <p>The diagram illustrates the workflow between childcare facilities (幼保施設) and municipalities (自治体) using the system. The process is divided into four stages: 実績集計 (Data Collection), 給付申請 (Application), 申請チェック (Check), and 実績報告 (予定) (Reporting). A central vertical bar labeled 'L G W A N' indicates data exchange between the two entities. Below each stage, specific benefits are listed: 1. 登録管理自動化 (Automated registration management) leading to reduced workload for data collection. 2. 申請書類は作成不要 (No need to create application forms) leading to reduced errors in payment. 3. 月次のチェック自動化 (Automated monthly checks) leading to reduced manual work. 4. 実績情報のとりまとめ簡略化 (Simplified summary of performance information) leading to more effective data utilization for childcare support.</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム導入施設数 ②システムからの申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムによる給付手続の所要時間 ②保育サービスの満足度 			

事業概要 【教育・保育施設等給付金業務管理システム導入事業】

自治体名	茨城県かすみがうら市	人口	40,429人	事業費	3,300千円
事業概要	<p>子ども教育・保育給付費の申請や給付事務等は、現在メール等アナログツールを利用しているため、民間の教育・保育施設職員の事務負担が増加しており、子どもと向き合う時間の減少が危惧されている。当システムの導入により、子ども一人一人と向き合う時間の確保につながり、会話・表情・行動等詳細に把握することができ、さらには保護者からの連絡や相談に対しても迅速な対応が可能となることで、より質の高い保育サービスの提供につながる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育施設等給付金業務管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体と民間の教育・保育施設における現行のコミュニケーションツールを用いた教育・保育給付申請の在り方を見直し、クラウドシステムにより、園児・職員・施設情報等に基づく給付手続き・データ連携等の一元化を図ることで質の高い保育の提供を目指す。 現場で子ども一人一人と向き合う時間を確保することで、日常の機微な変化にも対応できる質の高い保育を提供 業務負担軽減により、保護者からの連絡・相談に対してより迅速な対応が可能 安定雇用の確保に伴う民間の教育・保育施設の利用希望児童の受け皿確保・維持 子育て世代の安心した社会参加の実現 		<p>業務効率化による負担軽減 施設職員の離職防止</p> <p>待機児童対策</p> <p>保育等利用児童の受け皿確保</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システムを活用した給付申請数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保育士が保育サービスに充てる時間の確保</p>		

事業概要 【施設型給付業務クラウドシステム導入事業】

自治体名	栃木県宇都宮市	人口	513,343人	事業費	11,000千円
事業概要	<p>教育・保育施設等（以下、「施設」という。）の施設型給付等業務については、これまで、給付費の申請や各種加算申請等の手続きを施設ごとに郵送やメール等で行っており、手続き書類等の作成・申請受理・確認等に時間を要するなど、施設と市の双方の多大な事務負担となっていることから、クラウドシステムを導入し、データの共有や一括管理等を行うことにより、業務の効率化及び正確性の向上を図るとともに、事務効率化によって生み出された時間を有効に活用することで、各施設における教育・保育の更なる質の向上を目指すもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【施設型給付業務クラウドシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育の利用状況管理 	<p>The diagram illustrates the transition from a traditional paper-based process to a cloud-based system. In the top section, a city office (市役所) and multiple childcare facilities (保育所) are shown. Arrows indicate the flow of applications and inquiries: paper applications and phone inquiries to the city office, and electronic applications and email inquiries from the city office to the facilities. In the bottom section, the process is shown in an internet environment (インターネット環境). A server is connected to the city office, which manages the system. Facilities use authentication (ID/PW) to access the system for confirmation and data entry. Arrows show data flow: confirmation and return of requests from the city office to the facilities, and input of facility information and requests from the facilities to the city office.</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①施設のシステム利用施設数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①業務作業時間削減による教育・保育の質の向上 ②システム利用の満足度 ③ 			

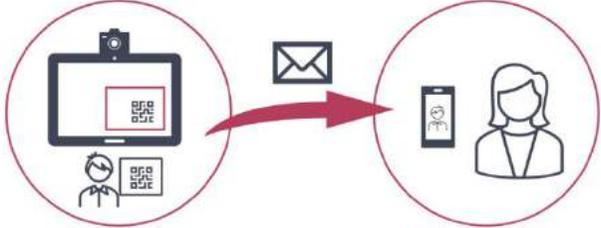
事業概要 【教育・保育給付管理システム導入事業】

自治体名	栃木県足利市	人口	139,605人	事業費	8,800千円
事業概要	<p>施設型給付費等に係る各種業務について、手作業や表計算ソフトウェア等を活用して行っており、業務の複雑性及び業務負荷が高まっている。クラウドシステムの導入によるオンライン化及び各種データの一元管理により、市内民間保育所等及び市双方の給付費等請求業務の効率化及び負担軽減並びに業務品質向上を図り、保育に専念できる時間を創出し保育の質及び子育て支援環境の向上を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育給付管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設型給付費等に係る加算申請 ●施設型給付費等の請求書作成 ●処遇改善等加算に係る加算率認定申請及び実績報告 ●情報共有機能 ●ヘルプデスクの設置 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>市内民間保育所等</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>インターネット</p> <p>給付費/補助金の申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園/職員/園児情報の登録 ・職員配置/加算適用申請 ・処遇改善等加算/実績報告 </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>足利市</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>LGWAN</p> <p>エビデンスを元に審査・承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置基準/加算条件チェック ・添付書類の確認 ・実績報告/支弁台帳 </div> </div> </div> <p style="text-align: center;">→ 申請</p> <p style="text-align: center;">← 承認・差戻</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; color: orange;">基本機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公定価格 ・地方単独補助金 ・地域子ども・子育て支援事業 ・施設等利用給付 ・精算 ・広域利用 ・処遇改善等加算 ・実績報告 ・支弁台帳作成補助 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; color: orange;">情報共有機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年期日カレンダー ・お知らせツール ・園児データまとめ ・職員データまとめ </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用者数 ②システムによる給付申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育に専念できる時間の創出 ②システム利用者の満足度 			

事業概要 【デジタル技術を活用した児童虐待等への対応】

自治体名	群馬県高崎市	人口	368,026人	事業費	31,000千円
事業概要	<p>当市は、児童虐待で軽～中度の事案対応を行っており、重度事案を対応する県児童相談所と連携を行っているが、令和7年度には、高崎市独自の児童相談所の設置を予定し、全てのケースを対応することとなる。</p> <p>児童虐待対応では、迅速な安全確保と細やかな支援が肝要であり、閉域ネットワークで繋いだ持出可能なタブレット端末を利用して、情報の共有と判断の迅速化を図り、子どもの生命や安全が脅かされない地域をめざす。</p>				
<p>【児童相談システム】</p> <p>① 持ち出し可能なタブレット端末を閉域ネットワークで繋ぐことによって、現場-事務所間で随時情報を共有することができる。</p> <p>② 虐待による怪我の様子、家の状況等を撮影した画像を瞬時に共有することで、現場と事務所の一体での対応が可能となり、児童相談所長等による一時保護の要否等、児童の安全確保等の判断を迅速に行うことが可能となる。</p> <p>③ アナログで行っていた作業をデジタル化し、情報を統合管理することによって、記録等の事務作業が軽減され、余ったリソースを児童との面談やケア等のケースワークに注ぐことができる。</p>					
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① システムで受理した児童虐待通告件数</p> <p>② 訪問・面談でタブレットを活用した件数</p> <p>③ システムに登録された記録件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 死亡等重篤な事態に至ったケース数</p> <p>② 通告から対応決定までの時間</p> <p>③ 児童心理司による観察・面談数</p>		

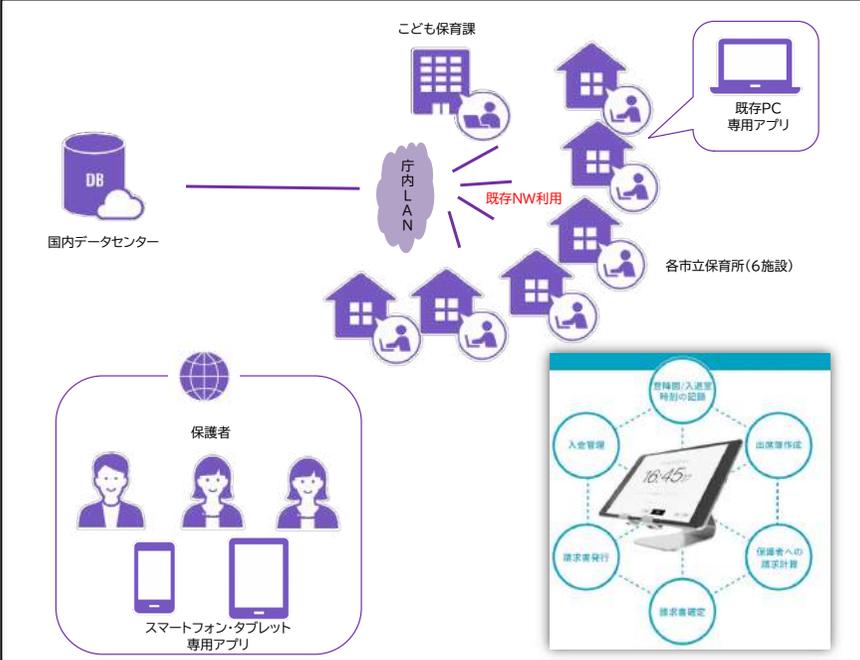
事業概要【放課後子ども教室支援体制充実化事業】

自治体名	群馬県下仁田町	人口	6,333人	事業費	292千円
事業概要	<p>放課後子ども教室を利用している保護者等から、子どものリアルタイムな出席確認による安全確保と押印等による出欠手続きの負担軽減についての要望がある。このことから、子どもたちの安全確保と子育て支援環境の充実を図るため、放課後子ども教室を利用している児童を対象に、子どもたち自身のチェックイン・チェックアウト及びその情報を保護者等に届けるサービスを提供し、子どもたちの安全確保と保護者の負担軽減を図る。</p>				
具体サービス	<p>【放課後子ども教室入退室通知サービス】</p> <p>当町においては小学校が1つであり、全校児童は131名（令和6年1月1日現在）である。そのうち約7割がバス通学で、校時表やバスの時間に合わせて高学年を除く1年生～4年生42名が放課後子ども教室に登録（登録率32%）し、1日平均20名が利用している。</p> <p>子どもたちは、授業が終わるとそれぞれの教室から余裕教室を活用した「放課後子ども教室」に集まってくるが、教室へ入室する際のチェックイン情報・教室を退出する際のチェックアウト情報をメール等で保護者へ通知するサービスである。</p>		<p>・入退室を写真付きメールやLINEで通知。 QRコードをカメラにかざすだけで写真付きで保護者に通知するサービス</p> 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①入退出管理サービスの利用者数 ②入退室管理サービスの登録割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①入退出管理サービスの利用満足度</p>		

事業概要 【教育・保育給付費等業務管理システム構築事業】

自治体名	埼玉県川越市	人口	352,616人	事業費	18,137千円
事業概要	<p>民間保育施設等への運営費給付事務では、園児の在籍数で給付額が変わるため、市と民間保育所間の定期連絡で在籍状況を共有しているが、日々変わる園児の数を正確に共有できず、申請の過誤による修正や確認等の事務負担につながっている。システム導入により、民間保育所の給付金請求事務の負担が軽減され、軽減した時間を本来の保育に当てることができるため、教育・保育の質の向上が図られる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育給付費等業務管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育施設等と市で園児の在席状況を共有できるほか、共有データを基に給付金申請事務を行うため、在席人数の誤りなどの過誤が減少し、確認作業等の事務負担が軽減できる。 メール（Excel）や紙で申請データを授受する必要がなくなり、紛失や送り間違いなど防止できるため、セキュリティを確保できる。 <p>→民間保育施設等の給付金申請事務が削減されることで、教育・保育従事者が本来の業務注力できる環境を創る。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>保育に充てられる時間を増加（創出）することで教育・保育の質を向上する</p>		<p style="text-align: center;">施設型/地域型給付費などの一連業務をワンストップで処理</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> システムを用いた給付申請件数 システムに関する問い合わせ件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> システム導入に伴う保育業務の創出時間 システム利用者の満足度 保護者の満足度 		

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	埼玉県加須市	人口	112,153人	事業費	4,014千円
事業概要	<p>公立保育所では手書きで作成する書類が多く、また、毎日の欠席・遅刻の連絡の手段は電話のみであるなど、保育士・保護者双方の負担が大きいことが課題となっている。</p> <p>保育士・保護者の負担軽減、利便性の向上を図り、保育士が子ども達と向き合う時間を増やすことを目的に、保育業務支援システムを導入する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>保育業務支援システム 保護者の利便性向上、保育士の業務の負担軽減に寄与するシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発育・健康記録 ・登降園記録管理 ・請求管理 ・帳票管理 ・シフト管理 ・給食管理 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリ利用割合 ②保育所から配布するお便りの電子化 ③欠席連絡におけるアプリの利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービス利用者（保護者）の満足度 		

事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した伴走型相談支援サービス】

自治体名	埼玉県戸田市	人口	142,237 人	事業費	5,259千円
事業概要	<p>当市は核家族が多く、サポートが少ない妊産婦が多い。また外国籍の妊婦等ハイリスク妊婦も年々増加し、個々に応じた支援が求められている。年間約1,200件ある妊娠届出時に保健師の面談時間を確保することが急務である。母子健康手帳アプリ『母子モ』を導入し、妊娠期から出産・子育て期までをきめ細かに支援する伴走型相談支援体制を構築する。自治体は、申請内容の事前把握による情報共有や準備が可能となり、効率的に面談を実施できる。</p>				
具体サービス	<p>【母子健康手帳アプリ_母子モ】 母子健康手帳の省令様式に応じた各種記録の電子化 子どもの月齢に応じた子育て支援情報の個別・一斉配信</p> <p>【子育てDX_伴走型相談支援サービス】 アプリ上での届出・アンケート等の提出及び面談の予約 自治体側での届出・アンケート・面談予約のデータ管理</p> <div data-bbox="306 806 480 871" style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 保護者 </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間いつでも簡単に申請でき、アンケート/問診票の手書きの手間も不要に ・ 事前回答により、当日の待ち時間短縮につながり、負担を軽減 <div data-bbox="306 978 480 1042" style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 自治体 </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートや問診票等を事前に取得できるため、回答内容をもとに業務調整・事前準備ができ、当日の対応時間も短縮 ・ データを出力し健康管理システムに投入できるため、入力作業の工数/ミス削減 ・ 予め指定した帳票に印刷でき、PCのない会場・窓口での運用にも対応可能 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">案内・登録</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 市ホームページや広報紙、チラシ、産婦人科等で案内を受けて、妊婦や保護者がアプリに登録 </div> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">事前申請</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上で事前申請・面談日時を予約 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">面談実施</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前申請した内容をもとに面談実施 ・ 利用者目線では待ち時間がなく、スムーズに面談が可能 ・ 自治体目線では、事前の申請内容をもとに、保健師間の情報共有や業務調整・事前準備ができ、業務が効率化 </div> <div style="text-align: center;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;">面談後</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ データを健康管理システムに投入でき、入力作業の手間を大きく削減 ・ 指定した様式での帳票印刷も可能 </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子健康手帳アプリ登録率 ②オンライン申請率 ③オンライン申請及びDX化に対応する事業数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子健康手帳アプリの利用満足度 ②オンライン申請の利用満足度 			

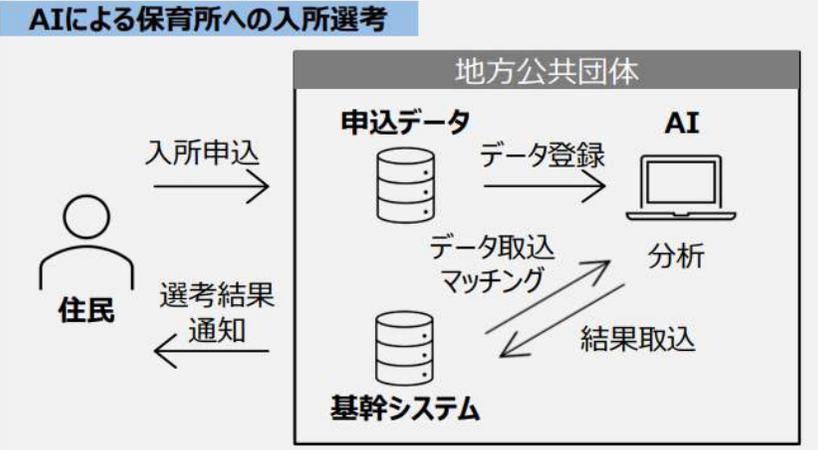
事業概要 【公立保育園ICT導入事業】

自治体名	埼玉県新座市	人口	166,063人	事業費	12,052千円
事業概要	<p>核家族化の進展及び子育てに負担感を抱える家庭の増加や共働き家庭の増加に伴う、保育所の役割強化に対応し、保護者及び保育士の負担軽減を図るため、公立保育所へのICTシステム（保育園の業務管理システム、タブレット端末）の導入を推進し、保育の質の向上を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【こども施設向けICTサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登降園記録 延長保育料計算 健康状態等の園児情報の共有 指導案作成、保育ドキュメンテーション シフト管理 緊急連絡 お便り配信 行事予定表作成 <p>【対象保育施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一保育園 第二保育園 栄保育園 西堀保育園 北野保育園 新座保育園 		 <p>こども施設向けICT支援ツール C-DMON</p> <p>① 登降園管理 QRコードを使うと登降園時間を自動＆非接触で記録、出席簿をペーパーレス化 →感染対策＆手書きによる手間を軽減</p> <p>② 日誌・指導案など業務作成 必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成 →帳票作成を効率化し業務負担を軽減</p> <p>③ 保護者とのコミュニケーション 保護者スマートフォン等のアプリからいつでも連絡 →保護者・職員のスムーズな連絡やり取り実現</p> <p>こどもと接する時間の確保、保育の質向上 保育士や先生の働き方改善</p> <p>※採用所のICTによる支援システムのイメージです。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリのダウンロード累計数 ② アプリを使用した保護者との通信回数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリサービスの満足度 ② 保護者アンケートによる保育所に関する満足度 		

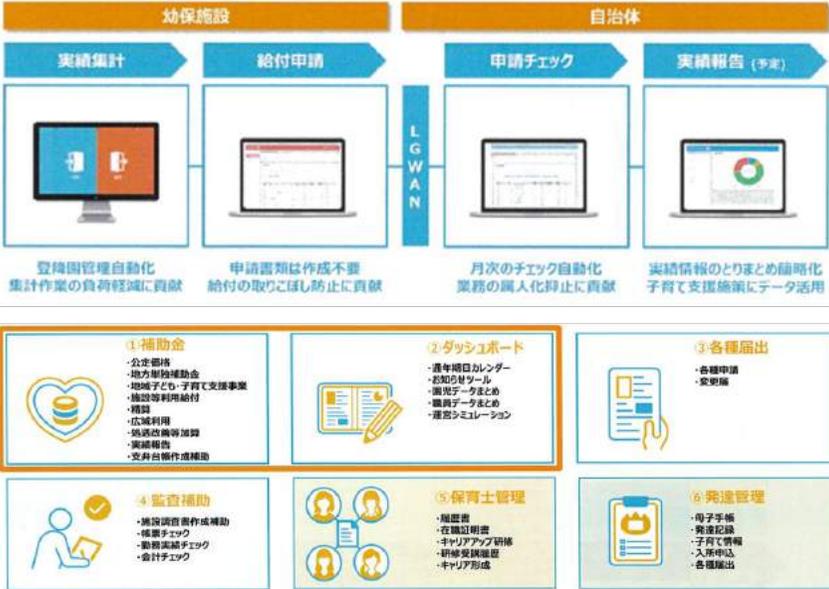
事業概要 【保育支援システム事業】

自治体名	埼玉県北本市	人口	65,437人	事業費	16,454千円
事業概要	<p>市内の保育園及び児童発達支援センターにおいて、これまでは保護者と施設間のやり取りが基本的に電話や紙に依っており、それらの対応に手間や時間がかかっていた。</p> <p>そこで、保護者も保育施設もアプリ上でやり取りできるようにICT導入を行い、保護者の利便性の向上と、保育士の業務効率化を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育支援システム】 保育ICTシステムにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の登降園の管理 ・保護者と保育施設間の連絡 (欠席・遅刻連絡、お便り、緊急連絡等) ・各保育業務における帳票作成 (保育日誌、連絡帳、事故報告等) ・園内の情報共有 等 <p>を、インターネットアプリ上で行う。</p>				
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育所から保護者への情報発信数 ②利用登録保護者数 ③保護者の欠席連絡におけるアプリの利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用満足度 ②保育士の事務仕事の減少時間数 ③ 		

事業概要 【保育所入所に係るAIマッチングシステム導入事業】

自治体名	埼玉県富士見市	人口	113,235人	事業費	5,237千円
事業概要	<p>保育所等の利用調整にAIマッチングシステムを導入することで、結果通知発送の早期化を実現し、保護者の円滑な復職を支援するとともに、利用調整の結果、保留となった申請者に対しても「幼稚園への入園」をはじめとした他の選択肢の検討に充てる時間の確保につなげる。また、本事業により確保した人的資源を相談体制の充実、利用調整制度の検討等に充て、市民（保育）サービスのさらなる向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AIマッチングシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを利用することにより迅速な選考が可能となる。 迅速な選考に伴い、早期の結果公表を実現する。 選考結果をレポート化し、問合せ等に即座に対応が可能 		<p>AIによる保育所への入所選考</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①入所選考を行った件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①選考結果通知の前倒し</p> <p>②市民（保育）サービスに対する満足度</p>		

事業概要 【給付管理システム導入事業】

自治体名	埼玉県富士見市	人口	113,235人	事業費	5,500千円
事業概要	<p>保育士の確保や保育環境の改善に係る施策が多くなることに伴い、民間保育施設の給付事務が増大・複雑化しており、市への申請事務に多大な時間を要している。</p> <p>給付管理システムを導入することで、作業時間を短縮し、民間保育施設に勤務する保育士の事務負担軽減を図るとともに、保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間保育施設における給付事務について、請求・審査・給付計算に関わる業務が当該システム上に一元化される。 メール等を介さないため、双方のやり取りがスムーズとなり、事務に係る作業時間が削減される。 保育施設と市が共有の画面を用いて給付事務を行うため、独自のExcel様式や紙の報告様式が不要となる。 ダッシュボード機能、コミュニケーション機能が構築され、依頼内容等を見落とさないようになる。 		 <p>この図は、給付管理システムの導入による業務フローの効率化と機能の充実を示しています。</p> <p>業務フロー:</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼保施設: 実績集計 (登録管理自動化による集計作業の負担軽減に貢献) 給付申請: 申請書類は作成不要 (給付の取りこぼし防止に貢献) 申請チェック: 月次のチェック自動化 (業務の属人化防止に貢献) 実績報告 (市側): 実績情報のとりまとめ簡略化 (子育て支援施策にデータ活用) <p>機能一覧:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 補助金: 公定額格、地方創生補助金、地域子ども・子育て支援事業、施設等利用補助、積算、広域利用、施設改善等補助、実績報告、空井台帳作成補助 2 ダッシュボード: 連年開自カレンダー、お知らせツール、履歴データまとめ、職員データまとめ、履歴シミュレーション 3 各種届出: 各種申請、変更届 4 監査補助: 補償調査書作成補助、補償チェック、勤続実績チェック、会計チェック 5 保育士管理: 履歴書、在職証明書、キャリアアップ研修、研修受講履歴、キャリア形成 6 発達管理: 母子手帳、発達記録、子育て指導、入所申込、各種届出 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム導入施設数 ②システムを用いた給付申請件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①給付業務にかかる時間の削減率 ②システム利用事業者の満足度 ③保護者の保育園に対する満足度 		

事業概要 【公立保育所ICT活用事業】

自治体名	埼玉県鶴ヶ島市	人口	70,066人	事業費	5,131千円
事業概要	<p>様々な子育てニーズや保育所の役割強化に対応するため、保育所にICTシステム（保育所業務支援システム・給食情報システム・タブレット端末）を導入し、保育現場のデジタル化を推進することで、保護者の利便性の向上と保育士等の業務効率化による保育の質の向上を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【①保育所業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園記録の管理 ・保護者と保育所間の連絡（欠席遅刻連絡・緊急連絡・お知らせ等） ・健康状態等の園児情報の共有 ・保育日誌等の保育に関する記録の作成 ・お便りの配信 ・行事予定表の作成 ・保護者アンケート <p>【②給食情報システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養計算 ・献立作成 ・アレルギー食の管理 ・食育推進計画の作成 ・食材発注管理支援 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリを利用する保護者数の割合 ②欠席連絡におけるアプリ利用率 ③給食情報システムを活用して電子化したお知らせの数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリへの満足度 ②保護者の公立保育所に対する満足度 ③給食情報システムにより作成した情報を継続して受け取りたい保護者の割合 			

事業概要 少子化対策支援システム

自治体名	埼玉県比企郡鳩山町	人口	12,990人	事業費	2,068千円
------	-----------	----	---------	-----	---------

事業概要

鳩山町は少子高齢化が著しく進行しており、町では、少子化対策のため、町HP及び公式LINEに連動できる以下の環境構築を行う。

①子育て支援アプリを導入し、これまで紙面での交付であった母子手帳や子育てイベントのチラシ等をデジタル化し、プッシュ型通知機能を利用することで、スマートフォンから多くの情報を取得する現在の子育て世代が活用しやすい双方向型のサービス環境を構築する。

②町HP連動型空き家バンクシステムを導入し、町内の空き家売却希望者と移住希望者の物件マッチングや各種補助金情報を提供できる環境を構築する。

具体サービス

少子化対策支援システム

- ・子育て支援アプリ
 - ①予防接種記録のデジタル化
 - ②子育てイベント情報の発信
 - ③成長記録のデジタル化
 - ④周辺医療機関等情報の検索
 - ⑤産前・産後のサポート機能
- ・町HP連動型空き家バンクシステム
 - ①売却希望物件・購入希望者の登録
 - ②物件検索機能
 - ③オンライン内見会の実施
 - ④町の空き家・移住等に関する補助制度の案内
 - ⑤町への空き家に関する問い合わせ機能

※子育て支援と移住施策
 ※町公式LINEと連動し、プッシュ型で住民等にいち早く町の情報を提供する。

○少子化対策支援システム

The diagram illustrates the flow of information and services. At the top, 'LINEを起点にデジタルサービスを展開' (Expand digital services starting from LINE) is written in red. A central cloud contains '相談・問合せ' (Consultation/Inquiry) and '情報発信' (Information Dissemination). Blue arrows show '相談・問合せ' between '役場' and '住民', and '情報発信' from '役場' to '住民'. A red double-headed arrow labeled '子育て世帯・移住者情報の共有' (Sharing of childcare and relocation information) connects '役場' and '鳩山町コミュニティ・マルシェ指定管理者'. Yellow arrows show '相談・問合せ' between '鳩山町コミュニティ・マルシェ指定管理者' and '売却希望者 購入希望者 移住希望者', and '物件・助成金の紹介' (Introduction of properties and subsidies) from the manager to the buyers. Red curved arrows indicate the flow from 'LINE' to the various components.

主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】	【アウトカム指標（成果指標）】
	<ol style="list-style-type: none"> ①町公式LINEの登録者数 ②子育て支援アプリのダウンロード数 ③空き家バンクシステムへの登録物件数の増減 ④空き家バンクシステムの利用者数 	<ol style="list-style-type: none"> ①少子化対策支援システム利用者の満足度向上 ②鳩山町に転入してくる方と子育て世帯数の増減

事業概要 【ICTを活用した児童相談所業務改善事業（音声マイニングシステムの導入）】

自治体名	千葉県	人口	6,274,510人	事業費	80,200千円
------	-----	----	------------	-----	----------

事業概要

本県の児童相談所では、職員採用数の増加に伴い、業務経験の浅い職員が多数在籍しており、また、業務においては電話対応及び対応記録の作成に要する時間が多くの割合を占めている現状がある。

音声マイニングシステムの導入により、経験の浅い職員の対応力の向上を図るほか、記録作成等業務時間の短縮を図ることで、児童やその家族との面談等に充てる時間を増やし、重篤な虐待事案の未然防止や効果的な家族関係支援を可能とする。

具体サービス

○システムに搭載されている音声認識技術を用いて、職員と相談者との通話内容を分析し、自動的にテキスト化することで記録作成時間の短縮を図る。

○電話中の会話で出てきたキーワード等に応じて、予め登録しておいたガイダンス内容（マニュアル・各種通知など）をシステム画面上に表示することを可能とするほか、上席職員により通話内容をリアルタイムで確認することを可能とし、応答時間の短縮やOJTによる職員の対応力向上を図る。

○システム導入により得られた定型業務の削減効果や職員の対応力を、相談者との面談や家族支援に向けることで、児相と児童、その家庭との信頼関係や共通認識、理解に基づいたアセスメントによる家庭への柔軟なサポートの実現を目指す。

システムにより通話内容を全自動で文字起こしすることで記録作成の業務支援

定型業務の効率化によってより丁寧な面談の実施、家族支援策の検討に時間を充て、児童福祉の向上を図る

主なKPI

【アウトプット指標（活動指標）】

①音声マイニングシステムを活用した相談件数の増

【アウトカム指標（成果指標）】

①面談時間等の増加時間合計
②一時保護平均日数の減
③職員の対応力向上

事業概要 【デジタル技術を活用した児童虐待等への対応】

自治体名	千葉県船橋市	人口	648,591人	事業費	31,716千円
事業概要	<p>家庭児童相談室が行うケースワークにおいて、面接・訪問時におけるデータの閲覧や記録を作成・共有ができるシステム（モバイル端末）を導入する。職員がシステムの機能を活用することで、現場と事務所間での瞬時の情報共有が図れることで、子ども・保護者へのきめ細かな支援を実現する。なお、市児童相談所及びこども家庭センターの開設を目指しており、両組織で本システムを継続して使用する予定。</p>				
<p>【伴走型業務支援システム】</p> <p>〇 モバイル端末の活用により、訪問先等でのデータの閲覧や記録の作成が可能となり、現場と管理職の間でリアルタイムによる情報共有が可能となる。</p> <p>〇 チャット機能により、けが等の画像を共有することで一時保護の要否、児童の安全確保等の判断を正確かつ迅速に行うことが可能。</p> <p>〇 モバイル端末の活用により現場で記録作成が可能のため、記録作成にかかる作業時間を短縮することができる。</p> <p>〇 AIを活用した蓄積データ分析によるリスク指標等の提示により調査や処遇決定の質の向上、迅速化を図る。</p> <p>具体サービス</p>	 <p>リアルタイムでの情報共有 判断の正確性・迅速性の確保 記録作成業務の効率化 等</p> <p>住民裨益</p> <p>正確かつ迅速な一時保護の判断</p> <p>児童との接触機会を確保し、ケア等を充実</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①訪問時等でシステムを使用した件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①家庭訪問件数 ②児童との面接件数</p>		

事業概要 【直営保育所ICT導入事業】

自治体名	千葉県野田市	人口	153,753人	事業費	7,599千円
事業概要	<p>現在の登降園管理や園児の健康状態の把握、連絡帳、アンケート等は手書きによるものが多く、保護者にとって負担となっている。直営保育所において、ICTを導入することで、保護者の負担軽減及び送迎時間の短縮を目指す。また、負担軽減で生じた時間を子どもと向き合う時間やノンコンタクトタイムに充て、保育の質の向上を図り、安心・安全な預かりにつなげていく。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の欠席や遅刻の連絡を保護者がスマートフォンからいつでも行うことができる。 ・今まで紙に記載してもらっていた園児の健康状態について、スマートフォン等からの入力が可能となることで、保護者の負担軽減につながる。 ・各クラスに設置されたタブレットを用い、打刻式の登降園管理とすることでタイムリーな子どもの登園状況の確認ができ、安心・安全な預かりにつながる。 ・緊急連絡時に一斉配信ができ、既読の確認を行うことで、効率的に保護者へ情報伝達を行うことができる。 	 <p>保育の質の向上</p> <p>情報の一括管理 一斉連絡</p> <p>保育所ICT導入イメージ図</p> <p>24時間どこからでも園に連絡可能</p> <p>スマートフォン等を囲いた登降園管理</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの登録率 ②システムを利用した欠席・遅刻連絡率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用満足度 			

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	千葉県勝浦市	人口	15,703人	事業費	10,151千円
事業概要	<p>市内の公立保育所2か所及び公立認定こども園1か所へ「保育業務支援システム」を導入することにより、従来の電話又は連絡帳での保護者との連絡からアプリによる保護者連絡とすることにより、保護者の利便性の向上を図る。また午睡チェックセンサーを合わせて導入し、午睡中の安全対策を強化することにより、保護者が安心して預けられる環境の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育ICTシステム】</p> <p>○保護者連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ配信 ・出欠連絡 ・連絡帳 ・写真販売 <p>○業務支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児台帳 ・登降園管理 ・園児記録 ・指導計画作成 ・監査資料作成 ・申し送りなど引継ぎ共有 ・午睡チェックセンサー 	<p>保護者・園児</p> <p>保育ICTシステム (ASPサービス)</p> <p>千葉県勝浦市 保育園 (保育士) 保育ICTシステムの操作等</p> <p>スマホやタブレットによる登降園の打刻</p> <p>出欠連絡、連絡事項・報告・相談のやりとり、成長記録の参照など</p> <p>お便りやお知らせの参照、過去の配布物の参照</p> <p>アンケートへの回答、意向・要望の伝達</p> <p>⑤ アレルギーなどの基本情報記録</p> <p>ゆとりがある、質の高い保育がある環境での生活</p> <p>① 登降園の自動記録</p> <p>② 連絡帳及び発達記録</p> <p>③ お便りなどの配布物をデジタル配信</p> <p>④ 保護者向けアンケート機能</p> <p>園児ごとの体質・基本情報の把握による事故防止</p> <p>⑥ その他事務軽減機能</p> <p>ルクミー</p> <p>保育業務の負担軽減</p> <p>書類業務をデジタル化作成・確認・転記コストを大幅圧縮</p> <p>保育の見える化</p> <p>齟齬のない円滑な意思疎通</p> <p>写真を起点とした豊かな記録</p> <p>電子通信化による保護者コミュニケーション円滑化</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者アプリの登録率 ② オンラインでの遅刻欠席連絡率 ③ お便り等配付物のデジタル化促進 	<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者の負担軽減 ② システム導入により保育士等とのコミュニケーションが増えたと感じる保護者の割合 			

事業概要【公立保育園ICT化事業】

自治体名	千葉県印西市	人口	111,198人	事業費	9,079千円
事業概要	<p>市内の公立保育園では、保護者とのやり取りを電話や紙で行っており、保護者にとって情報の発信・受信できる場面が限定的なものとなっている。また保育士の業務についても、指導案や日誌等の書類作成、連絡帳などの手書き業務等、事務作業も多く、超過勤務の増加に繋がっている。そこで、5ヶ所の保育園にICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードによる画面タッチまたはQRコードの読み取りで、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） ・園児に関する連絡事項について保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は電話もしくは登園時、降園時の口頭伝達） ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信 <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <p>児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。（現在は紙・口頭での共有）</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育所から保護者への情報発信数 ② アプリの利用者数 ③ 欠席連絡におけるアプリ利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① システム利用満足度（保育サービスに対する満足度） ② ③ 		

事業概要 【子育てヘルプサービスデジタル化事業】

自治体名	千葉県印西市	人口	111,198人	事業費	2,180千円
事業概要	<p>本市で行っている子育てヘルプサービスの手順をデジタル実装する。 LINE上で子育てヘルプサービスの申込みから実施報告までを完結させ、サービス利用後の費用決済にキャッシュレス決済を導入することで利用者の利便性を向上させるとともに、利用者と市が利用回数等の情報を共有することでサービスの改善、効率化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【対象】 市内在住の在宅妊産婦 一時的に育児及び家事が困難となる児童等の保護者</p> <p>【LINEシステム実装内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録 ・対象者情報の集約・管理 ・実施後申請 ・決済 ・サービス利用者の特定及び利用時間のデータ化 <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セグメント配信機能 ↳子育て情報の案内/属性別配信 ・チャットボット機能 ・アンケート、予約機能 	<p>利用者申請及び予約電話遷移</p> <p>利用者登録完了</p> <p>利用後申請・電子決済</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①LINE上での子育てヘルプサービスの申込件数 ②対象者世帯に向けたアプリ体験会の実施 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育てヘルプサービスの満足度 ②子育てヘルプサービスのホームページアクセス件数 			

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	千葉県山武市	人口	48,426人	事業費	10,718千円
事業概要	<p>公立こども園 5 園、公立幼稚園 1 園、私立保育園 2 園（以下、「こども園等」という。）に園務支援システムを導入し、「教育・保育の見える化」に取り組む。午睡チェックセンサーの活用により、午睡中の事故の発生を防止する「教育・保育の安全安心」の提供や、連絡帳等のデジタル化により、「家庭と園の関わりを密にすること」及び「保育士等の負担軽減」に取り組み、心や時間にゆとりを持つことにより、新たな気づきを得るとともに、教育・保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【午睡チェックサービス】（教育・保育の安全安心）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサーを園児に装着し、窒息事故につながるうつぶせ寝を検知し、午睡中の事故を防止するとともに、5分ごとの体位を自動記録化し、連絡帳とデータ連携することで、午睡の状況を保護者と共有。 ・自動記録化による保育士等の事務の軽減と、センサー検知による保育士等の心理的負担を軽減する。 <p>【連絡帳・おたよりのデジタル化】（家庭と園の関わりを密にすること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やおたよりをデジタル化することにより、写真など紙面では限られていた情報量が充実し、迅速な配信と、時間や場所を問わず送受信が可能となり、家庭と園の関わりを密にすることができる。 ・デジタル化により作成と印刷、配布に係る保育士等の事務作業が軽減できる。 		<p>5分おきの手書きチェック</p> <p>紙媒体中心の保護者とのやり取り</p> <p>チェック自動化 / うつ伏せ・体動停止アラート</p> <p>ペーパーレスで保護者連絡の効率化 / 登降園管理</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリによる欠席連絡の割合 ②おたよりの配信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①園務サービスの満足度 ②当該事業により保育士等とのコミュニケーションが増えたと感じる保護者の割合 		

事業概要 【AIを活用した相談窓口事業】

自治体名	千葉県多古町	人口	13,607人	事業費	4,009千円
事業概要	<p>住民との窓口相談業務等を対象に、相談者の同意を得たうえで、音声認識やデータ分析技術等のAI活用により、相談時の音声をシステム内でテキストへ自動変換し記録する。</p> <p>AIが相談内容から重要な単語をチェックし、相談に必要な情報を職員へガイダンスすることにより、相談者に対し、適切な情報提供や対応ができるようになる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AIを活用した相談業務支援サービス】 相談者に対し、発話された言葉に反応して、必要となる知識・情報や行動・判断などをサポートし、職員の業務知識の差異による不利益・不公平をもたらさない。</p> <p>AIの活用による窓口相談業務に係る業務効率・相談自体の質的向上効果が図られ、住民サービスの向上及び職員の業務時間の短縮が見込める。</p>	<p>(現状の流れ(イメージ))</p> <p>①相談・調査の実施 → ②相談記録の作成、リスクアセスメント → ③必要事項のシステム入力 → ④対策の検討 (庁内・関係機関との調整)</p> <p>デジタル化/AI活用</p> <p>(デジタル化後の流れ(イメージ))</p> <p>①AIによる相談フォロー、相談・調査記録の自動作成 → ②過去の記録に基づいたAIによるリスクアセスメント → ③データ連携によるシステム入力補助 → ④AIを活用した対策検討 (庁内・関係機関) → ⑤データ分析による事前予防</p> <p>職員支援ガイダンス 相談記録票の自動作成</p> <p>相談内容のデータ分析</p> <p>行政データ分析による傾向分析・予測判断</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①相談記録作成時間の短縮 ②システムを利用した件数 ③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①相談窓口利用者満足度 ② ③</p>			

事業概要 【一時預かり保育などにおけるオンライン予約システムの導入】

自治体名	東京都中央区	人口	176,742人	事業費	9,475千円
事業概要	一時預かり保育、緊急保育、トワイライトステイについて、利用者がスマートフォンやPCから空き状況の確認、利用予約等が行えるシステムを導入する				
具体サービス	<p>【一時預かり保育などにおけるオンライン予約システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり保育、緊急保育、トワイライトステイについて、利用者がスマートフォンやPCから空き状況の確認、利用予約等が行えるシステムを導入する 	<pre> graph BT A[利用者(アカウント登録後)] --> B[WEB予約システム] B --> C[施設の空き状況確認、予約] </pre>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①WEB予約システムの利用累計件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①WEB予約システムの利用満足度</p>			

事業概要 【保育園ICTシステムの導入及び運用保守委託事業】

自治体名	東京都中央区	人口	176,742人	事業費	8,534千円
事業概要	<p>現在、区立(公設公営)保育園において運用している保育園管理システム及び保護者連絡ツールを一元化し、新たに連絡帳機能等を備えたシステムを導入することで、保護者の利便性向上や職員の負担軽減による保育の質の向上を図る</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育園ICTシステムの導入(コドモンの予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区立(公設公営)保育園において、システム(アプリ)による登降園管理機能や帳票管理機能、保護者連絡機能などを利用できるシステムを導入 ・システム(アプリ)を導入することで、従来のやりとりがアプリ上で可能になり、保護者は場所や時間を選ばず、情報の提出・確認ができる 		<p>区 保育園ICTシステム(コドモンの予定)</p> <p>区立(公設公営)保育園</p> <p>システム(アプリ)を通じてやりとりが可能</p> <p>保護者</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <p>①アプリの累計ダウンロード件数</p>		<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <p>①紙媒体の連絡カード等の利用率の減少</p> <p>②利用者満足度の向上</p>		

事業概要 【AI児童虐待・児童相談対応支援システムの導入】

自治体名	東京都港区	人口	266,529人	事業費	21,393千円
事業概要	<p>・児童相談所におけるケース対応（主に訪問・面接）をAI機能を使った一時保護やアセスメントの補助を参考に、迅速な情報共有をし、児童の安全を確保する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AI児童相談・相談支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問時に、所内との情報共有を図ることで、経験値の浅い職員でも、所内からのアドバイスを受け児童や保護者へより良い支援、指導を提案できる。 一時保護等の対応状況の報告がリアルタイムで行えるため、児童の安全確保までの時間が短くなる。 セーフティアセスを利用し、一時保護の判断の材料にしたり、調査不足部分を明確にすることができる。 法律や、サービス内容を視覚的に対象者に示す。 記録時間を削減し、その分1ケースでも多くの対応ができるようになる。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① 面接、訪問時のタブレット端末使用回数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 援助方針決定件数</p>			

事業概要 【通話音声テキスト化・モニタリングシステムの導入】

自治体名	東京都港区	人口	266,529人	事業費	13,844千円
事業概要	<p>港区では、児童虐待やDV、子育てへの不安や悩みに関する様々な相談が年々増加しています。職員は、相談内容を丁寧に聞き取り、その対応全ての経過記録を作成しており、多くの時間を要していることに加え、電話対応では、知識や経験にかかわらず、即時に相談者に対して適切な助言や支援サービスの案内につなげることが求められ、デジタル技術を活用し、業務効率化や職員の相談対応力、組織対応力の向上を図るため導入します。</p>				
<p>具体サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①相談者との通話のやり取りを高い認識率でテキスト化及び要約する機能 ②通話のやり取りをスーパーバイザーと共有する機能 ③相談者に対して適切な回答をアナウンスするための支援機能 ④事前に登録した注意ワードに応じたアラートや区独自の関連マニュアルを自動表示する機能 		<p>区民や関係機関からの連絡</p> <p>子ども 保護者 保育園や学校等 警察等</p> <p>職員</p> <p>実施時期 令和6年7月運用開始</p> <p>事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 子どもや保護者へ迅速で丁寧な対応 ☑ 職員の負担軽減 <p>モニタリングスーパーバイザー等による支援</p> <p>リアルタイムでテキスト化・要約テキストを自動作成 ・職員間の速やかな共有 ・記録時間の大幅な削減</p> <p>マニュアル支援・対応ガイドの表示 ・相談内容に応じた情報表示。例)「強く怒鳴ってしまった」→頻度・時期、等。</p> <p>アラート自動表示・対応困難時のヘルプ依頼 ・注意ワードの登録 ・例)「警察」「救急」「手を上げた」等</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①通話書き起こし時間の削減 ②アラート表示の自動表示数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①システム導入の満足度 ②要保護児童対策地域協議会個別ケース検討会議開催数 		

事業概要 【学童クラブ児童見守りシステムの拡充】

自治体名	東京都港区	人口	266,529人	事業費	68,165千円
事業概要	<p>港区は平成28年度から「学童クラブ児童見守りシステム」を運用している。これまでの児童の入退室状況の把握が中心だった機能を拡充し、電話や紙ベースで行っていた施設と保護者間の情報共有をクラウドサービス上で行うほか、利用している児童の入退室状況を集約して情報共有を図る設備を導入する。システムの拡充により、児童の安全確保以外にも施設・保護者双方の負担の軽減を図り、業務効率化によって捻出した時間を活用し、学童クラブ運営の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 入退室管理機能：児童の欠席や遅刻の連絡は保護者から電話を受ける手段しかなかったが、アプリから連絡をすることで、欠席や遅刻の状況が入退室管理簿に自動で反映される。 ◆ 連絡・お知らせ機能：電話や紙ベースでやりとりしていた連絡を「連絡ノート」機能により、アプリを通じて施設と保護者が双方向で連絡し合うことができる。施設の全体連絡やイベント情報等も配信可能となる。 ◆ 情報共有の強化：児童の帰宅時間等をシステム上で可視化し、職員及び児童が学童クラブ室等で大型ディスプレイで確認できるようにし、情報を集約・共有することができる。 ◆ より正確に入退室情報を記録できるよう、児童に配布したICタグを読み取るゲートを適正な設置場所に配備する。 </div> <div style="flex: 2;"> <p>ICタグを持った児童が学童クラブのゲートを通過すると自動で入退室情報が送信</p> <p>データ受信 施設</p> <p>保護者</p> <p>学童クラブ児童見守りシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ アプリで保護者が児童の欠席や遅刻を連絡する ➢ アプリで施設からの配信情報をいつでも確認できる ➢ アプリで児童の健康状態などを個別に連絡できる ➢ 入退室管理情報が反映され、システムから確認できる ➢ 全体への連絡事項やイベント情報を一括で配信できる ➢ 保護者からの連絡事項への返信や、個別の連絡ができる <p>情報を集約・可視化して共有できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の帰る時間 ・ 保護者のお迎え有無 ・ 帰宅ルート </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①連絡ノート機能の利用比率 ②おくりだしボード情報共有回数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設職員によるサービスの期待値・満足度 ②保護者によるサービス満足度 ③施設職員と児童と向き合う時間の確保 		

事業概要 【保育業務支援システムの導入】

自治体名	東京都新宿区	人口	349,376人	事業費	17,633千円
事業概要	<p>新宿区では、保護者と保育園との連絡手段には紙媒体や電話を使用しており、保護者にとって負担となっている。そこで、保育業務支援システムを導入することで、保護者からの欠席・遅刻などの連絡や園からの配付物など保護者との連絡に加え、登降園管理や各種帳票の電子化を進めることで、保護者の利便性の向上を図るとともに、保育士が保育に専念できる環境を整備することで、保育サービスの充実を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システムの導入】</p> <p>保育業務支援システムを導入し、下記の主なサービスを保護者及び職員が利活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡 欠席・遅刻等の連絡やお便りの配信、緊急連絡等のデジタル化 ・登降園管理 画面タッチやQRコード読取等による登降園時間の自動記録、在園児管理のデジタル化 ・帳票等 連絡帳や指導計画等の各種帳票のデジタル化 ・健康管理 午睡チェックやトイレチェック、身体測定の記録のデジタル化 		<p><サービスイメージ></p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの利用率 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリ利用者の満足度 ② ③ 		

事業概要【一時保育システムの導入】

自治体名	東京都新宿区	人口	349,376人	事業費	7,301千円
事業概要	<p>区立保育園・子ども園の一時保育の利用にあたっては、各園に電話等で空き状況の確認や事前に来園のうえ利用申込をする必要があることから、一時保育システムを導入し、オンラインで複数の園の最新の空き状況の確認や利用申込等を可能とすることに加え、保育料のキャッシュレス決済等への対応を行い、一時保育をより使いやすいものとしていく。</p>				
具体サービス	<p>【一時保育システムの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園情報の検索機能 オンラインで利用可能な園や日程を確認することが可能 ・オンライン申込機能 利用登録申請や登録にあたっての面接予約、利用申込について、オンラインで行うことが可能 ・保育料のキャッシュレス決済等への対応 PayPayやLINEpayなどのコード決済やコンビニでの支払いに対応 		<p>＜サービスイメージ＞</p> <pre> graph TD User[利用者] -- ①空き状況の検索・利用申込等 --> System[一時保育システム] System -- ②利用申込状況の確認 --> District[区(保育園等)] District -- ③一時保育利用 --> User District -- ④請求 --> User User -- ⑤支払 --> Bank[銀行・コンビニ・指定納付受託者等] Bank -- ⑥入金 --> District </pre>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一時保育の利用申込件数のうち一時保育システムを利用して申込みをした件数の割合 ②キャッシュレス決済等による保育料の支払割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一時保育システムで利用申込をした利用者の満足度 ②保育料のキャッシュレス決済等を利用した利用者の満足度 		

事業概要 【AIを活用した相談支援システムの導入】

自治体名	東京都台東区	人口	212,368人	事業費	11,725千円
事業概要	<p>子ども家庭支援センターにおける電話相談に、音声データとA Iによるリアルタイムテキスト化機能等を備えた相談支援システムを導入し、業務の効率化と相談員の対応力向上を図る。業務の効率化により削減した時間を相談対応にあて、区民サービスの向上に繋げる。</p>				
具体サービス	<p>【AIを活用した相談支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通話内容がP C画面にリアルタイムに文字化され表示される。 相談中の会話内容をもとに、相談対応に必要なガイダンス（マニュアルや語句説明・制度の手続き方法など）が自動的に画面に表示される。 相談内容を他の相談員がリアルタイムで確認でき、適宜フォローできる。 		 <ul style="list-style-type: none"> 電話による相談対応 相談内容のテキスト化（文字化） 相談対応ガイダンスを画面に表示  <ul style="list-style-type: none"> 相談内容等の情報共有 対応方針検討  <ul style="list-style-type: none"> 相談記録の作成 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新規養護相談数 ②A I 相談支援システム利用件数（年間） ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①要保護児童数の終了件数 ②関係者会議等の開催件数（年間） ③ 		

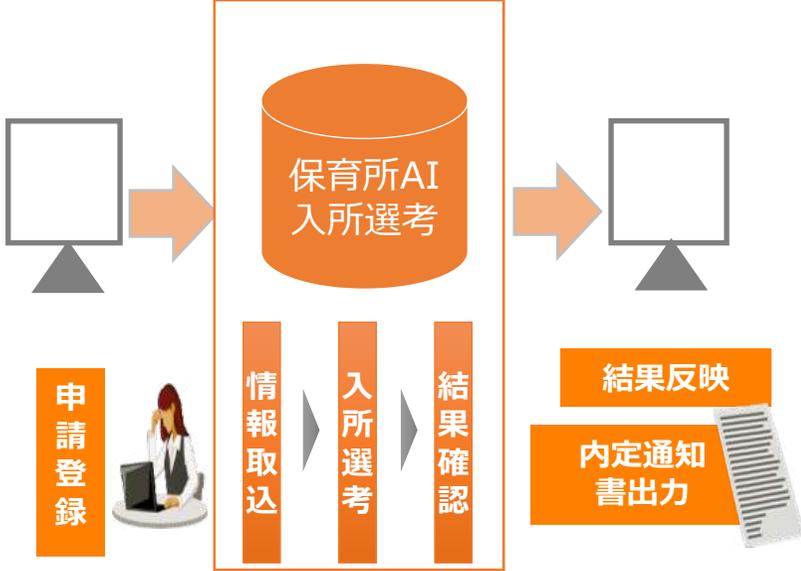
事業概要【ファミリー・サポート事業】

自治体名	東京都江東区	人口	539,127人	事業費	2,700千円
事業概要	<p>保育所への送迎等、育児の手助けを必要とする方（利用会員）と、育児の手助けができる方（協力会員）の仲介を行う。 会員の登録受付や利用継続確認をオンライン化することにより、会員の負担軽減を図る。</p>				
具体サービス	<ul style="list-style-type: none"> Web上にファミリー・サポート事業の会員登録受付および継続意思確認ができるフォームを開設。 Webで手続きが完了するため、利用会員・協力会員の負担軽減が期待される。 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 登録・継続意思確認フォームの利用累計数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 登録・継続意思確認フォーム満足度アンケート 			

事業概要 【ICTを活用した効果的な課題解決型児童虐待対応】

自治体名	東京都世田谷区	人口	918,413人	事業費	54,193千円
事業概要	<p>区児童相談所や子ども家庭支援センターが行う児童虐待への対応については、本人からの相談は少なく、多くは近隣や関係機関など本人以外からの通告によるものである。そのため、子どもの養育に課題はあるものの、本人に支援ニーズがなく、支援につながりにくいといった課題がある。</p> <p>本事業では、子どもの安心・安全を確保することを第一としつつ、養育における課題をICTの活用を通じた対応力の向上とともに、情報の見える化を図り、顕在的・潜在的な支援ニーズを本人が把握し、区が提供する支援に対して同意を得ながら子どもの最善の利益が図られる地域社会の実現を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>① 訪問先等外出先での面接時にタブレット端末を用いてその場で記録を入力することで、従来、所に戻ってから改めて記録を作成していた時間を他の業務に充てられるとともに、子どもや保護者に対してリアルタイムで話した内容や結果、今後の進め方を文書として共有する。また、タブレット端末に子育てサービスの案内や施設情報、法令等を取り込み、子どもや保護者に対して行政が提供しようとするサービスや法的根拠等の見える化を図る。</p> <p>② 写真撮影及びチャット機能を活用し、外出先にいる職員と所内上席職員との情報共有をより迅速かつ確実に行いながら、適切な一時保護等子どもの安心・安全確保を図る。</p> <p>③ タブレット端末に搭載されているセーフティアセスメントの入力を通じて、対応の判断及びケース調査時の視点のサポートが行われることで、職員の経験値による判断の質の差異を最小限に抑え、すべての子どもやその家庭に対して同等の行政サービスの提供を図る。</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;"> <p>従来</p>  <ul style="list-style-type: none"> 外出時の記録はメモや記憶を頼りに所内へ戻った後、パソコンから入力作業を行う。 面接相手に対して、口頭での情報提供が主になる。 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 外出先の職員と所内職員とのやり取りは電話に限られており、経席時等情報共有が円滑に行われない場合もある。 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 職員の経験値に基づくケース判断を行う際、年齢の若い職員や経験の浅い職員が多く、経験豊富な中堅職員が少ない状況がある。 </div> </div> <div style="margin: 10px 0;">↓</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;"> <p>サービス導入後</p>  <ul style="list-style-type: none"> その場で記録作成できることで、記録作成作業時間の縮減、業務時間の有効活用を図る。 端末中に関連情報を取り込み、相手に対して情報の見える化が可能となる。 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 写真撮影機能、チャット機能を活用し、より迅速かつ確実な情報共有を図る。 適切な一時保護等子どもの安心・安全確保を図る。 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> セーフティアセスメントの入力を通じて、経験値による判断の質の差異を最小限に抑え、全ての子どもや家庭に対して同等のサービス提供を図る。 </div> </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① サービスへの登録児童数</p> <p>② 相談支援機関におけるタブレット端末を用いた面談実施回数</p> <p>③ セーフティアセスメントの入力件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 虐待による死亡、重篤状況に至った事例の検証数</p> <p>② 代替養育※を必要とする児童数</p> <p>※ 虐待を受けた子どもや何らかの事情により実の親が育てることのできない子どもを親から分離して施設や他の家庭で養育すること</p> <p>③ タブレット端末を用いて子育て支援サービスにつなげた件数</p>			

事業概要【保育業務システム構築事業】

自治体名	東京都世田谷区	人口	918,413人	事業費	15,758千円
事業概要	<p>保育所入所選考業務は、申請者の優先順位やきょうだい同一入所希望などの複雑な条件にもとづき、様々な事情を考慮した上で、限られた入所枠に割り当てる作業を行っているが、多くの人手と時間を要しており、結果通知にも時間を要してしまう。</p> <p>AI選考システムを活用することで、事務効率化はもとより、区民への迅速、正確、さらにはきめ細やかな対応を行うことで、子育てしやすい地域社会の実現を目指していく。</p>				
具体サービス	<p>1. 子ども子育て支援システムから入所選考に必要な情報を抽出</p> <p>既存のシステムから、児童ごとの情報（保育所利用調整指数、希望施設、きょうだいの入所希望など）や保育所の空き定員情報など、入所選考に必要な情報をAI選考システムに取込む。</p> <p>2. AI入所選考</p> <p>申請者の多様な要望や、保育所利用調整指数に基づく優先順位やきめ細かな基準に基づき、優先順位に沿って入所選考割り当てを、これまで数日かかっていたものを数分で処理</p> <p>3. 結果通知</p> <p>保護者への決定通知を早期に行えるため、住民サービスの向上にもつながる。また、区民からの問い合わせや窓口対応において、透明性の高い説明が可能となる。</p>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①AI選考件数 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①区民への4月入所（一次）選考結果発表日が早まった日数 ②子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合 ③ 		

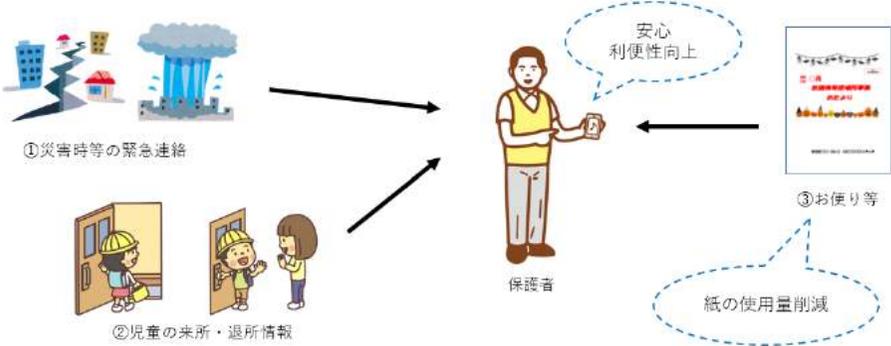
事業概要 【児童相談所の機能強化による児童や家庭への支援の充実】

自治体名	東京都中野区	人口	337,505人	事業費	38,166千円
事業概要	<p>児童相談所が行うケースワークにおいて、面接・訪問時におけるデータの閲覧や記録の作成・共有とともに、A I や統計データに基づくサポートを可能とするモバイルシステムを導入する。職員がシステムの機能を活用することで、児童相談所において、質の高いケースワークを提供する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【相談援助業務モバイルサービス 主な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童情報・記録の管理機能、対応データ蓄積 ○ 対応ポイント表示（先行研究に基づくケースワークの調査等で優先的に確認すべき情報等を表示） ○ 業務状況の可視化を通じた施策立案支援 ○ 閉域無線回線の利用及びモバイル端末による情報共有 <p>【導入による相談者等への主な効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の知見だけでなくデータも含めて判断をする児童相談所となり、児童や保護者がより安心して相談ができる。 ○ 区が実態・ニーズに基づいたサービスを立案し、必要とする児童や家族がそのサービスを利用できるようになる。 ○ 業務効率化で生まれた時間を、子どもの利益を最大化する支援検討や対応に充てられる。 	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p>導入前</p>  <p>導入後</p>  <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">サービス利用を通じて、子どもや家庭に より充実した支援を安定的に提供することができる</p> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①面接等でサービスを使用した件数 ②サービスへの登録児童数 ③ケース予測を対応の参考とした件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童・保護者への訪問、面接等対応件数の増加数 ②利用者アンケートの回答「満足度」指標の増加率 ③職員のモバイルシステム利用満足度の増加率 			

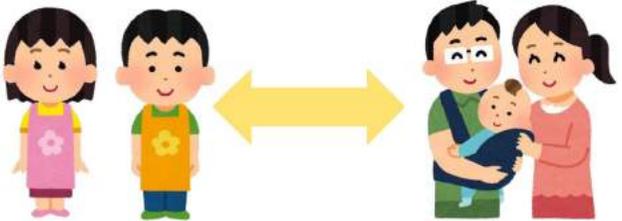
事業概要 【区立保育園・子供園向け I C Tシステム導入事業】

自治体名	東京都杉並区	人口	572,997人	事業費	40,977千円
事業概要	<p>杉並区デジタル化推進計画に基づき、区立保育園・子供園等に、スマートフォン等から連絡帳の閲覧・更新や欠席・遅刻の連絡ができるアプリケーションを導入し、在園児保護者の利便性向上を図る。加えて、登降園時間の自動記録化による出欠簿の廃止や各種指導計画・記録、日誌等の作成の効率化により職員負担を軽減し、これまで以上に保育士が子どもとかわる時間を確保することで、保育の質の向上につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育園等向け I C Tサービス】 保護者及び園職員が、システム内にて下記の主なサービス・業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保護者連絡 欠席・遅刻等の連絡やお便り配信、緊急連絡等 ●登降園管理 画面タッチやQRコード読取等による登降園時間の自動記録、在園児管理 ●帳票等 連絡帳や指導計画等、各種帳票のデジタル化 ●発育・健康管理 午睡チェックやトイレチェック、身体測定の記録 		<pre> graph LR A[区立保育園・子供園] -- "お便り配信、連絡帳など" --> B[保護者] B -- "欠席・遅刻連絡、連絡帳など" --> A </pre>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①欠席・遅刻等連絡のアプリケーション利用者数 ②お便りのデジタル化移行数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる満足度 		

事業概要 【放課後等居場所事業への居場所安全確認アプリケーション導入事業】

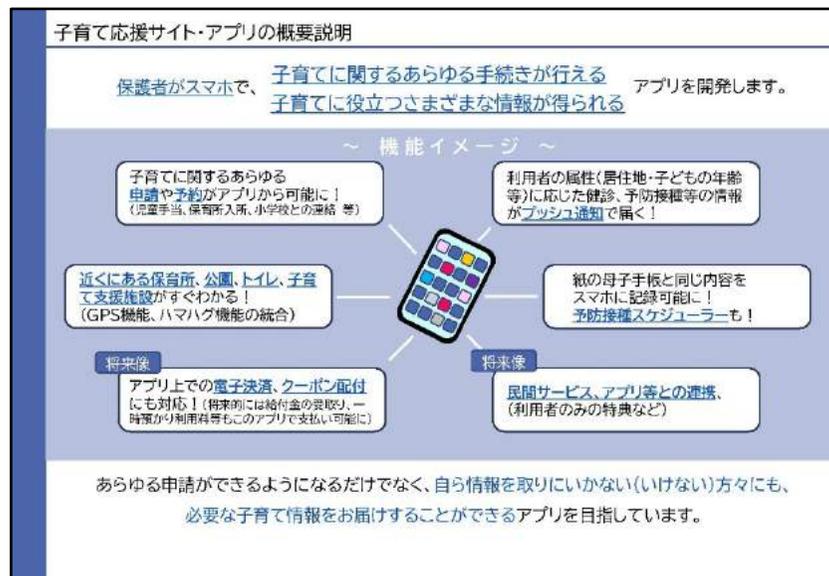
自治体名	東京都杉並区	人口	572,997人	事業費	13,611千円
事業概要	<p>子どもを脅かす事件・事故の多発を背景に、子どもの放課後等居場所事業への来所・退所の状況がわからないことに不安を訴える保護者の声が多くあることから、放課後等居場所事業実施拠点に居場所安全確認アプリケーションを導入し、子どもの安全と保護者の安心の向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>【放課後等居場所事業居場所安全確認アプリケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時等の緊急連絡 ・来所及び退所情報の送信 ・放課後等居場所事業のお便り等の配信 	 <p>The diagram illustrates the service flow. On the left, two scenarios are shown: ① Disaster emergency contact (disaster scene with a lightning bolt) and ② Children's arrival and departure information (children in a school hallway). Arrows from these scenarios point to a central figure of a guardian (保護者) holding a smartphone. A speech bubble above the guardian says '安心 利便性向上' (Improved safety and convenience). To the right, an arrow points from the guardian to a smartphone displaying a notification for '③ お便り等' (Notifications, etc.). A dashed line connects this notification to a speech bubble at the bottom right that says '紙の使用量削減' (Reduction in paper usage).</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①居場所確認アプリケーションの利用者数 ②放課後等居場所事業のお便り等のデジタル化移行率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる満足度 ②放課後等居場所事業のお便り等の紙の使用量 			

事業概要 【保育園管理システム事業】

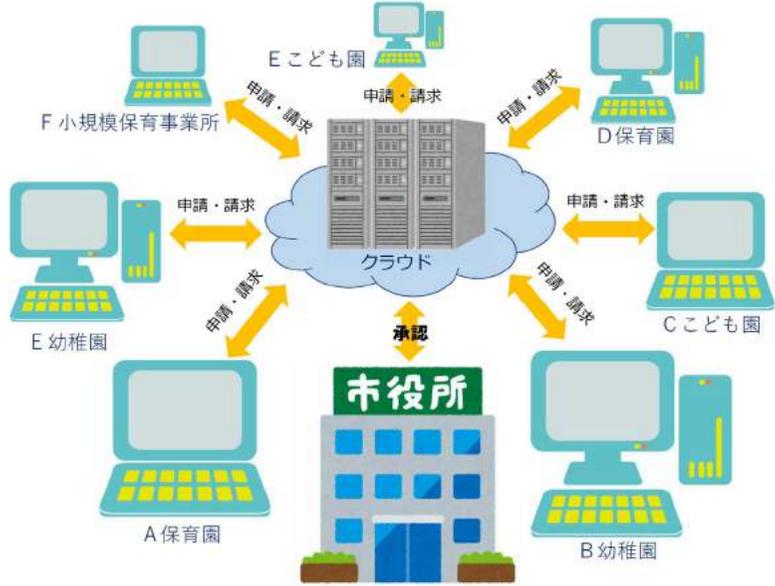
自治体名	東京都荒川区	人口	219,243人	事業費	50,771千円
事業概要	<p>保育園管理システムの導入と、システム利用に係る環境整備として無線環境の整備、タブレット端末の調達を行うことで、職員の煩雑業務を解消、園・保護者双方の利便性向上、事務時間を減らし、保育時間をより多く確保することで、保育の質を向上をそれぞれ図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育園管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園と保護者の連絡、通知に関する機能 ・園からの簡易アンケートの実施に関する機能 ・園児の登降園の管理に関する機能 ・園で作成する計画や日誌等帳票に関する機能 ・園児の発達や健康の記録に関する機能 		 <p>保育園 ←→ 保護者</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリダウンロード数 ②園作成帳票のシステム利用数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者利用者満足度 ②職員利用者満足度 ③ 		

事業概要 【子育て応援サイト・アプリ事業】

自治体名	神奈川県横浜市	人口	3,754,737人	事業費	155,000千円
事業概要	<p>「横浜DX戦略」の策定や本市で実施した調査結果等踏まえ、スマートフォンを通じて、子育てに関する申請・手続きや情報等を保護者・子ども一人ひとりに合わせて提供する「子育て応援サイト・アプリ(仮称)」を構築し、令和6年6月から運用を開始します。便利さを実感できるサービス・情報をデジタルにより提供することで、市民の利便性や子育てに関する満足度等の向上を図ります。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>令和6年度に追加実装する主な機能 下線が本申請対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請機能 令和6年6月の稼働開始時は児童手当、小児医療費等出生時の手続きを中心に実装。年度内に未就学時を対象とした手続きの約80%を実装予定 デジタル認証・署名アプリとの連携 マイナンバーカードを活用したオンライン上での本人確認機能を実装するため、デジタル認証・署名アプリ(デジタル庁提供予定)との稼働開始時からの連携を実施。 妊産婦・こどもの健康医療相談 子育ての不安を軽減するため、妊産婦及び未就学児の養育者が、無料で医師等に相談できる事業を実施 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て関連手続きのオンライン化割合 ②子育て応援サイト・アプリ アカウント登録者数 ③公的個人認証を利用した申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①手続きのオンライン化により市民に還元できた時間 ②育児不安の減少率 			



事業概要 【給付費等請求システムの導入】

自治体名	神奈川県横須賀市	人口	374,800人	事業費	17,820千円
事業概要	<p>施設運営に必要な給付費等の申請・請求及びその審査等に当たっては、施設・行政いずれにおいても事務に多大な時間と労力を要していることから、クラウド上で申請・審査・請求等が可能となるシステムを導入することにより、施設・行政双方の事務負担を軽減し、施設職員が子どもたちと向き合える時間を創出して教育・保育の質の向上を図るとともに、市民サービスの向上につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等請求システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設と行政がクラウド上の共通画面で申請・審査・請求等を行う。算定状況や支給額を双方が随時確認できるようになる。 自動エラーチェックにより、修正回数の削減、審査の省力化、正確性の担保が図られる。 制度変更等に伴うExcel等による様式作成・修正、人力による手作業等が不要になる。 <p>⇒事務負担を軽減することにより、教育・保育の質の向上、市民サービスの向上につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> シミュレーション機能で年間の支給額の予測が立てられることにより、施設における事業計画等の立案等ができるようになる。 <p>⇒施設の安定的な運営、市民ニーズを踏まえた市内の教育・保育環境の維持を実現する。</p>		<p>申請・承認・請求事務をクラウド上で完結する仕組み</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 市内対象施設※のシステム利用率 ※市内の私立の特定教育・保育施設</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> システム導入による施設の事務負担の軽減率（作業時間数の軽減率） 教育・保育の質の向上に対する満足度向上 		

事業概要 【学校給食事業】

自治体名	神奈川県小田原市	人口	186,292人	事業費	9,776千円
事業概要	<p>スマートフォンやタブレット端末を活用し、給食の献立と栄養バランスの確認や簡易なアレルギーチェック、健康食生活を支援する料理のレシピ検索等により保護者の利便性を図るとともに、子供たちの栄養バランスを見守りながら健やかな成長のサポートができるシステムを導入することで、現在栄養士が行っている栄養管理や食材発注、在庫管理等が可能なシステムと連動させることにより一括で入力できることから、効率化・合理化を図ることを目的とする。</p>				
具体サービス	<p>【学校給食献立を確認できる機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食の栄養バランスを見やすいグラフで表示 簡易なアレルギーチェックが可能 <p>【健康な食生活を支援する機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族全員の栄養バランスを補う献立を提案 夕食の主菜に合わせてバランスを整える副菜を提案 買い物メモの作成 身体の状態に合わせた献立提案 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①給食献立情報配信支援サービスを登録した人数。 ②給食献立情報配信支援サービスにより献立等を確認した回数。</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①給食献立情報配信支援サービス利用者満足度の割合。</p>		

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	神奈川県大和市	人口	243,412人	事業費	25,851千円
事業概要	<p>公立保育園 4 園に、ICTを活用した保育業務支援システムを導入し、保護者の利便性を向上させるとともに保育園での事務負担を軽減し、保育士が園児と向き合う時間を増やして、子育て支援の質及び安全性の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【想定する主な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理 ・出欠席連絡管理 ・保護者との連携機能（連絡帳、欠席連絡、お知らせなど） ・書類作成（指導計画、要録、保育日誌、個人記録など） <p>【対象保育施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑野保育園 ・若葉保育園 ・草柳保育園 ・福田保育園 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービスの利用者数 ②サービスを通じて保護者へ配信した情報回数 ③欠席連絡におけるアプリ利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービスの満足度 ②保育所に関する満足度 		

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	神奈川県座間市	人口	131,913人	事業費	22,062千円										
事業概要	<p>公立保育園における保護者の利便性向上、保育士の業務軽減を目指し、保育ICTシステムを導入する。</p> <p>保育業務を支援するアプリケーションシステムを導入することで、登降園、欠席連絡、連絡帳、行事予定やお便りの配信等の様々なコミュニケーションが電子化され、情報共有がスムーズになり、伝達漏れや紛失などの問題も解消することができる。普段就労しており忙しい園児保護者の育児の負担軽減に繋げることができる。</p>														
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登降園管理（QRコードによる打刻） 欠席連絡 連絡帳機能 行事予定や園だより等の配信 アンケート機能 健康診断やアレルギー情報等、所属園児に関する情報をデータベース化し、タブレット端末により保育現場で迅速かつ的確に情報共有することにより、適切な保育サービスの供給及び事故等の未然防止に活用する。 		<p>【システムトップ画面】</p>  <table border="1" data-bbox="1118 778 1947 1135"> <tr> <td> 園児情報管理 園児台帳 園児リスト 名前シール作成 緊急連絡先 </td> <td> 登降園管理 登降園記録 出席簿 園の出欠集計 長時間保育名簿 </td> <td> 健康管理 午睡チェック 保健記録 (検温・食事・ 排泄など) 身体測定 健康診断 </td> <td> 園児健康情報一覧 アレルギー 体質 かかりつけ医 既往症 予防接種記録 </td> <td> 個別経過記録 経過記録 発達チェック </td> </tr> <tr> <td> 指導計画・日誌・要録 全体的な計画 年間指導計画 月間指導計画 (クラス/個人) </td> <td> 週間指導計画 (クラス/個人) 行事計画 保育日誌 要録 </td> <td> 保護者連絡 欠席連絡 連絡帳 (家庭での様子・ 園での様子) 登降園時間確認 予約 </td> <td> お知らせ(園) お知らせ(市) アンケート 身体測定結果 健康診断結果 </td> <td> その他 職員間掲示板 シフト作成 ヒヤリハット 事故報告 </td> </tr> </table>			園児情報管理 園児台帳 園児リスト 名前シール作成 緊急連絡先	登降園管理 登降園記録 出席簿 園の出欠集計 長時間保育名簿	健康管理 午睡チェック 保健記録 (検温・食事・ 排泄など) 身体測定 健康診断	園児健康情報一覧 アレルギー 体質 かかりつけ医 既往症 予防接種記録	個別経過記録 経過記録 発達チェック	指導計画・日誌・要録 全体的な計画 年間指導計画 月間指導計画 (クラス/個人)	週間指導計画 (クラス/個人) 行事計画 保育日誌 要録	保護者連絡 欠席連絡 連絡帳 (家庭での様子・ 園での様子) 登降園時間確認 予約	お知らせ(園) お知らせ(市) アンケート 身体測定結果 健康診断結果	その他 職員間掲示板 シフト作成 ヒヤリハット 事故報告
園児情報管理 園児台帳 園児リスト 名前シール作成 緊急連絡先	登降園管理 登降園記録 出席簿 園の出欠集計 長時間保育名簿	健康管理 午睡チェック 保健記録 (検温・食事・ 排泄など) 身体測定 健康診断	園児健康情報一覧 アレルギー 体質 かかりつけ医 既往症 予防接種記録	個別経過記録 経過記録 発達チェック											
指導計画・日誌・要録 全体的な計画 年間指導計画 月間指導計画 (クラス/個人)	週間指導計画 (クラス/個人) 行事計画 保育日誌 要録	保護者連絡 欠席連絡 連絡帳 (家庭での様子・ 園での様子) 登降園時間確認 予約	お知らせ(園) お知らせ(市) アンケート 身体測定結果 健康診断結果	その他 職員間掲示板 シフト作成 ヒヤリハット 事故報告											
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のうちシステムを利用している人の割合 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①負担感が軽減したと思う保護者の割合 ②負担感が軽減したと思う保育士の割合 ③ 												

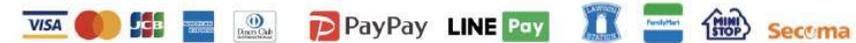
事業概要 【保育ICT化推進事業】

自治体名	神奈川県箱根町	人口	10,941人	事業費	3,674千円
事業概要	<p>保育業務支援システムを導入し、園児の欠席、遅刻連絡やイベント出欠席等、電話や紙媒体で行っていたものをデジタル化し、保護者との円滑なコミュニケーションを図る。また、保育士等の大きな負担となっている帳票の作成や記録、報告業務等をICT化することで業務効率化を図り、子どもと向き合う時間とゆとりを確保し、保育の質の向上をめざす。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【園児の登降園管理】 ・これまでは手書きだった登降園管理をQRコード打刻により瞬時に登録ができ、複数の職員で出欠席状況を確認・共有することが可能となるため、子どもの安全管理の向上を図る。</p> <p>【保護者アプリ】 ・連絡帳アプリの活用により、お便り等の電子配信や子どもの様子の情報共有が瞬時に可能になる等、保護者の利便性・安心感の向上を図る。</p> <p>【保育に関する計画・記録】 ・これまでは手書きだった保育事務をシステム化することにより、事務時間の減少と職員間の情報共有化に伴う教育保育の質の向上を図る。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①保育所等から保護者への情報発信数 ②保護者の園児出欠席連絡機能利用の割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①保護者の保育園等に対する満足度</p>		

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	神奈川県湯河原町	人口	23,500人	事業費	10,658千円
事業概要	<p>町内保育園において、保護者との連絡手段が電話や連絡帳、登降園時のみであり、時間や手段が限られ保護者にとっての負担や制限が大きくなっている。そこで、保育園におけるICT化を推進することにより、保護者との円滑なコミュニケーションや職員の業務効率化を図ることで、保護者の利便性を向上させるだけでなく、職員の保育の質の向上させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育ICTシステム】 ※モデル仕様書を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者関係 <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ一斉配信 ・デイリーボード ・保護者連絡 ・写真販売 ○業務支援関係 <ul style="list-style-type: none"> ・発育・健康記録 ・園児台帳 ・登降園管理 ・帳票管理（指導計画、監査資料等） ・園内連絡（引継ぎ連絡等） ・給食管理 ・動画配信 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①園児の家庭におけるアプリ登録率 ②オンラインでの遅刻欠席連絡率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリ利用満足度 ②職員の保育支援システム利用満足度 		

事業概要 【公立保育園・公立幼稚園キャッシュレス決済サービス導入事業】

自治体名	新潟県長岡市	人口	258,512人	事業費	4,866千円
事業概要	<p>オンライン決済サービスを導入し、園の集金方法をキャッシュレス・ペーパーレス化することで以下を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納付環境の整備による保護者の利便性向上及び期限内収納率の向上を図る。 ・納付に係る保護者の手間（現金の準備等）を解消する。 ・職員の現金取扱いに係るリスクの解消及び業務改善による事務や保育時間等の創出を図る。 				
<p>具体サービス</p>	<p>【諸経費キャッシュレス化サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園で扱う諸経費を、スマートフォンから以下のチャネルで納付できるようにする。 ①クレジットカード ②電子マネー ③コンビニエンスストア 		<div data-bbox="1114 534 1970 644"> <p>enpayを使った集金の流れ</p> <p>請求、集金、支払管理の3つのステップ。簡単・確実に完了させることができます。</p> </div> <div data-bbox="1114 654 1970 886">  </div> <div data-bbox="1114 1005 1970 1048">  </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者数 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①キャッシュレス決済サービスの満足度 ② ③ 		

事業概要【公立保育園ICT化推進事業】

自治体名	新潟県柏崎市	人口	77,591人	事業費	17,309千円
事業概要	<p>公立保育園 13園に「保育園ICTシステム」を導入し、保護者に対しアプリの提供をすることで、日々の園利用における利便性の向上を図る。</p> <p>また、保育業務の効率化により、保育士の業務負担を軽減し保育に専念できる環境を整備し、子どもと向き合う時間を増やし、全体として保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保護者アプリサービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠席・遅刻連絡 連絡帳の確認 保育園だより・行事予定確認 <p>【保育園ICTシステム内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登降園管理 指導案作成 園だよりの配信 延長保育料計算 職員シフト管理 	<p>初期費用 0円～ 月額 5,500円(税込)～</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリのダウンロード割合 ②アプリによる情報発信回数 ③欠席連絡等におけるアプリ利用割合 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育システム利用満足度 ②保育の質の向上（保育サービスへの満足度） ③ 			

事業概要 【保育園業務のデジタル化推進事業】

自治体名	新潟県村上市	人口	54,885人	事業費	7,048千円
事業概要	<p>保育業務支援システムを導入することで、保護者と保育園とのやり取りが紙や電話からシステムやアプリでの管理となり、互いに迅速かつ的確に情報共有が行えることで利便性の向上が図られる。また、保育士の事務作業の効率化により作業時間の削減が図られ、園児の保育に当たる時間が増えることで保育の質の向上や時間外勤務の削減による労働環境の改善、離職率の低下が期待される。</p> <p>令和5年度に保育対策総合支援事業費補助金によりタブレット購入とWi-Fi設置工事を実施。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システム（コドモン）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とのコミュニケーション （欠席等連絡・連絡帳・お知らせ一斉配信） ・登降園管理 ・指導案・日誌作成 ・園児台帳 ・発育・健康記録 ・保育ドキュメンテーション ほか 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリを利用している人の割合 ②保育園の事務作業時間削減 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の利便性向上 ②保育の振り返り時間増加にともなう保育の質の向上 ③ 		

事業概要【子育てDX事業】

自治体名	新潟県南魚沼市	人口	53,324人	事業費	33,518千円
事業概要	<p>保育園利用における手続きをデジタル化することで、子育て支援策の住民満足度向上を図る。</p> <p>また、妊娠から出産・子育てを支援する母子手帳アプリのオンライン予約機能を活用して、事業の予約をアプリから行えるようにする。</p> <p>さらに予防接種・乳幼児健診の手続きをデジタル化することで、アプリの利便性を向上させ、自治体職員が事前に提出内容を確認できることでより手厚いサポートを実施する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>■ 保育支援業務システム</p> <p><利用者（保護者）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園および出欠状況の登録/履歴閲覧 <p><施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる保育所/幼稚園との連絡 <p><自治体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の利用状況の把握 </div> <div style="flex: 1;"> <p>■ 母子手帳アプリ・オンライン予約・デジタル予診票</p> <p><利用者（保護者）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長記録、乳幼児健診結果の登録/閲覧 ・妊婦健診、予防接種、乳幼児健診のスケジューラー ・イベントや教室、育児相談等のオンライン予約手続き ・デジタル予診票を用いた予防接種手続きの簡素化 ・デジタル問診票を用いた乳幼児健診手続きの簡素化 <p><自治体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせやイベント情報、子育てに役立つ情報の登録 ・全ての子育て世帯や条件設定によるアンケートの実施 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育支援業務システム保護者利用率 ②オンライン予約率 ③保護者のデジタル予診票の利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育支援業務システムにおける保護者の利用満足度 ②オンライン予約の利用満足度 ③デジタル予診票の利用満足度 		

事業概要 【公立保育園ICT化事業】

自治体名	富山県魚津市	人口	39,304人	事業費	11,200千円
事業概要	<p>欠席・遅刻連絡や保護者向けアンケートなど、これまで電話や紙で行っていたものを、ICTアプリの導入により電子化し、保護者の負担軽減・満足度向上につなげ、働きながらも安心して子どもを預けられる環境を整備する。また、帳票の作成や記録、定期報告といった業務をアプリを活用することで効率化し、保育士の業務負担軽減を図り、子どもと向き合う時間と心のゆとりを確保することで保育の質の向上につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>公立保育園（3か所）においてICTアプリを導入。保護者用アプリを各自スマートフォンにダウンロードしてもらうことで、欠席連絡やお知らせの確認、アンケートの回答などが、アプリ上で可能になる。</p> <p>保育士は上記アプリを活用することでこれまで電話や紙で行っていた業務を一括して電子化することが可能。また、指導履歴等がアプリ上に蓄積されるので、それをもとに要録等、報告書の作成が可能になる。</p> <p>保護者の利便性向上や職員の業務負担軽減を図り、保育の充実を目指す。</p>		<p>The diagram illustrates the interaction between three main entities: the Nursery (保育園), the ICT App (ICTアプリ), and the Parents (保護者). The Nursery sends out notifications (お知らせ通知) and receives absence/contact information (欠席連絡, アンケート受理). The ICT App acts as a central hub, receiving notifications (お知らせ通知) and sending them to parents (お知らせ閲覧). It also handles absence/contact information (欠席連絡, アンケート回答) and stores data (保育情報蓄積). The Nursery also performs record creation (要録作成) and data input (保育情報入力).</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリの登録率 ②アプリを利用した連絡件数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの利用満足度 ②保育にかかる時間の増加 ③ 		

事業概要 【保育所ICT環境整備事業】

自治体名	富山県入善町	人口	22,689人	事業費	23,171千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要
 保育所との連絡やりとりが紙や電話などによるアナログな手法が依然残っており、園児保護者の負担となっていることから、町内公立保育所における保育業務のICT化に取り組む。保育業務のICT化にあたっては、業務効率化の効果が見込める保育所業務支援システムを導入し、そのシステム活用の基盤となる①保育所内のWi-Fi環境整備と②保育士へのタブレット端末整備も合わせて行う。保育所と保護者とのやりとりをアプリを通して行えるようになることで保護者の負担軽減を図る。

【保育所業務支援システムの機能】

- ①登降園管理
 - ・登降園時刻の記録
 - ・遅刻/欠席連絡
- ②保護者連絡
 - ・お便り/行事案内等の配信
 - ・連絡帳
 - ・緊急連絡
- ③保育記録
 - ・発育記録
 - ・健康状態の記録（健康・食事・睡眠チェック）
- ④保育業務
 - ・園児台帳
 - ・指導案等各種帳票の作成

子ども施設向けICT支援ツール

①登降園管理（保育料計算）
 QRコードを使って、登降園時間を自動で記録
 出席簿の自動集計や保育料を自動計算
 →保護者・職員双方の連絡稼働の軽減

②日誌・指導案など帳票作成
 必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成
 →手書きによる手間や請求に伴う事務処理の軽減

③保護者とのコミュニケーション
 パソコンやスマートフォンから施設へ連絡
 →帳票作成を効率化し業務負担を軽減

↓
保育士や先生の働き方改革
子どもと接する時間の確保、保育の質向上

保護者	保育所（保育士）			
時の欠属連絡が大変	緊急連絡を素早く受け取りたい (祖父母送迎時)	行事予定やお便りを確認したい	子どもが登降園したか確認したい (祖父母送迎時)	登降園時刻の集計が大変
欠席連絡機能	緊急連絡機能	カレンダー機能	登降園機能	登降園時刻の管理・集計機能
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席連絡や緊急連絡の即時受信、連絡稼働の軽減 ・いつでもどこでも、スマホアプリから情報を確認できる ・子どもの登降園時刻をアプリで通知 			<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と保護者の連絡稼働の軽減 ・手書きや集計作業による事務処理稼働の軽減 ・帳票作成を効率化し業務負担を軽減

主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】	【アウトカム指標（成果指標）】
	①保護者アプリダウンロード割合	①保育所業務支援システムの満足度（保護者）
	②保育所等からの情報発信件数	②
	③保護者アプリからの各種連絡件数	③

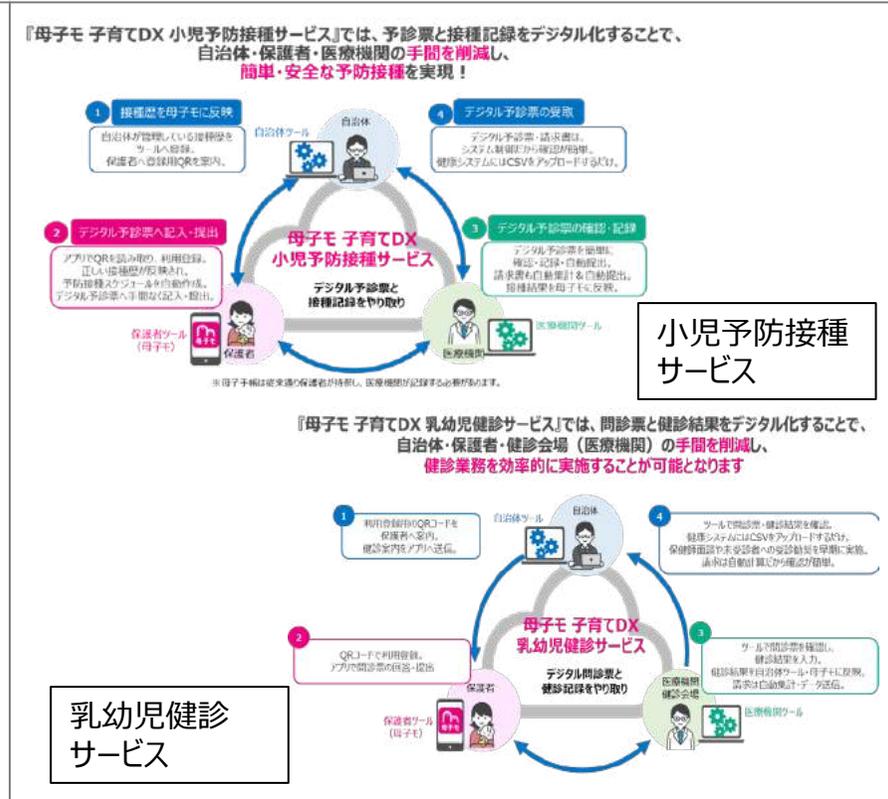
事業概要 【小児予防接種・乳幼児健診 デジタル化事業】

自治体名	石川県七尾市	人口	48,352人	事業費	19,216千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要
 妊娠から出産、子育てまでを支援する母子健康手帳アプリを活用し、小児予防接種の予診票や接種履歴、乳幼児健診の受診票、受診記録をデジタル化することで、保護者の予診票や受診票記入の手間、健診会場での健診業務の手間を削減するとともに、予防接種の接種時期等をシステムで自動制御することにより、煩雑な手続きを改善し、子育てしやすい環境を整備することで少子化対策の充実を図り、持続可能なまちづくりを進める。

具体サービス
 小児予防接種の予診票や接種履歴、乳幼児健診の受診票、受診記録をデジタル化し、保護者、医療機関、自治体でデータを共有することで、保護者の管理や予診票、受診票記入の手間を省き、医療機関、自治体の事務手続きの削減を行う。また小児予防接種においては、接種ルールが複雑であることから、接種間違いが全国的に発生している。本サービスではシステムが接種時期等の判定を行うため、ヒューマンエラーの抑制を期待できる。
【小児予防接種・乳幼児健診】
 (1) アプリでスケジュール自動作成 & プッシュ通知で受け忘れ防止
 (2) 同時接種の際は重複する内容を一括入力
 (3) 市民の基本情報はデジタル予診票や受診票へ自動入力
 (4) スマホからログインするだけで利用可能 など

主なKPI
【アウトプット指標（活動指標）】
 ①母子健康手帳アプリ登録率
 ②小児予防接種、乳幼児健診デジタル化事業の導入医療機関数



【アウトカム指標（成果指標）】
 ①子育て支援策の利用者満足度
 ②小児予防接種、乳幼児健診デジタル化事業の医療機関満足度

事業概要【公立保育所 ICT化による保護者の利便性・満足度向上及び保育士負担軽減事業】

自治体名	山梨県南アルプス市	人口	71,615人	事業費	37,534千円
事業概要	<p>全ての保育所で、欠席連絡等は電話（一回線）対応しており、朝の忙しい時間帯に、保護者及び保育士の負担が増大している。また、連絡やお知らせ、通知は紙媒体であり、迅速で正確な情報共有ができない。保育所業務のICT化により、保護者と保育士間で正確な情報を瞬時に共有し連絡調整機能を改善することで、保護者の利便性向上と安心安全な保育環境を提供する。また、保育士は業務の省力化により「子どもと向き合う時間の増加」を図りつつ、保育活動の様子、連絡や通知をデジタル配信し、保護者の保育への安心感、満足度を高める。</p>				
具体サービス	<p>保育所では、Wi-Fi環境整備、当該業務システムを導入し、全クラスにタブレット端末を整備し、児童情報管理、欠席連絡、登降所記録を一元管理することで全ての保育士が瞬時に共有できる。また、保護者連絡をシステム上で行い児童の安心安全を確保する。</p> <p>【保護者とのコミュニケーション・連絡調整】 欠席、遅刻連絡・登降所記録管理 児童記録、児童情報の共有</p> <p>【保護者への保育ドキュメンテーション提供】 園行事、生活の様子（写真速報等）のデジタル配信・通知、お知らせ、アンケートのデジタル配信</p> <p>【保護者への情報提供及び緊急連絡】 感染症、不審者情報の一斉配信 災害時の一斉配信</p> <div style="text-align: center;"> <p>【市内公立保育所連絡調整システム】</p> <p>保護者と保育所間の連絡手段を、デジタル推進により情報共有を迅速化し、相互の負担軽減を図る。</p> </div>				
主な KPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①登降園管理アプリの利用割合 ②保育ドキュメンテーションの利用割合</p> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①システムアプリ機能による保護者の満足度調査</p>				

事業概要 【子育て支援アプリ導入事業】

自治体名	山梨県北杜市	人口	45,559人	事業費	440千円												
事業概要	<p>妊娠中の記録・乳幼児健診等の子どもの成長記録や、予防接種のスケジュール管理が簡単にでき、妊娠・子育て等に関する情報が適時に得られる、妊娠期から子どもを持つ世帯をサポートするための子育て支援アプリを導入し、サービスを提供する。また、本市では子育てするなら北杜をキャッチフレーズに子どもが賑わうまち、誰もが幸せを実感できるまちの実現に向け政策を展開している。本政策の実現のためのひとつのツールとして活用を図ることを目的とする。</p>																
<p>具体サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 母子健康手帳サポート機能（記録・管理） <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の母子健康手帳省令様式に準拠した全項目を記録・管理ができる。 妊娠中の健診記録・子ども成長記録は、身長・体重を自動でグラフ化して管理が可能。小さく生まれた場合でも修正月齢に対応しており、個々の成長に合わせた専門家からのワンポイントアドバイスを受けることができる。 予防接種のスケジュール管理、接種予定日前のプッシュ通知により、打ち忘れを防ぐことができる。 ■ 地域子育て情報配信機能 <ul style="list-style-type: none"> 妊娠週数、子ども年齢、居住地、予防接種の実績有無、父親、ひとり親、外国人住民等、保護者の多様なニーズに応え、情報を出し分けて配信することで、多様な支援の情報を必要な人にわかりやすく適時に伝達できる。 イベントの案内は子どもと一緒に参加するためのきめ細かい事前案内ができる。 		 <p>妊娠・出産・子育てを住民は無料で利用できるスマートフォン向けアプリで支援</p> <p>妊娠から子育ての切れ目ない支援、簡便で安心安全な子育て支援、支援の量の拡充・支援の質の向上 住民サービスの向上→子育て負担の軽減、不安・孤独の解消、家族・地域コミュニティの活性化、定住促進</p> <p>妊娠・子育ての支援=不安の解消 母子健康手帳を補充 妊娠中の健康記録・子どもの成長記録 成長を自動でグラフ化・データの自動バックアップ 成長に合わせた専門家からのアドバイス 動画等で学ぶ妊娠・子育てコンテンツ</p> <p>家族・地域で支援=孤立化の解消 地域で子育て・多様なニーズ対応 記録の家族共有、父親・祖父母の子育て参加促進 妊娠週数・子どもの年齢にあわせた地域情報配信 地域イベント・子育て包括支援センターの取組案内 予約受付・住民の声を吸い上げるアンケート 多言語に対応し、外国人住民のサポート</p> <p>忙しい子育てをスマートフォンで便利に 予防接種スケジュールの自動提案 妊婦健診・乳幼児健診のスケジュール・お知らせ プッシュ通知で受診促進・受け忘れ防止 かかりつけ医・子育て支援施設の検索</p> <p>妊娠前 妊娠中 出産 産後 子育て</p> <table border="1"> <tr> <td>妊娠に関する普及啓発</td> <td>産前・産後サポート事業(子育て経験者等の「相談しやすい」話相手」等による相談支援)</td> <td>子育て支援施設 ・保育所 ・地域子育て支援拠点 ・里親 ・乳児院 ・その他子育て支援策</td> </tr> <tr> <td>不妊相談</td> <td>妊婦健診 乳児家庭 全戸訪問</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>産後ケア事業(心身のケアや育児サポート等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>両親学級</td> <td>定期健診 予防接種 養子縁組</td> </tr> </table>			妊娠に関する普及啓発	産前・産後サポート事業(子育て経験者等の「相談しやすい」話相手」等による相談支援)	子育て支援施設 ・保育所 ・地域子育て支援拠点 ・里親 ・乳児院 ・その他子育て支援策	不妊相談	妊婦健診 乳児家庭 全戸訪問			産後ケア事業(心身のケアや育児サポート等)			両親学級	定期健診 予防接種 養子縁組
妊娠に関する普及啓発	産前・産後サポート事業(子育て経験者等の「相談しやすい」話相手」等による相談支援)	子育て支援施設 ・保育所 ・地域子育て支援拠点 ・里親 ・乳児院 ・その他子育て支援策															
不妊相談	妊婦健診 乳児家庭 全戸訪問																
	産後ケア事業(心身のケアや育児サポート等)																
	両親学級	定期健診 予防接種 養子縁組															
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子育て支援アプリ登録数（%） ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 利用者（保護者）の満足している割合（%） ② ③ 														

事業概要 【町立保育所ICT化による保育環境・子育て環境向上事業】

自治体名	山梨県西桂町	人口	4,001人	事業費	2,421千円
事業概要	<p>町立保育所では保護者と保育士の連絡交換を電話や連絡帳で行っており、保護者にとって情報の発信・受信する場面が限定的である。保育士の業務についても、日誌等や連絡帳などの手書き業務等、事務作業も多く、超過勤務の増加に繋がっている。そこで、町立保育所にICTを活用した保育業務支援アプリを導入することにより、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図る。</p>				
具体サービス	<p>【登降園記録の自動化】 ・ICカードによる画面タッチで、時間をデータ管理。 【保護者連絡のスマート化】 ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） ・園児に関する連絡事項について、保育士と保護者がアプリを介してその都度行うことができる。（現在は電話もしくは登園時、降園時の口頭伝達） ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信（現在は通知もしくは電話での連絡） 【帳票の連動による保育士業務の効率化】 園児票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。（現在は紙・口頭での共有）</p>  <p>先生の毎日をサポートする 多様なサービス</p>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリのダウンロード累計数 ② 保育所から保護者への情報発信数 ③ 欠席連絡におけるアプリ利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① システム利用満足度 		

事業概要 【保育所ICTシステム導入事業】

自治体名	長野県須坂市	人口	49,621人	事業費	43,775千円
事業概要	<p>保育所における業務のICT化を推進し、保育士等の業務のうち紙媒体中心だった事務からの負担軽減に取り組むことで保育の質の向上を目指す。保護者はアプリ機能を使うことで確実な連絡手段の確保や都合の良い時間に連絡できるため、朝の電話混雑という課題から負担が軽減される。また、保育所での様子等の多様な情報発信や保育所及び自治体からの緊急連絡が即時確認できることで保護者の安心と園児の安全につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所向け業務支援システム】 主な機能 【園児の登降園管理】 紙運用をデータ運用へ切替え 登降園時間管理が可能となる 【アプリによる欠席・遅刻連絡】 電話連絡を不要とすることで保護者の負担を軽減し、正確な情報の把握が可能となる 【保育日誌などの帳票作成】 出席簿、指導案等各種帳票作成 【園内の情報共有】 園児台帳のデータ化、園児の出欠情報の共有 【お知らせ一斉配信】 保護者一斉・クラスごとの連絡、園だよりの配信等</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①保護者アプリのダウンロード累計数 ②システムによる各保育所からの情報発信数 ③保護者アプリからの出欠連絡割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①システム導入に対する保護者の満足度</p>		

事業概要 【保育所等AI入所選考システム導入事業】

自治体名	長野県佐久市	人口	97,774人	事業費	5,737千円
事業概要	<p>保育所等入所選考事務は、複雑な調整が必要であり、入所申込書類を受付してから結果通知まで4か月程度時間を要する状況となっていることから、AI入所選考システムを導入することで業務の効率化を図り、入所決定通知の早期化による市民サービスの向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所等AI入所選考システム】 保護者からの申請書をもとに、希望する保育所や家庭状況などをシステムに入力し、市の定める配点基準や優先順位、きょうだいの同一施設への入所希望等、複雑な条件を組み合わせAIが入所選考を行う。 AI入所選考システムの導入により、選考にかかる時間を大幅に短縮できるため、申込者への入所決定通知を早めることができ、保護者の仕事復帰や育児休暇の延長等の計画が立てやすくなる等、市民サービスの向上につながる。</p>	<p>現状</p> <p>選考に膨大な時間を要する AIが最適解を瞬時に判断</p> 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①AI入所選考システム利用率 ②入所選考に係る事務処理削減時間</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①入所決定通知発送までにかかる日数 ②市民アンケート「子育て支援・児童福祉」についての満足度</p>			

事業概要【保育園ICTシステム導入事業】

自治体名	長野県長和町	人口	5,608人	事業費	4,205千円
事業概要	<p>核家族化や共働き世帯の増加により、保育園に求められる保育ニーズの多様化や更なる安全性が求められている。保育園ICTシステムを導入することにより、保護者の利便性の向上を図ると共に、デジタル化による情報伝達の効率化及び確実性に資する。また、保育業務の負担を軽減し園児と向き合う時間を増やすことにより更なる保育の質の向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>【保育園ICTシステム（コドモン）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者アプリ 欠席・遅刻連絡 登降園管理 連絡帳 園だより等の配信 緊急連絡 アンケート 延長保育料計算 指導案等作成 写真販売 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリのダウンロード率 ②アプリを利用した遅刻・欠席連絡の割合 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの利用満足度 ② ③ 		

事業概要 【保育所デジタル環境整備事業】

自治体名	長野県泰阜村	人口	1,479人	事業費	3,924千円
事業概要	<p>当村では、未満児の保育希望増加に伴う保育士の業務負担増及び、人口減少に伴う保育士の担い手不足により保育資格のない地域住民等に保育補助を依頼することが増加している。そうした中でも保護者が安心して子どもを預けられる保育環境を整え、また保育士及び保護者の負担を軽減することで、子育てしやすい村づくりをし出生率の増加を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育見守りサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ベビモニ」システムとIMOUネットワークカメラを利用 <ul style="list-style-type: none"> ・午睡の様子をAIシステムで見守り、これまで手書きだった未満児の午睡票を自動作成 ・全児童のうつぶせ寝や起床を自動検知し事故防止の精度を向上 ・IMOUネットワークカメラによる映像記録で怪我や事故の検証や不適切保育の防止を図る <p>【保育所アプリサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コドモン」アプリを利用 <ul style="list-style-type: none"> ・手書きの連絡帳を廃止しスマホで連絡可能に ・手書きの通知を廃し即時性の高い連絡手段に ・子どもの写真や動画をアプリで配信し個人情報の流出を防止 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コドモン利用保護者率 ②ベビモニによる午睡表作成率 ③IMOUネットワークカメラによる行事の配信回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コピー枚数の削減 ②保育所に対する保護者満足度 ③ヒヤリハットの発生件数 			

事業概要 【保育所業務支援システム導入事業】

自治体名	岐阜県中津川市	人口	74,528人	事業費	39,861千円
事業概要	<p>市内の公立保育園、幼稚園及びこども園（11園）に保育所業務支援システムを導入し、保護者の利便性の向上を図るとともに保育現場の業務負担の軽減及び業務効率化を実現させ、安定的で質の高い保育を提供し、安心して子育てできる環境を確保することで少子化の克服を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所業務支援システム】 保育ICTシステムにより保護者及び園職員が、システム内にて下記の主なサービス・業務等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園児情報管理 ・ 欠席・遅刻連絡 ・ お知らせ配信 ・ 保護者アンケート ・ 緊急連絡 ・ 園児の登降園管理 ・ 帳票管理（日々の日誌、月案、年案、指導案等の作成管理） ・ 保育ドキュメンテーションの作成 		<p>The diagram illustrates the system's workflow. At the top, icons for '幼稚園' (Kindergarten) and '保育園' (Nursery) are shown. A central figure depicts a staff member with two children. Surrounding this are five service points: 1. '欠席・遅刻連絡' (Absence/Late Contact) with a computer monitor icon. 2. '登降園管理' (Attendance Management) with an alarm clock icon. 3. '園児情報管理 保護者アンケート 帳票管理等' (Child Information Management, Parent Survey, etc.) with a tablet icon. 4. '連絡帳' (Communication Book) with a green book icon. 5. 'お知らせ配信 緊急連絡' (Notice Distribution, Emergency Contact) with an envelope icon. A green circular arrow connects these points in a clockwise direction.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①保護者用アプリの利用率</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①保護者のシステム利用満足度 ②保護者の保育に対する満足度</p>		

事業概要【保育所等AI入所調整システム導入事業】

自治体名	岐阜県美濃加茂市	人口	57,448人	事業費	5,942千円
事業概要	<p>保育所等への入所申込受付から入所可否決定通知に至る事務のうち、利用調整事務を自動化することで、内定通知を早期に発送し、入園までの時間を確保する。これにより、保護者の入園準備や不承諾の際の職場との調整等を余裕をもって行えるようにすることで、市民の保育サービス向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所等利用調整AIシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請情報や施設情報を元にAIによってより多くの児童がより希望の高い施設に入所できる最適な利用調整結果を高速で導き出す。 	<pre> graph LR Citizen[市民] -- 入所申込 --> Municipality[自治体] subgraph Municipality Data[(申込データ)] -- データ登録 --> AI[AI利用調整システム] AI -- 調整結果登録 --> Core[基幹系システム] end Vendor[システム提供ベンダ] --> AI Core -- 選考結果通知 --> Citizen </pre>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①年間の利用調整のうち、AIにより調整した回数。</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①申請から結果通知までに要する日数の短縮。 ②結果通知が早まったことに対する保護者の満足度。</p>			

事業概要 【子育て家族のための保育所 I C T 化事業】

自治体名	岐阜県瑞穂市	人口	56,281人	事業費	49,988千円
事業概要	<p>・本市は子育て世代の転入が多く、保育需要が高い自治体であることから、保育サービスの充実を図ることが市民の活気ある生活につながる。</p> <p>・保護者も保育士も子育て家族の一員と捉え、システムの導入によって、保護者の利便性を向上させるとともに、保育士の業務負担軽減や保育に専念できる時間の確保を図る。また、子育て家族から選ばれるまちを目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【導入システムの概要】 《（株）コドモンの「コドモン」の導入を予定》 登降園を含む保育の様子を保護者らに伝えることで、利便性を向上させるとともに、安心して預けられる保育所を整備する。保護者だけでなく、祖父母への情報提供を行うことが、子育ての孤立化を防ぎ、家族で支えあう子育てのサポートにつながる。</p> <p>また、保育業務の中で、手書き作業から効率的なPC作業へ移行することで、保育士の負担を軽減させ、心身の余裕を生み出し、子どもと向き合う時間を増やし、働きがいの向上につながる環境を創出する。</p> <p>【主な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理 ・お知らせプッシュ通知 ・出欠席連絡 ・保育ドキュメンテーション配信 ・保育日誌、記録の作成 ・保育要録の作成 		<p style="text-align: center;">保育所ICT化 イメージ図</p> <p>The diagram illustrates the 'Childcare ICT System' (保育業務支援システム) as a central hub. It shows the following components and interactions:</p> <ul style="list-style-type: none"> Childcare Center (保育所): Represented by a woman with a smartphone. Functions include '業務負担軽減' (Reduction of workload) and 'ニーズを把握' (Understanding needs). City Office (市役所): Represented by a man at a computer. Functions include '安全・安心 利便性向上' (Improvement of safety, peace of mind, and convenience) and 'アンケート回答' (Survey responses). Guardians (保護者): Represented by a group of people. Functions include '安全・安心 利便性向上' (Improvement of safety, peace of mind, and convenience) and 'アンケート調査' (Survey). <p>Key system features include: 配信情報共有 (Information sharing), 職員向け通知配信 (Staff notification), お使い配信 (Usage distribution), 保育ドキュメンテーション配信 (Childcare documentation distribution), 出欠席連絡 (Attendance communication), 登降園打刻 (Clock-in/out), and 一斉連絡配信 (Mass communication).</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 ①保護者等のシステム登録者割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】 ①システム利用満足度</p>		

事業概要 【給付業務デジタル化事業】

自治体名	静岡県静岡市	人口	676,477人	事業費	19,732千円
事業概要	<p>「子ども・子育て支援制度」の事務処理のうち、以下の課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園が行う給付費の請求ではエクセルへの手入力により請求に時間を要し、園児に対し十分な保育ができない。 ・保護者が行う請求は、手書きのため手間がかかるほか、本市の目視等のアナログな内容確認に時間を要し、支給までに時間がかかる。 <p>これらをデジタル化することで、園児への保育の質の向上のほか、支給を迅速化し、市民サービスの向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>【給付費等管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設型/地域型給付費の自動計算 ・請求書/請求内訳の出力 ・公定価格の単価、制度改定のアップデート <p>【AI-OCR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像データのテキスト化 	 <p>The illustration depicts the digitalization of childcare payment services. At the top, a childcare center (保育所) is shown with staff and children. A man is on a phone, and another is at a computer. A brain icon represents AI processing. A server tower and a cloud represent cloud services. At the bottom, a group of happy children is shown, indicating the improved quality of care.</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①給付費等管理システムの利用園数 ②AI-OCRにより読込を行った箇所数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム導入により増加した私立保育施設の保育・教育時間 ②給付費等管理システムの利用満足度の平均値 ③請求書を受理してから支払完了までに要した時間 			

事業概要 【公立保育園・幼稚園DX事業】

自治体名	静岡県裾野市	人口	49,284人	事業費	4,728千円
事業概要	<p>当市では教育・保育施設業務支援システム「コドモン」を活用し、園児の登降園管理等を行っている。本事業では、コドモンに新たな機能を追加し保護者サービスの向上を図る。具体的には、預かり保育・延長保育の自動集計機能（請求管理）の導入やこれら費用の口座振替化（収納代行）、園日誌・連絡帳等のデジタル化を行う。これにより、保護者の手続き負担の軽減や情報伝達の迅速化による保護者との円滑なコミュニケーションの促進が実現する。また、保育士の業務において負担となっている書類作成等の業務負担の軽減を図り、保育士は園児の保育に専念することができるため、質の高い保育の提供を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>教育・保育施設業務支援システムサービス「コドモン」</p> <p>(1) 利用料等の自動集計機能（請求管理）</p> <p>【内容】利用料の集計や請求が自動化される</p> <p>【効果】逐次請求により、不明瞭になりがちな保育関連の費目を明確に伝え、保護者の費用管理負担の軽減を図る</p> <p>(2) 口座振替化（収納代行）</p> <p>【内容】利用料等を、施設に代わって金融機関が集金する</p> <p>【効果】キャッシュレス化を求める保護者の期待に応え、現金の準備や振り込みの手間をなくす</p> <p>(3) 園日誌・連絡帳のデジタル化</p> <p>【内容】園児の出欠状況や保護者連絡が園日誌等に自動反映される。保護者への連絡をいつでも行えるようになる</p> <p>【効果】情報伝達の迅速化により、保護者との円滑なコミュニケーションが促進される。作成の負担が軽減され、連絡帳等の内容の充実化が図られる。</p> <p>タブレットの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時に、保護者のQRコードをタブレットカメラで読み取る必要があるため、タブレットを導入する。その際、携帯性が重視される ・携帯性を活かし、園児の様子を見ながら記録することができる <div data-bbox="1100 405 1987 1229" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>課題</p> <p>職員不足による事務作業時間の不足 (現状) ・手書きでの書類作成 ・現金での集金事務</p> <p>方法</p> <p>園日誌・連絡帳のデジタル化 キャッシュレス化</p> <p>効果</p> <p>円滑なコミュニケーションの促進 支払負担の軽減</p> <p>目指す地域像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の可視化 ・安心・信頼して子どもを預けられる園の運営 ・保育の質（保育サービス）の向上 </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①延長・預かり保育利用者における口座登録者数の割合 ②保育士に向けた研修・システム改善提案等の実施数 ③デジタル連絡帳・園だよりの利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①園事務のデジタル化に対する保護者の満足度 ②利用料の集計・請求の事務に要する時間 ③DX化により事務・業務改善できたと感じる満足度 		

事業概要 【デジタル活用による保育環境・子育て環境向上事業】

自治体名	静岡県南伊豆町	人口	7,523人	事業費	2,901千円
事業概要	<p>本町では町立の認定こども園を1施設設置している。同園においては現在保護者とのやり取りを電話や紙で行っており、保護者が園からの情報や園でのこどもの様子を入手できる場面が限定的なものとなっている。また、欠席の連絡等保護者からの園への連絡においても、開園時間内の電話連絡に限られるため、保護者及び職員の大きな負担となっている。更に保育士の業務についても、指導案や日誌等の書類作成、連絡帳などの手書き業務が多く、事務負担や超過勤務の増加に繋がっている。そこで、同園にICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードによる画面タッチで、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡の利便性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） ・園児に関する連絡事項（体調管理等）について保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は連絡帳、登降園時の口頭伝達） ・園が撮影した写真をシステムにアップすることで、保護者が欲しい写真を購入できる。（現在は担当が印刷・選別して配布） ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信（現在は紙） <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <p>児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①こども園から保護者への情報発信数 ②アプリのダウンロード数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリの満足度 ②保育サービスに対する満足度 ③ 		

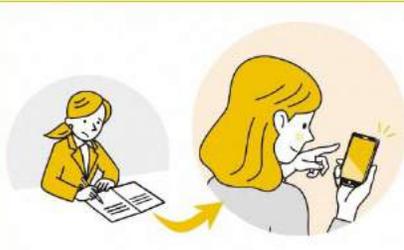
事業概要 【市立保育園・こども園ICT化推進事業】

自治体名	愛知県岡崎市	人口	383,885人	事業費	21,600千円
事業概要	<p>現在、保護者からの保育時間の変更等の連絡は電話が中心であり、繋がりにくいなど、保護者の時間と利便性を損なっている。ICT化をすることで欠席連絡や園からのお便り等も保護者のスマホで連絡・確認ができ、同時に複数の保護者が情報の共有が可能となり、保護者の利便性が向上するとともに、保育士の業務負担も軽減する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>SaaS型業務支援システム【コドモン】を導入予定 保護者及び職員が当該システムを利用することで以下のことが可能に。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻連絡がいつでもアプリで完結 ・欠席、遅刻、その理由に加え、お迎え時刻、誰がお迎えに来るのかを保育室のタブレットで確認 ・困りごとなどの相談を他人に知られることなく、アプリ上でやりとり ・お便りの一斉配信による家庭内での瞬時の情報共有及び印刷、仕分け作業の省略 ・QRコードを園のタブレットにかざすことで、スムーズに園児の登降園状況を管理 ・保育士同士の月案、週案及び指導計画のスムーズな共有 		<p>The diagram illustrates the integration of various communication functions. At the top left is '緊急連絡' (Emergency Contact) with a document icon. At the top right is '園児情報管理' (Child Information Management) with a child's face icon. At the bottom left is '欠席・遅刻連絡' (Absence/Late Contact) with a phone icon. At the bottom right is 'お知らせ一斉配信' (Notice Mass Distribution) with a document icon. In the center, a tablet and a smartphone display the 'Codomon' app interface. Blue curved arrows connect the four outer icons in a clockwise cycle, indicating the flow of information and data between these functions.</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①在園児に対するアプリのダウンロード割合 ②お便りの電子化割合 ③欠席連絡等におけるアプリ利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる利用満足度 		

事業概要 【子育て支援アプリ導入事業】

自治体名	愛知県一宮市	人口	378,620人	事業費	6,704千円
事業概要	<p>子育て支援アプリを活用し、子育て支援情報のプッシュ通知による発信力向上、母子健康手帳の電子化による日々の記録を電子的に管理し、データの保存性を向上する。また、予防接種のスケジュールを保護者にお知らせすることで、確実な予防接種に繋げる。アプリを導入することで、子育て環境や子育て支援サービスをより向上させ、子育て世代の人口増加、出生率の上昇を目指す。なお、データ連携基盤と接続することで、OneIDでのログインが可能となる。</p>				
具体サービス	<p>【子育て支援アプリ機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「母子健康手帳アプリ」モデル仕様書に定められた推奨機能 母子健康手帳の省令様式で各種健診や日々の記録を残せるほか、予防接種のスケジュールを搭載し、接種サポートを実施 当市の子育て支援情報を妊娠週数・子どもの月齢に応じて任意配信・自動配信で提供できる機能を搭載する アプリで教室、イベントの参加予約などの申し込みも可能 データ連携基盤（都市OS）と連携してデータの相互連携、OneIDでログインが可能に 		 <p>母子健康手帳機能</p> <p>「妊娠中」と「子育て」でメニューを切り替えることで、その時に必要な機能に絞って表示します。また、各機能メニューをファーストビュー（スクロールせずに見える範囲）でわかりやすく配置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠中の体重グラフ 妊娠中の体重を記録し自動グラフ化。理想の体重とも比較可能。 妊婦健診 妊婦健診の結果を母子健康手帳の省令様式に沿って記録。 歯科検診 妊婦歯科健診の結果を母子健康手帳の省令様式に沿って記録。 胎児発育曲線 胎児の体重を記録でき、自動でグラフ化。 できたよ記念日 胎児・子どもの成長に合わせて全部で150以上の記念日を記録。 予防接種管理 接種ルールや実績・希望に合わせて実用的なスケジュールを提案。 乳幼児健診 乳幼児健診の結果を母子健康手帳の省令様式に沿って記録。 身体発育曲線 子どもの身長体重を記録し、自動グラフ化。修正月齢にも対応。 		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①子育て支援アプリのダウンロード累計数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①子育て支援アプリの満足度</p>		

事業概要 【公立保育所ICT化推進事業】

自治体名	愛知県豊川市	人口	184,200人	事業費	73,600千円
事業概要	<p>朝の登園ピーク時に欠席連絡等の電話が集中し不通となることによる利便性の低下や、また、低年齢児の急な体調の変化などのリスクがあることにより、保育の質の向上が重要な課題となっているため、保育所業務支援システムを導入することで、保育の安全性を高め、利用者の利便性向上、及び保育士の業務負担を軽減するとともに、より子どもに向き合えるようになることで保育の質の向上を図ることができる。</p>				
<p>【保育所業務支援システム】</p> <p>・登降園管理 登降園時に保護者が出入口に設置されたタブレットを操作することでシステムに記録され、在園児数を瞬時に把握することができる。</p> <p>・アプリ連絡 欠席等の連絡をシステムを通じて受けることができる。</p> <p>・お知らせ配信 各クラスに設置するタブレットを用いてお便り配信や、連絡帳のやりとりをするなど保護者との情報共有に活用する。</p> <p>・アンケート作成 システムを通じて保護者アンケートを行い、集計を自動で行う。</p>		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>登降園管理</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>アプリ連絡</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>お知らせ配信</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>アンケート作成</p>  </div> </div>			
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育所業務支援システムアプリの利用割合 ②保育園から送信するお便り等の配信数 ③欠席連絡におけるアプリ利用割合 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育の見える化を実感した保護者の割合 ②担任とコミュニケーションが増えたと感じた保護者の割合 			

事業概要 【母子手帳アプリ機能拡充事業】

自治体名	愛知県刈谷市	人口	152,994人	事業費	2,111千円
事業概要	<p>母子健康手帳の記録の電子化と予防接種のスケジュール管理による打ち忘れの防止等を目的として導入した母子手帳アプリ『はぴかり』は、登録者数が伸びず、アプリの持つプッシュ通知機能等が生かされず、必要な子育て支援情報が市民に確実に伝わっていない状況であった。また、母子健康手帳交付時の面談は、伴走型支援のために重要であるが、書類の記載が多くあり、妊婦の負担になっている。妊娠届出アンケートのオンライン申請機能を追加することにより、行政手続きのデジタル化による市民の利便性の向上と登録者の拡大を図る。アンケートの事前回答による市民の負担軽減と、適切な時期に適切なターゲットに向けて適切な情報発信が可能となることで、子育て支援サービスの利用促進を図る。</p>				
具体的サービス	<p>【母子手帳アプリ『はぴかり』のサービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳様式に応じた各種記録 ・子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信 <p>【バージョンアップによる効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出アンケートをアプリ上での提出を可能とする。 <p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間いつでも簡単に申請でき、アンケートの手書きの手間が不要になる。 ・事前回答により、母子健康手帳交付当日の面談時間の短縮に繋がる。 <p><刈谷市></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容を事前に取得できるため、回答内容をもとに事前準備・業務調整ができる。 	<p>①妊娠届出アンケートを『はぴかり（母子モ）』から提出</p> <p>②申請内容を来所前に把握 支援が必要な場合は、地区担当保健師が対応出来るよう調整</p>  <p>妊娠届・面談時アンケート + 経済的支援用アンケート</p> <p>③来所し、面談実施</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①『はぴかり』登録者数 ②『はぴかり』からの妊娠届出アンケート申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①『はぴかり』利用者の利用満足度 ②妊娠届出アンケートをオンライン申請した人の利用満足度 			

事業概要 【公立保育施設へのICT導入による保護者満足度向上事業】

自治体名	愛知県江南市	人口	98,724人	事業費	24,017千円
事業概要	<p>共働き世帯の増加等により、保護者は多忙を極めており、子どもにかかる時間も減少している現状において、ICTを活用したシステムを導入することで、欠席連絡機能や、お便り配信機能の利用により、保護者の利便性向上を図ることができる。</p> <p>また、保育現場においても、安易に保護者とのコミュニケーションを密に取ることも可能となり、保護者への子育て支援の充実や、保護者満足度の向上に繋がっていく。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>《保育業務支援システム》</p> <p>【連絡及び配信機能】 保護者は電話することなく、アプリから欠席等の連絡をすることができる。園からの緊急連絡やお便り配信、行事予定もアプリ上で確認することができ、園との正確な情報を共有することができる。</p> <p>【アンケート機能】 イベント終了時や期末終了時に、保護者の声を聴くことで、常にブラッシュアップに繋がっていくことができる。</p> <p>【登降園管理機能】 園児の登降園時に、システムへの打刻処理を行うことで、各職員がリアルタイムで正確な登園状況を把握することができる。</p>		<p>【保育業務支援システム】</p> <p>登降園管理 欠席・遅刻連絡</p> <p>お便り配信 緊急連絡</p> <p>行事予定表 アンケート</p> <p>連絡帳 シフト管理</p> <p>園児情報管理 職員情報管理 etc</p> <p>子どもとの時間確保 保護者の満足度向上</p> <p>ICT導入</p> <p>疲弊した保護者や保育士</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システムへ登録した保護者率</p> <p>②保護者アプリからシステムへの発信件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①システム導入後の保護者満足度調査</p>		

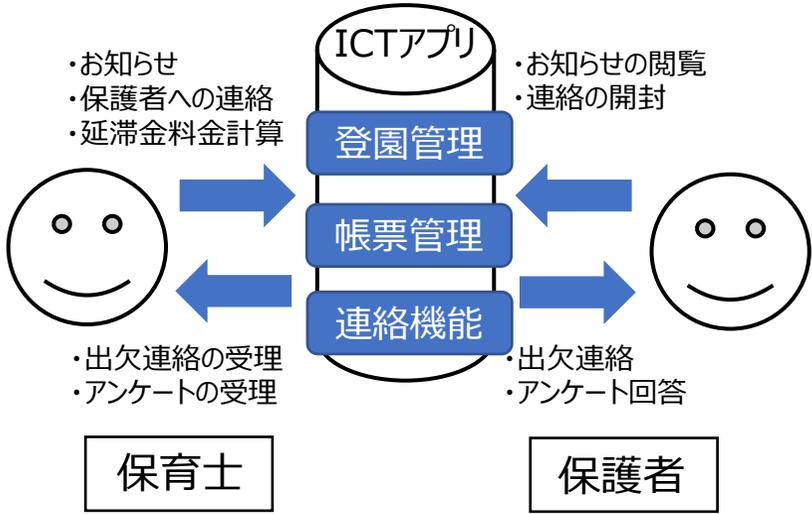
事業概要 【こども園ICTシステム導入事業】

自治体名	愛知県新城市	人口	43,211人	事業費	5,309千円
事業概要	<p>市内の公立こども園（15園）にICTシステムを導入し、保護者との連絡や園児の登降園情報の管理などをシステム上で行うことにより、保護者にとって電話での欠席・遅刻連絡などにかかる負担や登園・降園時の不安感を解消し利便性を向上させるとともに、安全・安心な保育環境の整備を図る。また、保育士の業務負担軽減により、更なる保育の質の向上を目指すことができる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援ICTシステム】 （「ゴドモン」を想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児情報をデータベース化し、保育士同士の情報共有を迅速化する【②】 QRコードや画面タッチによって登降園時間を打刻することで、適切に登降園状況を管理【①、②、③、④】 保護者がアプリ上で園児の欠席・遅刻等をいつでも連絡できる【④】 システムを通して保護者へのお知らせや連絡を配信（おたより・連絡帳・個別の連絡など）【②、③、④】 園日誌等の各種帳票作成【②】 アンケートの作成、配布、集計【②、④】 <p>※【○】は、右図の番号に対応</p>		<p>【システム導入時のイメージ図】</p> <p>①玄関 ②職員室 ③教室 ④自宅等</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①アプリ利用割合（保護者） ②お知らせ（おたより）のシステムによる配信割合 ③欠席連絡におけるアプリ利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用満足度（保護者） 		

事業概要 【一時的保育Web予約システム等導入事業】

自治体名	愛知県大府市	人口	93,078人	事業費	5,853千円
事業概要	<p>公立保育園の一時的保育事業の利用にあたり、利用者から利用予約におけるデジタル化を求める声がある。他市町村における先進事例を参考に、公立保育園の一時的保育事業における利用前面談の予約及び利用予約へのシステム導入及び利用料支払いのキャッシュレス決済を導入することにより、利用者の利便性の向上を図るもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【一時的保育Web予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用前面談の予約、必要書類のダウンロード 利用予約 キャンセル、予約時間変更 <p>【キャッシュレス決済】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス決済による利用料の支払い 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>利用前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>一時的保育利用</p>  </div> </div> <p>システムで利用前面談・必要書類のダウンロード システムで利用予約 キャンセル・予約時間変更もシステムで可能</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>↓</p> <p>利用当日にキャッシュレス支払</p>  </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 一時的保育Web予約システム申込割合 キャッシュレス決済利用割合 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 利用者アンケートによる予約システム満足度調査 利用者アンケートによるキャッシュレス決済満足度調査 			

事業概要 【公立保育園ICT化推進事業】

自治体名	愛知県豊明市	人口	68,112人	事業費	35,265千円
事業概要	<p>公立保育所7園へICTを活用した業務支援システムの導入をし、登降園管理等の適切な管理、保護者連絡のデジタル化を進め、こども一人ひとりに合った保育の実現や、安全管理、保育の質向上に取り組む。</p> <p>本事業実施により、保護者については園とのやり取り等の負担軽減と満足度の向上、また保育士については事務作業の業務負荷軽減、保育サービス拡充につなげることが出来る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>保育所内に無線LAN環境とタブレットを整備し、登降園時に保護者がQRコードをタッチすることにより、情報の一元管理を行う。</p> <p>また、お知らせ機能やアンケートの電子化、延長料金計算のデータ化など、保育業務の効率化にも期待ができる。</p> <p>■主なサービス</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 登降園時に保護者がQRコードをタッチすることにより、園児の登降園記録の一元管理 ② 連絡帳及び発達記録 ③ お知らせや保護者向けアンケート機能の電子化 ④ アレルギーなどの基本情報記録 ⑤ 保育士同志の情報共有の簡易化 ⑥ その他延長料金計算のデータ化などの事務軽減機能 		<p>■保育所業務のデジタル化</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリのダウンロード率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリの利用満足度 		

事業概要 【総合保育システム導入事業】

自治体名	愛知県北名古屋市	人口	86,117人	事業費	40,822千円
事業概要	<p>公立保育園10園へICTを活用した総合保育システムを導入し、園児の登降園・出欠管理や保育月案・日案といったドキュメンテーションをデジタル化し保育士の業務負担を軽減することで、園児と向き合う時間を増やす。また、出欠連絡や個別の連絡をアプリケーションを通じて行うことにより、保護者の負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>◇サービス概要</p> <p>【保護者向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者がQRコードで登降園を記録 スマホアプリから欠席連絡 アンケートの電子化 おたよりのデジタル配信 行事連絡 など <p>【保育園向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> 月週案・週計画の作成 乳児連絡ノート作成 園児情報の共有 登降園時間の集計 など 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合保育システム（アプリ）の利用割合 ②アプリを利用した欠席連絡の割合 ③アプリを活用した情報発信数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の満足度 ②保護者への印刷物削減率 			

事業概要 【保育所給食管理システム導入事業】

自治体名	愛知県弥富市	人口	43,697人	事業費	388千円
事業概要	<p>保育所給食の提供において、献立（アレルギー対応献立を含む）の管理や園児の栄養管理を行う給食管理システムを導入することで、栄養士・保育士・保護者間の食物アレルギーチェック体制のデジタル化を行うことで保護者の負担を軽減を図るとともに、保護者に対して園児の成長記録を活かしたきめ細やかな栄養指導を可能とする。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所給食管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所給食の献立表をデジタル作成することで、献立表やアレルギー園児に対するチェック表をデジタル配信する。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者による食物アレルギーのチェック表作成数 ②栄養ケアが必要な園児の栄養指導・栄養相談回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者による食物アレルギーのチェックに係る所要時間 ②保育所給食管理システムの満足度 			

事業概要 【保育所 A I マッチング入所選考導入事業】

自治体名	愛知県みよし市	人口	61,466人	事業費	4,400千円
事業概要	<p>保育所の入園選考事務については、保護者からの多様な希望や兄弟姉妹の同一園への入所希望等複雑な諸条件を踏まえた上で、市の定める優先順位を加味しつつ公平に選考する必要があることから、相当の時間と手間を要している。それらの課題を解決するため、AI入園選考システムを導入し、入園申込から入園選考結果通知書の作成まで一括でデジタル処理を行う仕組みを構築する。</p> <p>本事業の導入により、これまで膨大な時間を要していた保育所の入所選考事務における受付や選考等の手間が削減され保育士等の負担が軽減されることで保育サービスが充実できるとともに、保護者に対しても決定通知の早期化により入園準備がスムーズに行える等住民サービスの向上を実現することが可能となる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【A I 入所選考サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のマイナポータル「ぴたりサービス」内「保育施設等」の入園申込における市民からの申込データをAI入園選考システムに連携させることで、入園申込から入園選考結果通知の作成まで一括でデジタル処理を行う仕組みを構築する。 A I を活用し様々な条件を踏まえながら選考を行うことで公平かつ最適な結果を素早く出力することが可能となり、市民への選考結果の通知時期を早めることができる。 </div> <div style="flex: 2;"> <pre> graph TD subgraph Miyoshi_City [みよし市] AI_System[A I 入園選考システム ④ A I マッチング] Core_System[基幹系システム] AI_System <--> Core_System end subgraph Citizens [市民] Citizens end Citizens -- ② 入所申込 --> AI_System AI_System -- ③ 申込データ登録 --> AI_System AI_System -- ⑤ 結果取込 --> Core_System Core_System -- ③ 対象者データ --> AI_System AI_System -- ⑥ 選考結果通知 --> Citizens AI_Provider[A I 提供ベンダ] -- ① A I 導入 --> AI_System </pre> </div> </div>				
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① AI入所選考システムによる事務処理削減時間の割合／年</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 保護者への入所選考結果通知発送期間</p> <p>② アンケート調査による満足度</p>		

事業概要 【保育園ICT化推進事業】

自治体名	愛知県あま市	人口	88,780人	事業費	38,328千円
事業概要	<p>市内の市立保育園（全9園）に保育業務支援システムを導入する。現在、保護者は、保育園との連絡手段が限られており負担がかかっている。保育士は、日々の保育業務に加え、連絡事項の作成・配布などの事務は多大な負担となっており、園内でのトラブルを誘発しやすい現状である。その現状を改善・解決するために保育園のICT化を推進する。ICT化することにより保護者との意思疎通を迅速かつ的確に行うことができ、保育士・保護者の負担軽減・保育士の業務改善も図ることができることで、市全体の保育サービスの質の向上に寄与することができる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>保護者と保育園との連絡や、保育士の業務管理などをスマートフォンのアプリ等で行うシステムを導入する。</p> <p>登降園管理や園児の発達記録、保育園からの情報発信を容易に行うことが可能となり、保護者・保育士の双方の負担軽減が見込まれる。</p> <p>■ 主な機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 登降園の記録 ② 連絡帳及び発達記録 ③ お便りなどの配布物をデジタル配信 ④ 保護者向けアンケート機能 ⑤ アレルギーなどの基本情報記録 ⑥ その他事務軽減機能 		<p>The diagram illustrates the '保育 ICT システム (ASP サービス)' (Kindergarten ICT System (ASP Service)). It shows the interaction between '保護者・園児' (Parents/Guardians/Children) and 'あま市立保育園(保育士)' (Amami City Kindergarten (Staff)).</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・園児 (Parents/Guardians/Children): <ul style="list-style-type: none"> 欠席連絡 (Absence reporting) 報告、相談など (Reporting, consultation, etc.) 連絡事項・園での様子 (Communication items, conditions at the kindergarten) お便り など (Messages, etc.) 意向、回答 (Intentions, answers) アレルギーなどの基本情報 (Basic information such as allergies) 園での様子 (Conditions at the kindergarten) 保育 ICT システム (ASP サービス) (Kindergarten ICT System (ASP Service)): <ul style="list-style-type: none"> 保育事務の効率化 (Efficiency of kindergarten administrative work) 円滑な意思疎通 (Smooth communication) 連絡等のデジタル化 (Digitalization of communication, etc.) サービスの質向上 (Improvement of service quality) 正確な情報共有 (Accurate information sharing) 保育の見える化 (Transparency of childcare) あま市立保育園(保育士) (Amami City Kindergarten (Staff)): <ul style="list-style-type: none"> 保育 ICT システムの操作等 (Operation of the kindergarten ICT system, etc.) 保育園でデータの保存をしない (Do not store data at the kindergarten) ① 登降園記録 園児の近況把握 など (Attendance recording, understanding of children's status, etc.) ② 連絡帳 及び 発達記録 など (Communication book and development records, etc.) ③ 園だより等のお便り通信 など (Messages like newsletters, etc.) ④ アンケート (Surveys) ⑤ 保育園の運営改善等の参考 (Reference for kindergarten operation improvement, etc.) ⑥ 体質などの基本情報の把握による事故防止 (Accident prevention by understanding basic information like physique, etc.) ⑦ 保育ドキュメンテーション (Childcare documentation) <p>Additional elements: '通信の安全対策(インターネット回線)' (Communication security measures (Internet line)), '電子通信で意思疎通' (Communication via electronic communication), and 'スマートフォンなど' (Smartphones, etc.).</p>		
<p>主な KPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者アプリのダウンロード数 ② 保護者アプリを介した欠席連絡数 ③ お便り等の配布物デジタル配信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育園業務支援システムの満足度 ② 保育サービスの満足度 ③ 保育士の事務軽減 		

事業概要 【子育て支援アプリ導入事業】

自治体名	愛知県あま市	人口	88,780人	事業費	561千円
事業概要	<p>今までは、健診等の受け忘れや予防接種の接種もれ、保護者の情報不足による子育てに対する不安があった。妊娠期から出産・子育てまでを、「母子健康手帳機能」と「子育て支援機能」を組み合わせた子育て支援アプリを活用することで、乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整、プッシュ型の通知及び子育て情報の掲載により、個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性向上を図る。</p> <p>また、本アプリのアンケート機能を利用することで、市民サービスの向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>妊娠期から出産・子育てまでを支援するため、「母子健康手帳機能」と「子育て支援機能」を組み合わせた子育て支援アプリを導入する。</p> <p>個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性の向上が見込まれる。</p> <p>■ 主な機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電子母子健康手帳 ② 予防接種AIスケジューラー ③ 地域の子育て情報掲載 ④ メール配信・プッシュ通知 ⑤ 離乳食サービス・アレルギーチェック ⑥ オンラインアンケート 		 <p>The infographic illustrates the 'Kikotto' app interface and its various functions. It is divided into two main sections: '行政' (Administration) and '保護者' (Guardians/Parents).</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政 (Administration): <ul style="list-style-type: none"> 電子母子手帳 (Electronic Maternity Health Record): Includes functions for managing pregnancy health records, AI scheduling for preventive vaccinations, infant health check records, and growth records (GMA). 子育て支援 (Child-rearing Support): Includes information posting, vaccination records, and management of kindergartens and daycares. 行政 (Administration): <ul style="list-style-type: none"> 住民サービスの向上 (Improvement of resident services) 業務負担軽減! (Reduction of workload!) 問い合わせの減少! (Reduction of inquiries!) 情報配信! (Information distribution!) 医療事故防止! (Prevention of medical accidents!) 保護者 (Guardians/Parents): <ul style="list-style-type: none"> 自由にカスタマイズ (Free customization) 情報配信 (Information distribution): Includes notifications from the municipality, email/push notifications, event information, and reminder emails. 離乳食サービス (Weaning service): Includes allergy checks, selection of appropriate food materials, and management of allergy information. 保護者 (Guardians/Parents): <ul style="list-style-type: none"> かんたん自己管理! (Easy self-management!) 時間効率UP! (Time efficiency UP!) 役立つ情報が届く! (Useful information arrives!) 制度が変わっても安心! (Peace of mind even if the system changes!) 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子育て支援アプリ（ベース）登録率 ② アンケート利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① この地域で子育てをしていきたい人の割合 ② 子育て支援アプリ満足度調査 		

事業概要【保育ICTシステム事業】

自治体名	愛知県東浦町	人口	50,233人	事業費	34,481千円
事業概要	<p>公立保育園 8 園へ保育園 I C Tシステムを導入する。現状の課題のひとつとして、保護者と園との情報共有の手段が限定的であることがあげられる。ICTを導入することで、場所や時間にとらわれない手段による保護者と園との情報連携の円滑化及びアプリ活用による保護者の利便性の向上を図る。次に、園児の登園や降園情報の共有がアナログ管理であり、即時性、正確性、信頼性、安全性に欠けている。現在は、登降園時間を保護者が記録し、担任が人数を確認し、管理者へ報告し、未登園の児童に電話をかけているが、保護者に電話が繋がらない等の課題がある。登降園をシステム化することにより、迅速かつ正確にシステムに記録され、保護者等はアプリ上から園児の在籍を確認できる。また予定時刻を過ぎても登園しない場合も保護者等と園に自動で通知される。登降園をシステム化することで利用者の安心安全な環境の構築を図り、複数のファイルで管理していた情報を園児情報と結び付け、システムで一元管理することで保育士の業務負担を軽減し、保育に専念できる環境を整備し、園児たちにとって質の良い保育環境を提供する。</p>				
具体サービス	<p>【保護者⇔保育園・保育士間の情報共有】 ～主な機能～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 園児の登降園管理 (アナログからデジタルへ切替、在籍の有無を即時に把握可能に) ■ アプリによる各種連絡 (欠席・遅刻・お迎え時間変更) (電話連絡を不要とすることで保護者を負担軽減になり、正確な情報の把握及び保護者と園の相互連絡が可能となる) ■ 園内の情報共有とデータ化 (園児台帳、園児の出欠等情報、園でのこどもの姿の共有) ■ お知らせ一斉配信 (保護者一斉・クラスごとの連絡、園だよりの配信) ■ 出席簿などの帳票作成 (出席簿作成) ■ 保護者向けアンケート機能 <p style="text-align: right;">など</p>		<p style="text-align: center;">保育ICTシステム</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育ICTアプリダウンロード数 (保護者利用の割合) ② 保育ICTアプリを活用した情報配信数 ③ 保育ICTアプリを活用した欠席連絡の割合 		<p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育ICTシステムの満足度 ② 保育サービスに対する満足度 ③ 保護者への配布資料の削減割合 		

事業概要【保育園ICTシステム導入業務】

自治体名	愛知県幸田町	人口	42,315人 ※12月	事業費	55,353千円
事業概要	<p>公立保育園8園にて保護者との出欠等の連絡、園児の登降園管理及び保護者への配布物のデジタル化等における保育園ICTシステムを導入。園はICT化で保育に専念できる環境を整備することにより、保育士の業務負担を軽減し、保育の質の向上を図る。現状保育園が通話中時に何度も欠席連絡を試みたり、園児受入れの順番待ちなど保護者の生活にも支障が出ている中で保護者と園の情報連携を円滑化し、双方の利便性向上及び保護者と保育園との信頼関係の向上を目指す。本事業で整備した端末については利活用拡大・改善を継続して行う。</p>				
具体サービス	<p>◆保護者の利便性向上と保育士の稼働削減</p> <p><u>アプリによる保護者との連絡</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 通話中待機による保護者の待ち時間を削減 欠席連絡における保育士の電話対応時間を削減 緊急時の連絡を迅速に行う <p><u>園児の登降園状況を管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットで園児の登降園の受付をすることで、欠席連絡がない園児を一目で把握 <p><u>配布物のデジタル化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> アプリにておたよりを配信することで保護者はいつでもどこでも保育園からの連絡の確認が可能 おたよりの配布に関する保育士の業務を削減 等 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育園ICTシステム利用割合（保護者・町民） ② 欠席連絡割合 ③ 配布物のデジタル化によるデジタル配信促進 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 利用満足度（保護者・町民） ② 利用満足度（保育士） ③ 子育て世帯における子供人数純増割合 		

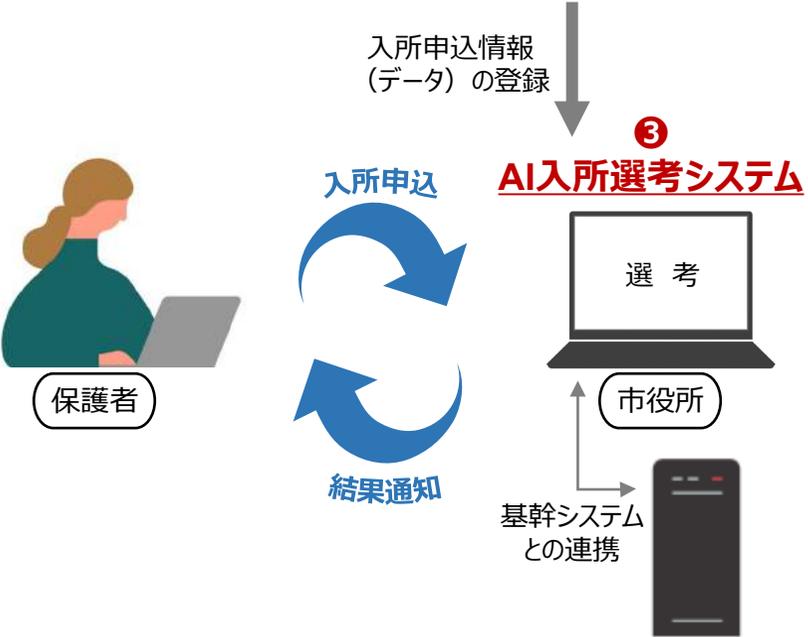
事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した伴走型相談支援サービス】

自治体名	三重県鈴鹿市	人口	195,739人	事業費	4,570千円
事業概要	<p>核家族化や頻繁な転出入等、生活環境の変化が進んだことに伴い、自治体による従来の子育て支援の手法が、子育て家庭にとって大きな負担となっていることから、母子健康手帳アプリを導入し、負担軽減を図る。オンライン予約機能を活用することで、面談や各種教室の予約に当たっての時間的制約を解消し、また、質問票システムを活用することで、面談者の状況を事前把握し、各々に適した、よりきめ細やかな伴走型支援の実現を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子健康手帳アプリ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 プッシュ型の情報配信（教室案内等）</p> <p>【オンライン予約サービス】 妊婦・子育て教室 →市民が好きなときに予約ができる。</p> <p>【質問票システム】 妊婦8か月アンケートを送付しアプリで回答 赤ちゃん訪問アンケートを送付しアプリで回答 →当日の面談時間の削減でき、面談日に個別の状況に合わせて支援を実施できる。</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; width: 100%; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>案内・登録</p>  <p>妊娠届出書の提出時の面談で案内を受けてアプリに登録</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>オンライン予約・アンケート提出</p>  <p>各種アンケートの提出や、利用者の好きなタイミングでアプリから教室等のオンライン予約ができる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; width: 100%; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>面談実施、予約変更等</p>  <p>事前の申請内容をもとに業務調整や準備ができ、双方にとってスムーズな面談が可能。 予約した教室のキャンセルや変更も、利用者の好きなタイミングで変更できる。</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>面談後</p>  <p>アンケート内容をデータで健康管理システムに投入でき、手入力する手間を大きく削減。</p> </div> </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②オンライン予約率 ③質問票システム利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ利用満足度 ②オンライン予約機能の利用満足度 ③質問票機能の利用満足度 			

事業概要 【保育所ICTシステム導入事業】

自治体名	三重県紀宝町	人口	10,313人	事業費	8,185千円
事業概要	<p>保育所における業務のICT化を推進し、保育士の業務軽減に取り組むことで保育の質の向上を目指す。保護者はアプリ機能を使うことで、確実な連絡手段の確保や都合の良い時間に連絡できるため、保護者の負担が軽減される。また、保育所での様子等のおたより受信や保育所及び自治体からの緊急連絡が即時確認できることで、保護者の安心と児童の安全につながる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所業務支援システム】 主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 【児童の登降所管理】 紙運用をデータ運用へ切替え 登降所時間管理が可能となる 【アプリによる欠席連絡】 電話連絡を不要とすることで保護者の負担軽減 正確な情報の把握が可能となる 【お知らせ一斉配信】 保護者一斉・クラスごとの連絡、保育所だよりの配信 【保育日誌などの帳票作成】 出席簿、指導案など各種帳票作成 【保育所内の情報共有】 児童台帳のデータ化、児童の出欠情報の共有 <p style="text-align: right;">等</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ①登降園管理、保育料計算 QRコードを使って、登降園時間を自動で記録し保育料を自動計算 ②日誌・指導案など帳票作成 必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成 ③保護者とのコミュニケーション パソコンやスマートフォンから施設へ連絡 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリ利用者数 ②アプリを通じて発出する連絡数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保育業務支援システムの満足度 ② ③ 			

事業概要 【保育所等入所申込・選考に係るAI・システム導入事業】

自治体名	滋賀県長浜市	人口	114,020人	事業費	6,930千円
事業概要	<p>保育所等への入所申込に関する手続を電子化し、保護者による申込書への記入や来庁・来園に係る負担軽減とサービスの利便性向上を図る。また、入所選考に係る事務において、AI入所選考システムを活用して自動化することで省力化と迅速化を図るとともに、限られた入所枠を公平にきめ細やかに割り振り、保育への要望に最大限寄り添えるようにするため取り組む。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【汎用電子申請システム】（※導入済みシステムを活用） ①汎用電子申請システム「LoGoフォーム」を活用し、入所申込に関する手続を電子化する。</p> <p>【AI-OCR】（※導入済みツールを活用） ②電子による入所申込を困難とする保護者が紙による申込を行った際に対応するため、AI-OCRツール「Tegaki×Seisho」を活用し、記載内容のデータ化を行う。</p> <p>【AI入所選考システム】（※R6導入） ③あらかじめ保育施設情報や選考基準を設定したAI入所選考システムに、電子化された入所申込情報を取り込み、入所選考を自動化する。</p>	<p>申込手続の電子化 … ①LoGoフォーム活用 申込書記載内容のデータ化 … ②AI-OCR活用</p> <p>入所申込情報（データ）の登録 ↓</p> <p>③ AI入所選考システム</p>  <p>保護者</p> <p>入所申込</p> <p>結果通知</p> <p>市役所</p> <p>基幹システムとの連携</p> <p>選考</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】 入所申込の電子申請利用の割合</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】 選考結果通知発出までの期間短縮</p>			

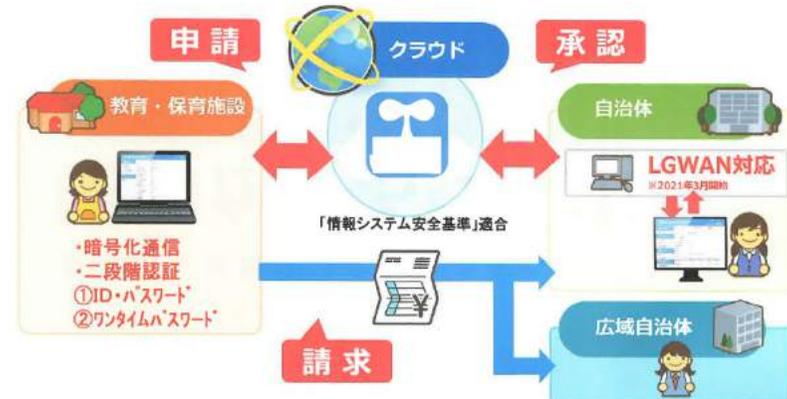
事業概要 【教育・保育施設等給付業務管理システム事業】

自治体名	滋賀県湖南市	人口	54,447人	事業費	6600千円
事業概要	<p>子ども子育て支援法の確認を受けた認可保育施設等に施設型給付費及び補助金事務について、システム化を行い、市及び認可保育施設双方の事務の効率化を行う。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育施設等給付業務管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認可保育施設と市が共通のクラウドサービスを用いて施設型給付費及び補助金事務を行う。これにより従来、Excelや紙での報告が不要となり、申請内容の確認等の事務が効率化され、市及び認可保育施設双方の事務時間の削減が見込める。 	<p>The diagram illustrates the system architecture. It is divided into two main colored areas: a yellow area at the top and a green area at the bottom. In the yellow area, '認可保育施設' (Approved Childcare Facilities) is connected to a blue 'サーバー' (Server) via a green arrow. Above this, 'インターネット' (Internet) is mentioned with activities like '登録、編集、削除 等' (Registration, editing, deletion, etc.). In the green area, '湖南市' (Misaki City) is connected to a yellow 'サーバー' (Server) via a double-headed green arrow. Above this, 'LGWAN' is mentioned with activities like '照会、印刷 認定、CSV出力 等' (Inquiry, printing, certification, CSV output, etc.). A vertical double-headed green arrow between the two servers is labeled 'データ連携' (Data linkage).</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムの利用申請数 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム導入により増加した認可保育施設の保育・教育時間 ② ③ 			

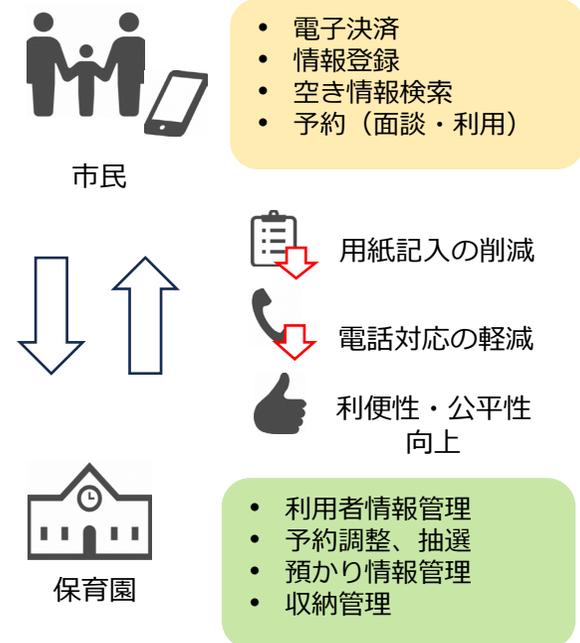
事業概要 【公立園保育ICTシステム導入事業】

自治体名	滋賀県高島市	人口	45,828人	事業費	40,937千円
事業概要	<p>市内の公立園における保護者への情報伝達手段については、主に電話や紙媒体による案内となっており、手書きの連絡帳やお便りの印刷、封入など手作業による煩雑な業務が中心となっています。こうした状況から保護者および職員双方がタイムリーに情報共有をすることが難しく時間を要することにつながっています。また、登降園時の記録管理についても職員が紙に記入している状況であることから、保護者が利用する専用アプリ、園内における無線LAN環境の構築、タブレット端末等を導入し、保護者からの日々の連絡、登降園の管理、保育日誌等の作成、保護者とのリアルタイムな連絡ツールとして活用できるシステムを導入し、保護者の利便性向上と安心感の醸成、職員の事務負担軽減を図り保育に向き合う時間を創出するものです。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【公立園保育ICTシステム 導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園の管理 ・日誌等の作成 ・保護者との連絡ツール など <p>(保護者サービスの向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡事項や欠席等連絡、行事案内等の電子化により保護者サービスの向上に取り組む <p>(保育の安全対策および保育の質の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の登降園の管理事務のデジタル化により置き去り防止等園児の安全対策を実施 ・タブレット端末の活用により、どこでも作業できる環境となりこどもに向き合う時間を創出 ・保育日誌や園だよりなどのデジタル化により、保育士の事務負担の軽減 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムを活用する保護者数 ②システムによる保護者への連絡件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムの利用者満足度調査 ②保育の質の向上 		

事業概要 【給付費等申請事務事業】

自治体名	京都府長岡京市	人口	82,235人	事業費	4,400千円
事業概要	<p>民間保育所は運営に必要な毎月の給付費等を受け取るため、市への申請事務に多大な時間を要しており、クラウド上で自治体と民間保育所がデータを共有し、電子的に申請・承認ができるシステム整備が必要である。給付費等申請システムを導入することで、年間の作業時間を短縮し、民間保育所の事務負担の軽減を図るとともに、保育士の保育に対する時間を確保することで保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】 民間保育所等と市がクラウド上で共通の画面を用いて給付及び補助金申請、報告事務を行う。 これにより従前のExcelや紙の報告様式が不要。複数ある申請事務をひとまとめにして事務が可能。データベース化により過去の情報のアーカイブ化が可能。申請内容の確認、報告等、自治体とのやりとりがスムーズ。 →事務に係る作業時間が削減し、保育の質を向上することが可能</p> <p>加算シミュレーション機能により保育士配置等による給付費の試算が可能 →民間保育所等が今後の運営方針を検討することが可能</p>	<p>システム概要</p> <p>クラウド上で自治体・保育所等施設を結び、同一のデータを確認しながら給付請求書を作成するシステムです。</p> 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①給付費等申請システムを利用する保育施設の数 ②給付費等申請システムを利用する保育施設の差戻率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①給付費等申請システムの満足度</p>			

事業概要【一時的保育事業サービスのオンライン化】

自治体名	京都府京田辺市	人口	71,857人	事業費	4,350千円
事業概要	<p>共働き世帯の増加などにより保育需要が高い状況が続くなか、一時保育の需要も高まっている。保育所・こども園で実施している一時的保育事業サービスについて、保育所等の窓口での利用申請手続きをスマートフォン等で可能とするよう、予約システムを導入して一時保育の利用を促進、行政サービス及び市民サービスの向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【一時保育支援システム】 初回面談時に必須の聞き取り項目の事前入力やその後の利用予約もスマートフォン等で可能とすることで、行政サービス・市民サービスのさらなる向上を図るもの。 また、以前より利用者から利用料の支払いに関し、電子マネー等を導入してほしいとの声もあり、新たにクレジットカードや電子マネー等のキャッシュレス決済を導入し、利便性のさらなる向上を図るもの。</p>		 <ul style="list-style-type: none"> 電子決済 情報登録 空き情報検索 予約（面談・利用） <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙記入の削減 電話対応の軽減 利便性・公平性向上 <p>保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者情報管理 予約調整、抽選 預かり情報管理 収納管理 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①予約システム利用者数 ②キャッシュレス決済利用率 ③</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保育利用者満足度 ②待機児童数（年度末時点） ③</p>		

事業概要 【保育ICT推進事業】

自治体名	京都府木津川市	人口	79,816人	事業費	37,563千円
事業概要	<p>増加・多様化が見込まれる保育ニーズに対し、市内公立保育園のICT化が遅れており、保護者の利便性の低さや保育士の業務効率の悪さなどが課題となっています。保育の周辺業務などのICT化によって保育士の業務負担を軽減し、働きやすい職場環境を構築することで、保育士が本来業務である保育に力を注ぐことを可能とし、保育の質の確保・向上、保護者の利便性向上を図ります。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園管理】 QRコード等により登降園時刻を打刻。出席簿の作成や延長料金の計算も自動化。</p> <p>【保護者とのコミュニケーション】 園への欠席等の連絡、園からのお知らせやお便り、こどもの園での様子の共有などがスマホから可能に。</p> <p>【帳票作成】 指導計画や保育の記録もタブレット等で作成し、保育士間で共有できる。</p>	<p>【登降園管理】</p> <p>送迎時に保護者が打刻</p> <p>【保護者とのコミュニケーション】</p> <p>①欠席連絡 保護者アプリ → 管理画面 欠席連絡やお迎え時間の受付</p> <p>②連絡帳 管理画面 ↔ 保護者アプリ 家庭の様子や園の様子などの双方向の情報共有</p> <p>③一斉配信機能 (お知らせ配信等) 管理画面 → 保護者アプリ 園だよりやアンケートなどの配信や資料の共有</p> <p>【帳票作成】</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリ利用率 ②園からのお知らせ件数 ③保護者からの連絡件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者のアプリ利用満足度 			

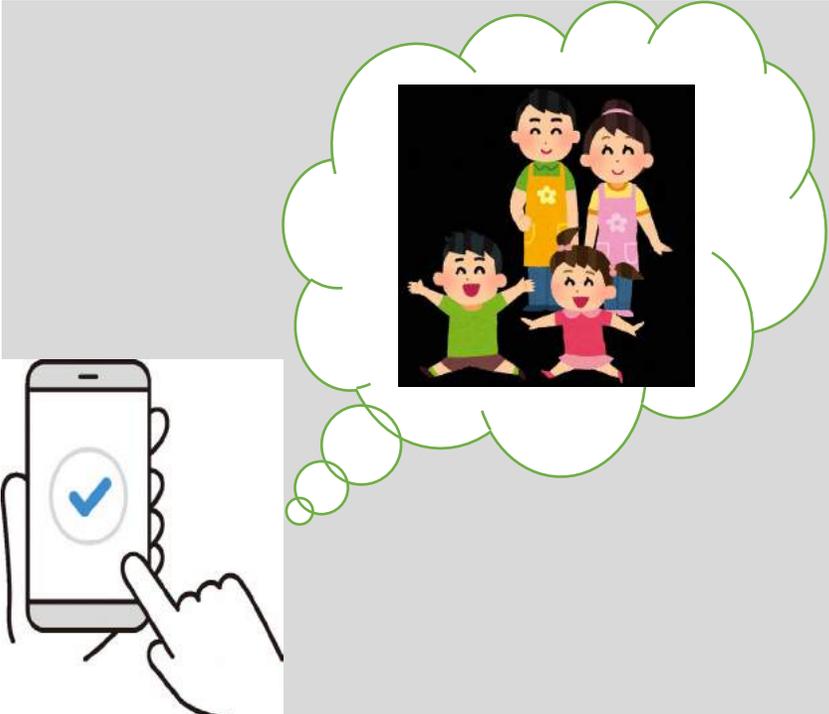
事業概要 【児童相談所システム構築事業】

自治体名	大阪府豊中市	人口	407,007人	事業費	44,407千円
事業概要	<p>令和7年4月開設予定の児童相談所において、児童相談所およびはぐくみセンター（法上のこども家庭センター）が受理したケース記録や相談歴、各種診断、施設入所における費用徴収計算、一時保護所における行動観察記録等の機能が一体となったシステムを整備し、緊急時の判断に必要な全ての情報を一元化することで、業務効率化を図り市民対応等に割ける時間を増やしきめ細やかな支援を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【児童相談所システム構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待通告・相談等の対応時に、蓄積された相談歴やケース記録、その他の情報を確認し、リスクアセスメントに活用して介入や支援を決定する。 児童や世帯の情報を一元的に管理することによって業務効率化を図り、その他必要な面談や関係機関との情報共有等をきめ細やかに行う。 <p>【子ども家庭支援システム連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在稼働中の子ども家庭支援システムと結合し、既に連携している情報（住民基本台帳、所属情報、各福祉施策利用状況等）を即時に確認して児童相談所の緊急時の判断に活用するとともに、その後の支援の方針に活用する。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①世帯員登録件数の増加 ②相談記録入力などの業務の時間削減 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①面談回数の増加 ② ③ 		

事業概要 【給付費等管理システム導入によるデジタル化事業】

自治体名	大阪府豊中市	人口	407,007人	事業費	11,000千円
事業概要	<p>民間の保育所等の事業所が利用可能なクラウド型システムを導入し、行政手続きワンストップ化を実現することで、保育施設や当課の給付業務や補助業務の効率化を行うとともに、将来的にそのシステムの付帯機能に①保育計画・記録の作成②登降園管理③保護者連絡を付し、保育所等と利用者のやりとりの省力化することで、保育士が保育に専念できる環境を実現し、子どもや保護者の保育の満足度の向上をはかるもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【クラウド型給付等システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭等職員配置確認システム ・施設型給付費自動算定システム ・施設等利用費自動算定システム ・処遇改善等申請・実績報告入力システム ・補助金等自動算定システム(市単独補助含む。) <p>【システム付帯型サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設向けカスタマーサービス ・保育施設導入に伴う説明会等の開催 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システムの利用率</p>		<p>【アウトカム（成果指標）】</p> <p>①システム化によるサービスの満足度 ②業務従事時間数の増減 ③他の補助金等の予算執行率の向上</p>		

事業概要 【一時預かり等利用予約システム導入事業】

自治体名	大阪府吹田市	人口	382,712人	事業費	3,542千円
事業概要	<p>一時預かり事業については、子ども・子育て支援事業計画において高いニーズが示されている。その利用の予約については、実施施設各所において電話による受付を行っている。利用者にとっては、決まった時間に予約する制約があり、職員においては、利用希望の電話が多く業務量が増え負担が増加している。このため、予約システムを導入し、円滑な利用申込ができるよう利便性の向上を図りながら、業務量の負担の軽減も併せて図るものである。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【一時預かり等利用予約システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用の登録、予約、変更、キャンセル、施設検索及び空き情報の検索のICT化、休日保育の申込の電子化 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①利用登録者数の増加 （窓口対応、電話による問合せ数の減少）</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①利用者向けアンケート調査による全体満足度</p>		

事業概要【スマート保育事業】

自治体名	大阪府寝屋川市	人口	225,834人	事業費	15,737千円
事業概要	市立保育所・認定こども園（以下「園」という。）におけるデジタル化（登降園管理、保護者連絡、帳票管理）を推進し、職員の業務の効率化を行うことで、子どもと向き合う時間を充実させ、今まで以上に子どもや保護者に寄り添った保育の実現を図る。また、保護者アプリの導入により、アプリからの欠席連絡やお便りの配信もできるようになることで、子育て世帯の利便性の向上や負担軽減を図る。				
具体サービス	<p>【スマート保育事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・登降園管理 QRコードを使って子どもの登園・降園時刻を管理・保護者連絡 お便りの配信等、保護者とのコミュニケーションを管理、欠席連絡等をアプリで実施・帳票管理 日誌や指導案等を作成	<h2>スマート保育事業</h2> <p>登降園管理の自動化 QRコードをタッチして時間を管理</p> <p>保護者連絡をスマート化 保護者アプリでコミュニケーション</p> <p>書類作成を効率化 タブレットから簡単に帳票を作成</p>			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①アプリ利用率	【アウトカム指標（成果指標）】 ①アプリに対する保護者満足度			

事業概要【保育所等業務のデジタル化事業】

自治体名	大阪府大東市	人口	116,428人	事業費	23,057千円
事業概要	<p>本事業（保育所業務支援システムの導入）により、保護者負担の軽減を図るとともに、保育士等が子どもと向き合う時間を確保し、より良質な保育等サービスの提供による保護者満足度の向上を図ることで、「子育てするなら、大都市よりも大東市」をブランドメッセージとする本市への子育て世代を中心とした転入・定住の促進に向けたシティプロモーションを展開させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>導入を想定するシステムの主なサービス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出欠連絡機能 保護者は電話連絡なしで、保護者アプリから保育所等へ欠席・遅刻等の連絡が可能 2 連絡帳機能 保育士等と保護者が子どもの様子・出来事等の相互連絡が可能 3 お知らせ配信等 保育所等から保護者へお知らせ・アンケート・行事予定の一斉配信が可能 4 登降所管理 保護者はQRコード（スマホ対応）をリーダーに読み取らせて、瞬時に登降所時間の打刻が可能 5 写真共有・販売 保育所等で撮影した日常・イベント写真を保護者に簡単に共有・販売が可能 		<p>保育業務支援システム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出欠連絡機能（欠席・遅刻等） 2 連絡帳機能 4 登降所管理 等 <p>保護者</p> <p>保育所等</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 連絡帳機能 3 お知らせ配信等 5 写真共有・販売 等 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムへの登録保護者割合 ② ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者満足度 ②職員（保育士等）満足度 ③ 		

事業概要 【保育業務のICT化による保育の質向上事業】

自治体名	大阪府箕面市	人口	139,211人	事業費	34,051千円
事業概要	<p>令和5年度に行った業務改善（BPR）で整理した内容をもとに、入所申込の100%オンライン化や入所選考の自動化、データ等確認作業の自動化、民間保育施設とのやり取りのクラウド化を図ることで、結果通知の早期発送や待ち時間の短縮といった保護者へのサービス向上とともに、保育士の事務負担軽減による保育の質の向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>（１）入所申込みのオンライン化 これまで紙のみで受付ていた入所申請について、電子申請システムを新たに活用して、保護者の利便性の向上を図る。</p> <p>（２）入所選考の自動化 これまで手作業により行っていた入所選考について、ツールを導入し、迅速化を図っていく。</p> <p>（３）入力・確認作業の自動化 これまで手作業・目視により行っていた申請データの確認や保育料算定・副食費免除判定に係るデータの確認、基幹システムへの入力において、チェックツール及びRPAを導入し、結果通知の早期発送につなげていく。</p> <p>（４）民間保育施設とのやり取りのクラウド化 各民間保育施設は市とのやり取りを電話や郵送等で行っているが、クラウドシステムを導入することで、保育士の事務負担軽減による保育の質の向上とともに、迅速な情報連携が可能となり、施設・保護者間のやり取りの迅速化につながる。</p>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①入所申込みのオンライン申請数 ②入所選考ツールで処理する入所申込み数 ③クラウドシステムを利用する施設数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①オンライン入所申込みの満足度 ②クラウドシステム利用満足度 ③選考結果通知発送までの日数</p>			

（１）については、既存のシステムを本業務において新たに活用することで、本業務の「フルデジタル化」に大きく寄与し、（２）～（４）の導入効果をさらに高めることができる。

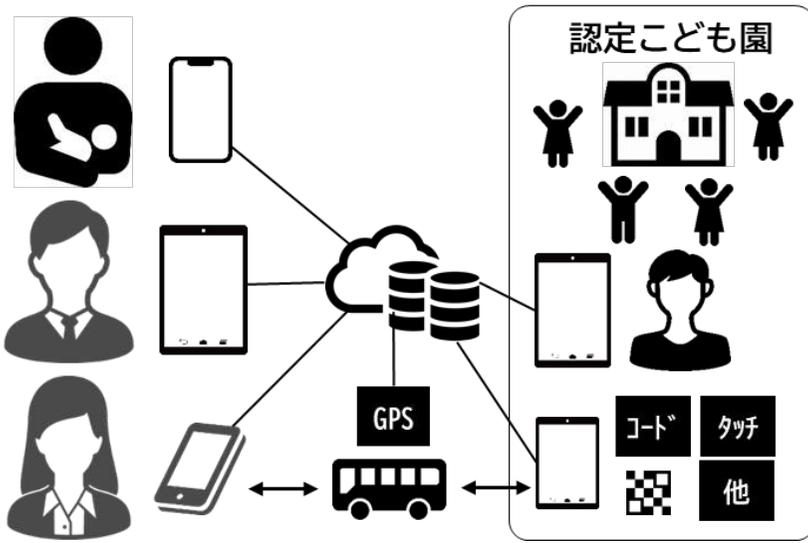
事業概要 【児童ホーム入退室管理等システム導入事業】

自治体名	兵庫県尼崎市	人口	454,825人	事業費	29,593千円
事業概要	<p>市内の子育て世帯の多くは共働き世帯であり、核家族の増加によって保護者の子育て負担が増大している。児童ホーム（放課後児童クラブ）では、児童の出欠や延長利用の確認等を書面や電話で行っており、保護者の時間的負担の軽減が急務となっている。保護者と職員等が相互に連絡等できるシステムを導入することで、保護者の利便性向上と、関係機関との情報共有による事故リスク低減を図り、安心して子育てができる環境を構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>令和6年9月(予定)より、市内の全公立児童ホームで、児童の入退室管理や施設との連絡などを行う「子ども施設向け業務支援システム」を導入する。</p> <p>主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 【児童の入退室管理】 紙運用をデータ運用へ切替え 入退室時刻管理が可能となる 【アプリによる欠席連絡】 電話連絡を不要とすることで保護者の負担を軽減 正確な情報の把握が可能となる 【お知らせ一斉配信】 保護者一斉・クラスごとの連絡、お便りの配信 【施設との情報共有】 児童の出欠情報等の共有 <p>等</p>		<p>The diagram illustrates the system's operation across three environments: 児童ホーム施設 (Children's Home Facility), 教室 (Classroom), and 家庭 (Home). At the facility, a QR code is used for entry/exit management (1). In the classroom, attendance is managed via an app (2). At home, parents use a smartphone to communicate with the facility (3).</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入退室管理 QRコード等を使って、入退室時刻を自動で記録 ②情報管理・集計 出欠連絡や入退室管理をもとに出席表など必要なデータ作成 ③保護者と双方向のやりとり パソコンやスマートフォンで施設・保護者と連絡 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各連絡の保護者閲覧率 ②保護者のアプリの利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子ども施設向け業務支援システムの満足度 ②「子育てをしやすいまち」と感じている市民の割合 		

事業概要 【学校外教育バウチャー・デジタルクーポン事業】

自治体名	兵庫県西脇市	人口	38,218人	事業費	8,700千円
事業概要	<p>低所得世帯を対象とした学校外教育バウチャー制度について、紙によるクーポン券を活用した費用助成を行っており、クーポン券の管理（利用者）、請求事務（サービス提供事業者）、クーポン券発行・管理・支払業務（行政）に多大な労力が生じている。スマートフォン等のICT機器を活用したデジタルクーポンに転換することで、決済等の利便性向上、サービス提供事業者等の事務負担の軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【デジタルクーポンサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス利用者に対するデジタルクーポンの発行 サービス提供事業者のオンライン上での検索 スマホ等のデジタル端末でのデジタルクーポンの残高確認（個人ページ管理） サービス提供事業者によるデジタルクーポンの決済（利用）処理 サービス提供事業者からの請求事務オンライン化 行政によるデジタルクーポン利用状況管理 オンラインでのアンケート調査・回答の実施 <p>※既存システムによるデジタル活用サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校外教育バウチャーの利用申請手続のオンライン化 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタルクーポン利用者数 ②サービス提供事業者数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サービス提供事業者への支払手続期間 ②サービス利用者の満足度 ③サービス提供事業者の満足度 		

事業概要 【（仮称）三田市立認定こども園ありまふじ幼稚園保育ICTサービス導入事業】

自治体名	兵庫県三田市	人口	107,241人	事業費	1,757千円
事業概要	<p>令和7年度に公立幼稚園4カ所が認定こども園に統合する予定である。現在は、保護者と園の職員とのやりとりが電話や手書き書類に頼っており、忙しい保護者の負担となっている。園の事務もデジタル化されておらず、職員の業務改革による保育サービス向上も課題である。また統合にあたり通園域が広まるため通園バスの運行を開始するが、保護者に対して通園バスの運行状況を知らせる手段がない。これらの課題に対応するため保育ICTサービスを横展開により導入する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【（仮称）三田市立認定こども園ありまふじ幼稚園保育ICTサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立や私立問わず多くの保育園や幼稚園、認定こども園等で利用が進んでいる保育ICTサービスを導入することで保育サービスの向上を目指す。 保護者はスマホのアプリから園に対して欠席連絡を行うことや、園からのお知らせを確認することができる。バスの運行位置も確認できる。保育サービスを受けるうえで利便性が向上する。 職員は保育ICTサービス上に園児のデータを登録し、登降園管理や保護者への請求管理などを行うことができる。デジタル化により業務改革が進む。 		 <p>保育ICTサービスの利用で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 保護者の利便性が向上！ ✓ 園の職員の業務改革が進む！ ✓ 子どものために費やす時間が増える！ 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①オンライン経由での出欠連絡割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保護者の保育ICTサービス利用満足度</p>		

事業概要 【教育・保育DX推進事業】

自治体名	兵庫県宍粟市 (SHISO CITY)	人口	34,603人	事業費	7,593千円
事業概要	<p>市立の幼稚園・こども園では、<i>Wi-Fi</i>環境や情報端末が未整備で、園児の登降園管理は紙媒体の出席簿で行っているほか、保護者向けのお知らせは紙面での配布または電話連絡を行うなど、依然としてアナログな対応をしていることが多い。<i>ICT</i>サービスを導入し、登降園管理による安全管理体制の強化、業務の省力化により、手厚い保育や保護者へのサポートなど、利便性の向上かつ、保護者、子どもの両方にとって安心した保育環境の実施をめざす。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【幼稚園、こども園ICT保育サービスの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスポイント導入 ・ 保育用タブレット導入 ・ 保育業務支援システム（コドモン）導入 	<div data-bbox="1042 601 1964 1118" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">幼稚園・こども園のICT環境整備、保育サービスの導入</p> <p>幼稚園・こども園</p> <ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi環境整備 タブレット整備 コドモン導入 入口、職員室用 端末整備 各クラス用 端末整備 <p>保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登降園情報の共有 ・ 連絡事項 ・ 定期的なお便り配信 コドモン専用アプリ導入 </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アプリのユーザー登録者数 ②連絡機能を使用して施設から通知した件数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のサービス満足度 ②職員のサービス満足度 ③ 			

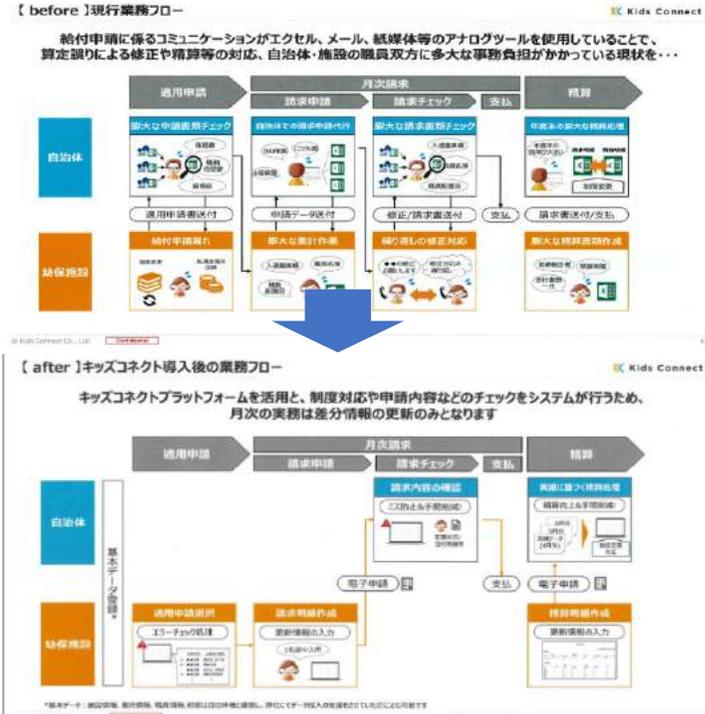
事業概要 【施設型給付費・補助金等申請支援システム導入事業】

自治体名	兵庫県加東市	人口	39,716人	事業費	4,400千円
事業概要	施設型給付費をはじめとした各種補助金額の算定業務には多大な労力と知識の積み上げ、複雑な計算技術を要し、施設職員の事務負担が増えている状況である。システム導入により、制度改正への理解不足による計算誤り等を防ぎ、施設職員の事務負担を軽減することで保育業務に専念することができ、保育の質及び満足度の向上を図る。				
具体サービス	<p>【施設型給付費・補助金等申請支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設型給付費や各種補助金等の請求に係る事務の一元化 施設と市のやり取りをエクセルからクラウドシステム化 		<p>旧プロセス: 保育所が請求書等を作成し、メールや郵送で送付。市役所が請求書等を確認。メールや電話でのやりとりが頻発し、修正等に時間を要する。</p> <p>新プロセス: 保育所でシステムで作成し、申請。市役所でシステムで確認承認・差戻。</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムの活用施設数 ②申請件数 ③給付申請の差戻率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①幼児教育・保育サービス等の取組に関する満足度 		

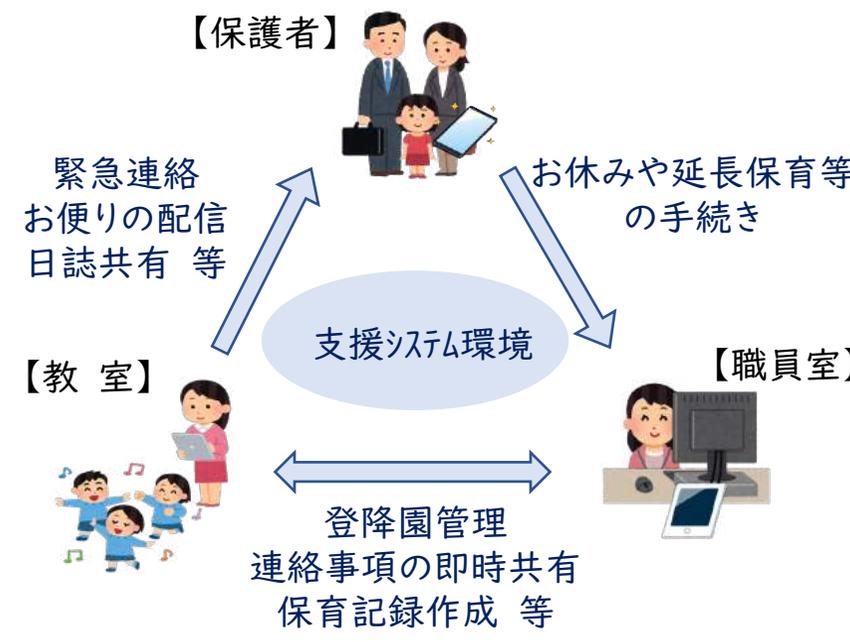
事業概要 【教育・保育施設等給付業務管理システム導入事業】

自治体名	奈良県奈良市	人口	349,737人	事業費	8,800千円
事業概要	<p>民間の教育・保育施設等に対する施設型給付や補助金支給については、毎月施設から市に提出される職員名簿等の内容を審査しているが、紙やメールでのやりとりにおいて何度も修正や再提出が発生し多大な事務負担が双方に生じている。このような事態を解消するために、給付業務管理クラウドシステムを導入する。市と私立施設がシステム上で繋がり、審査事務を効率化し、双方の事務負担を軽減することで、地域の保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育施設等給付業務管理クラウドシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> お知らせ配信機能 職員名簿・配置管理機能 給付費等各種加算申請、請求書発行 延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業補助金申請機能 	<p>自治体側</p> <p>私立施設側</p> <p>給付業務に追われる</p> <p>修正対応の繰り返し</p> <p>新たなサービスの提案等に着手できる</p> <p>給付業務管理クラウドシステム</p> <p>保育に専念</p> <p>保育サービスの向上</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①私立施設のシステム活用率 ② ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育・保育に充てる時間が増加した私立施設の数 ② ③ 			

事業概要 【認可保育所等支援事業（教育・保育給付費等業務管理システム導入事業）】

自治体名	奈良県生駒市	人口	117,295人	事業費	4,400千円
事業概要	<p>これまでは、市への私立保育所等からの教育・保育費等の申請は、エクセルデータのメール送信や紙媒体で行われていたため、誤りが多く、またその補正に時間がかかっていたところ、本給付管理システムの導入により申請の負担を軽減する。事務負担の軽減により、当該認可保育所等の職員の処遇改善や施設の設備改善が推進されることにより、地域内における保育士確保、施設の機能向上を図り、入所児童数の増加を図る。</p>				
具体サービス	<p>【認可保育所等支援事業（教育・保育給付費等業務管理システム導入事業）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • LGWAN環境（自治体）、インターネット環境（園）によるセキュアでデジタル完結のシステム • アナログな書類のやり取り、データの散在を一元化したシステムに集約する。 • 制度対応、申請内容などのシステムチェック（目検による人為的ミスの軽減） • 電子明細の作成 		 <p>【 before 】現行業務フロー</p> <p>給付申請に係るコミュニケーションがエクセル、メール、紙媒体等のアナログツールを使用していることで、算定誤りによる修正や精算等の対応、自治体・施設の職員双方に多大な事務負担がかかっている現状を...</p> <p>【 after 】キッズコネク特導入後の業務フロー</p> <p>キッズコネク特プラットフォームを活用と、制度対応や申請内容などのチェックをシステムが行うため、月次の業務は差分情報の更新のみとなります</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム導入施設数 ②システムによる給付金申請件数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①私立園定員充足率 ②給付業務に係る事務処理時間 ③待機児童数 		

事業概要 【幼保DX業務推進事業】

自治体名	奈良県香芝市	人口	78,636人	事業費	48,968千円
事業概要	<p>市民利用者が、欠席連絡等を園へ行うが回線等が混み合っていて電話がつかない、また、連絡帳、お知らせ通知等が紙媒体であるため、常時記入、確認することができない等の課題解決を図るため、公立保育所5か所、公立認定こども園3園、公立幼稚園5園に「保育・教育施設支援システム」及びシステムの有効利用環境を整備する。スマートフォンのアプリを活用し、保育・教育施設と保護者の双方向による情報共有を迅速かつ正確に行うこと、保育士の事務負担の軽減を図ることで、保育時間の確保を図り、安全性の高い保育を提供する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>デジタル実装サービス「幼保DX化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○欠席や遅刻の連絡、お便りの配信、緊急連絡等を行う保護者連絡アプリ ○園児の登園及び降園の管理・記録 ○各種指導案や日誌・保育記録の作成・保管 ○園児の活動をタブレットで撮影し記録 		 <p>【保護者】</p> <p>緊急連絡 お便りの配信 日誌共有 等</p> <p>お休みや延長保育等の手続き</p> <p>【教室】</p> <p>【職員室】</p> <p>登降園管理 連絡事項の即時共有 保育記録作成 等</p> <p>支援システム環境</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者へのお便り等の配布件数の減少数 ②保護者がアプリをダウンロードした割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育士、保育教諭、幼稚園教諭(正職員)の超過勤務減少時間数 ②保護者満足度で「満足」「やや満足」と答えた割合 ③職員満足度で「満足」「やや満足」と答えた割合 		

事業概要【就学前施設ICT環境整備事業】

自治体名	奈良県葛城市	人口	37,909人	事業費	17,788千円
事業概要	<p>市内すべての公立就学前施設（幼稚園4か所、こども園1か所、保育所2か所）のネットワーク整備を行い、登降園管理、各指導案や指導要録等の作成、預かり保育事業・延長保育の管理、保護者との連絡機能（欠席連絡等）、おしらせ発信等を持つ園務支援システムを導入し、保護者の利便性の向上に加え、業務効率化によりできた時間を子ども達との時間に充てることで保育の質の向上を目指すもの。</p>				
具体サービス	<p>【園務支援システム】 <主な機能></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 園児管理機能（+保護者管理機能） 2. 登降園管理機能 3. 欠席連絡機能 4. おしらせ発信機能 5. 預かり保育管理機能 6. 延長保育管理機能 7. ドキュメンテーション機能 8. 健康管理機能 9. 各様式作成管理機能 10. 徴収金管理機能 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①紙によるおしらせの電子化件数 ②システムの活用機能数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のシステム利用満足度 ②保護者の施設利用満足度 		

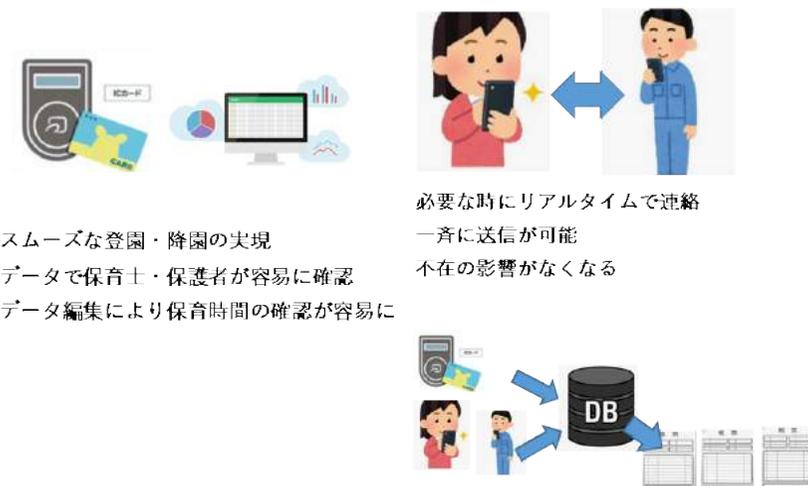
事業概要 【施設型給付費・補助金交付手続きデジタル化事業】

自治体名	奈良県広陵町	人口	35,140人	事業費	3,500千円
事業概要	町内保育施設及び行政の双方にクラウドシステムを導入することにより、データ管理を一元化し、行政手続きをワンストップ化を図ることにより、保育施設と行政の双方が保育サービス向上等の業務に専念することが可能となり、保育の質改善による住民サービスの向上を図るものである。				
具体サービス	<p>【クラウドシステム】</p> <p>・補助金自動算定システム</p> <p>これまで紙媒体を含むアナログ作業によって処理し、申請書類等を作成していた補助金等について、クラウドシステム上で申請様式の作成から提出までをワンストップで行うことが可能となる。</p> <p>また、複雑な制度の理解についても、県や町に都度電話やメールで問い合わせていたものがコールセンターやチャットにより迅速に回答を得ることが可能となる。</p>	<p>The diagram illustrates the digitalization process. At the top is an orange oval labeled '保育施設' (Nursery Facility). Below it is a blue cloud labeled 'クラウドシステム' (Cloud System). At the bottom is a green oval labeled '役場' (Town Office). Arrows indicate the flow of information: ② from the facility to the system, ③ from the system to the facility, ① from the office to the system, and ④ from the system to the office.</p> <p>②園児情報など必要情報の入手</p> <p>③必要情報のみの入力</p> <p>クラウドシステム</p> <p>①園児情報など必要情報の入力</p> <p>④自動算定された給付費・補助金情報を申請として受付</p> <p>役場</p> <p>従来は保育施設で算定や要件の確認等を行っていたが、本サービスにより省略することで、保育の質向上に係るリソースを創出</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①当該システムによる給付費及び補助金申請件数</p> <p>②チャットでの質問回答件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保育施設の運営に関するサービス満足度</p> <p>※今後、サービスの多様化や拡張に伴い、適宜指標を追加予定</p>			

事業概要 【小児予防接種デジタル化事業】

自治体名	和歌山県岩出市	人口	54,046人	事業費	828千円
事業概要	<p>現在本市が利用している子育てアプリのサービスを利用して、国の標準化システムの導入に伴い、国の方針である「子育てノンストップサービス」等において、定期予防接種予診票のデジタル化が推進されていることにより整備をすすめる。デジタル化することにより、適切な接種時期をお知らせするとともに、手持ちのスマートフォンで問診入力が可能となるため現在のように何枚も予診票を記入する必要がなくなり保護者の負担も軽減できる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>スマートフォンやタブレット、パソコンを使用し、デジタル予診票の入力、署名に代えて同意ボタンやチェックボックスにチェックを入れる等簡易な確認方法をとることができるなど、予防接種記録の確認ができる。</p>		<p>The diagram shows three stages of the digital vaccination process:</p> <ul style="list-style-type: none"> 来院受付 (Arrival/Check-in): QRコードを読み取るだけで、予診票提出完了! (Simply scanning the QR code, the pre-visit form submission is complete!). The process involves a parent bringing the child to the clinic, scanning the QR code, and submitting the digital form. Status: 医療機関 読取り済み (Clinic scanned). 診察・接種 (Consultation/Vaccination): 診察室にある端末で予診票を確認。受付から予診票を持って行く手間が省けます。 (Check the pre-visit form on the terminal in the examination room. Saves the trouble of bringing the form from the reception desk.) The process involves the parent bringing the child to the examination room, confirming the form on the terminal, selecting the doctor's name, and receiving the vaccination. Status: 医療機関 処理完了 (Clinic processing complete). 集計・精算 (Data Collection/Reconciliation): 面倒な入力・集計作業がなくなり紙の予診票を送る手間も省けます。 (No need for tedious input/collection work, and saves the trouble of sending paper forms.) The process involves confirming the collection results and exporting CSV data. Status: システム上でも確認できます (Can be confirmed on the system). 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子育てモバイルの利用者数 ②予防接種アプリの利用者数 ③環境を整えた医療機関数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①予防接種アプリを利用した接種件数 		

事業概要 【こども園等ICT化事業】

自治体名	和歌山県みなべ町	人口	11,793人	事業費	4,019千円
事業概要	<p>町内のこども園3か所（1園は私立。令和5年度時点で公立1園は保育所）及び学童保育所へのICTを活用した保育業務支援システムを導入し、保育関連書類作成や保護者の連絡等の負担軽減及び保育者の業務負担の軽減を図り、保育の質（住民サービス）を向上させる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登園・降園（入退室）管理】 登園・降園（学童保育所においては入室・退室）時に、保護者や児童がQRコード（スマートフォンなど）をかざすことにより、自動的に登園・降園の時間を記録する。</p> <p>【保護者連絡のICT化】 ・遅刻・欠席について、専用アプリから保護者が連絡し、システム上で受付、確認を行う。 ・園児や児童に関する保護者への連絡事項について、アプリを活用して随時行うことができる。 ・緊急時連絡やお便りをアプリにて配信ができる。</p> <p>【帳票の連動による保育士等業務の効率化】 児童票、成長記録、出席簿、週案・月案、健康記録等のデータ連携により転記作業が省け、効率化を図る。</p>	<p>【サービス導入後】</p>  <p>スムーズな登園・降園の実現 データで保育士・保護者が容易に確認 データ編集により保育時間の確認が容易に</p> <p>必要な時にリアルタイムで連絡 一斉に送信が可能 不在の影響がなくなる</p> <p>日々の業務がデータとして蓄積（転記不要） 重複データは一度の入力で完了（転記不要）</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム連携アプリ利用率 ②保育士等の時間外勤務の減少時間 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム連携アプリ利用満足度 ②システム導入後の施設利用満足度 ③ 			

事業概要 【公立保育園デジタル化による保育環境向上事業】

自治体名	和歌山県 白浜町	人口	20,202人	事業費	21,650千円
事業概要	<p>保育園へ業務支援システムを導入し、保護者と保育士の双方で必要な情報を伝達できることで利便性を高め、保育関連書類作成の保育士の業務負担を軽減する。また、IPフォンによる園内内外線電話ネットワークを備築し保護者の利便性向上や保育士の業務負担軽減と保育士間の連携をより一層図るとともに、見守りカメラと警備システムを構築することで保育園の安全性を高め保育の質（住民サービス）の向上に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>○保育業務支援システム 【登降園管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園時間の記録・欠席連絡 <p>【帳票作成・管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導案、園児台帳の作成、管理 <p>【保育業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の健康状態の記録、関係者への共有 <p>【保護者への連絡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事案内、各種連絡事項 <p>○IPフォンによる園内内外線電話ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士間の連絡、不審者の一斉同報による情報共有、緊急時の連絡 ・保護者から担当保育士への連絡 <p>○見守りカメラと警備システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切保育、虐待、不審者侵入の未然防止 ・夜間防犯対策（火災・盗難監視等・非常通報） 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリ利用する保護者の割合 ②IPフォンによる保育士間一斉同報による情報共有件数 ③見守りカメラと警備システムによる危険察知件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育業務支援システムの満足度 ②保育園に対する保護者の利便性向上率 ③見守りカメラと警備システムによる地域と保育園との連携 		

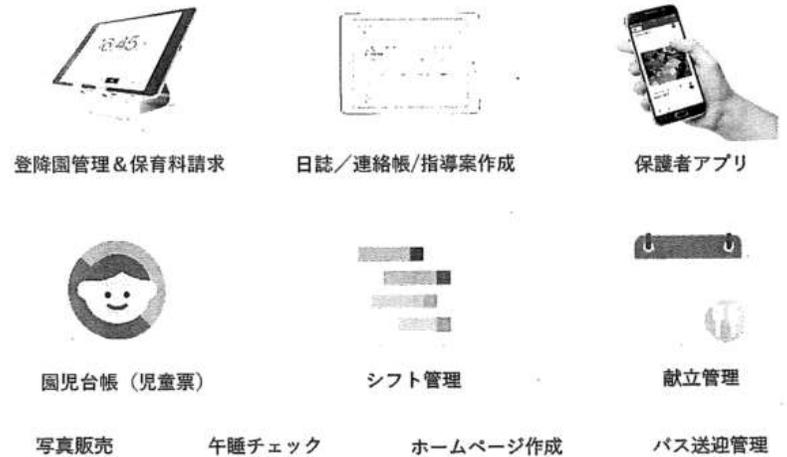
事業概要 【子育てクラウドシステム事業】

自治体名	鳥取県米子市	人口	145,135人	事業費	17,460千円
事業概要	<p>毎月の施設型給付費等の請求及び各種加算に係る認定申請や補助金に関する書類のやり取りを、紙やメールで行っていることから、民間保育所等に勤務する保育士の事務負担が増大している。これらをクラウドシステムを介してデジタル化することで、保育士と当市の事務負担が大幅に削減され、その時間を本来の保育業務に充てる事で保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【子育てクラウドシステム】</p> <p><クラウド上で完結させる業務></p> <ul style="list-style-type: none"> 給付費等請求及び審査 保育士配置状況管理 加算申請及び審査 加算状況管理 公定価格改定及び新たな加算への対応 補助金交付申請及び審査 <p><データ連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹システム及び既存の保育システムと連携 		<div data-bbox="1100 419 1974 813"> <p>システム導入前</p> </div> <div data-bbox="1100 813 1974 1222"> <p>システム導入後</p> </div>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①保育施設等のシステム利用率</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①システムに対する満足度</p> <p>②保育士が保育に充てる時間の増加</p>		

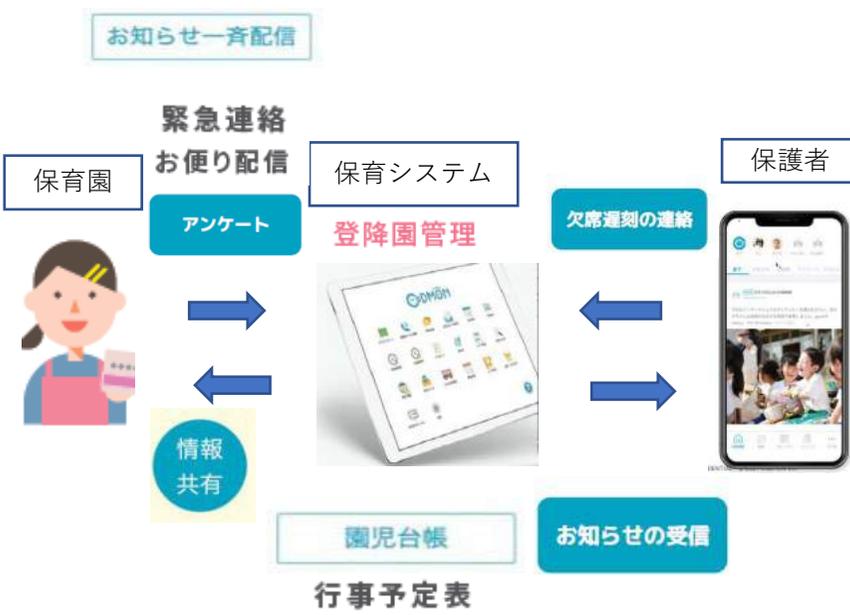
事業概要【公立保育所ICT化推進事業】

自治体名	鳥取県岩美町	人口	10,917人	事業費	3,509千円
事業概要	<p>感染症への対策、配慮を要する児童の増加等保育士の業務負担が増加するなか、町内の保育所では保護者とのやり取りを電話や紙で行っている。保育所内のネットワーク環境を整備し、保育業務ICT化を推進することにより、保護者の利便性の向上、児童の登降園の安全管理、また保育士の負担となっている帳票の作成や記録、報告の業務負担の軽減により、保育の質の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【主なICT導入機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理 ・帳票作成機能(日誌、指導案等) ・保護者とのコミュニケーション機能(欠席・遅刻受付、アンケート配信・児童集計、お知らせ一斉配信) <p>【導入する保育所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩美町立浦富保育所 ・岩美町立大岩保育所 ・岩美町立みなみ保育所 <p>【事業内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内ネットワーク環境整備 ・専用端末購入 ・システム利用 		<p>保育園運営に役立つ機能を「ひとまとめ」に</p> <p>登降園管理</p> <p>保護者コミュニケーション 欠席・遅刻連絡 / 連絡帳 / 緊急連絡など</p> <p>指導案日誌作成 月案 / 週案 / 日案 / 個人案 / クラス日誌 / 個人日誌など</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者用アプリのダウンロード割合 ②保育業務ICTを使用した欠席届割合 ③利用者への一斉連絡配信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる満足度 ② ③ 		

事業概要 【保育所ICT導入事業】

自治体名	鳥取県智頭町	人口	6,300人	事業費	1,717千円
事業概要	<p>保育所ICTシステム導入により保育士の業務削減・効率化を図り、子どもと向き合う時間の確保と保育内容の充実を目指す。 アプリにより保護者が登降園の情報を確認したり、緊急時等に園から一斉通知を受け取ることができ、リアルタイムで正確な情報を共有することができる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園管理システム】 手書き管理していた登降情報を、玄関にQRコードリーダーを設置・打刻することで端末から在園児の状況を把握することができる。</p> <p>【保護者－園間の連絡システム】 アンケート、プッシュ通知等をアプリで管理し、保護者の未読情報が一目で分かるようになる。また保護者は出欠連絡、連絡帳の記入を開園時間を気にせず行うことができる。</p> <p>【書類・記録のデジタル化】 指導案やドキュメンテーションのデジタル化により職員間で情報共有が可能となる。アプリ内のテンプレートを使用すれば指導案の記載が容易になる。ドキュメンテーションは保育記録として機能するほか、保護者への園生活のお知らせとしても活用できる。</p>	 <p>登降園管理 & 保育料請求</p> <p>日誌/連絡帳/指導案作成</p> <p>保護者アプリ</p> <p>園児台帳 (児童票)</p> <p>シフト管理</p> <p>献立管理</p> <p>写真販売</p> <p>午睡チェック</p> <p>ホームページ作成</p> <p>バス送迎管理</p> <p>株式会社コードモン資料より抜粋</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①保護者のアプリダウンロード数</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保護者の利用満足度</p> <p>②</p> <p>③</p>			

事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	鳥取県南部町	人口	10,289人	事業費	6,515千円
事業概要	<p>町内保育園では、保護者とのやり取りを電話や紙で行っているため、町内保育園（4園）に保育システムを導入することで、保育士の事務負担軽減と保護者の利便性向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【関係書類のデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児台帳をシステム管理することで、保育士同士の情報共有がスムーズに行える。 <p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が紙で記録している登降園管理をICカードまたは二次元コードによる自動登録にする。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話連絡で行っている欠席や登園・降園時間変更を保護者アプリから行うことができる。 緊急連絡、お便りやアンケート（現在は紙）をアプリ配信することができる。 連絡帳機能使い保護者に今日行った保育活動を配信することができる。 	 <p>The diagram illustrates the system's workflow. On the left, '保育園' (Nursery) is represented by a staff member icon. On the right, '保護者' (Guardian) is represented by a smartphone icon. In the center is the '保育システム' (Childcare System) tablet. Arrows indicate the following interactions: <ul style="list-style-type: none"> 'お知らせ一斉配信' (One-time mass notification) from the system to the nursery. '緊急連絡 お便り配信' (Emergency contact and notice distribution) from the system to the nursery. 'アンケート' (Survey) from the nursery to the system. '登降園管理' (Attendance management) from the system to the nursery. '欠席遅刻の連絡' (Absence/late arrival notification) from the system to the guardian. '情報共有' (Information sharing) from the system to the nursery. '園児台帳 行事予定表' (Child register and event schedule) from the system to the nursery. 'お知らせの受信' (Reception of notices) from the guardian to the system. </p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者用アプリ利用率 ② 欠席連絡におけるアプリ利用率 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリ利用満足度 ② ③ 			

事業概要 【デジタルToデジタルのコミュニケーションモデル構築】

自治体名	島根県松江市	人口	196,152人	事業費	39,815千円
事業概要	<p>保育関連サービスにおいて申請・通知・決済の手續をデジタルで完結できる環境を構築することで、入所審査期間の短縮・市民相談対応の強化・通知配信のリードタイム短縮・多様な決済手段の提供を実現し、市民に対して入所検討や準備、入所後の各種手續における十分な時間と情報をもれなく提供し、多様な状況下にある子育て世代が無理なく安心して子育てできる地域を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【通知物電子送付サービス】 マイナンバーカードで本人確認したIDを設定 電子署名を付与した通知物の送付 通知物を1年以上保存 市民に対して個別の通知物を一括送付 保育施設に対して通知物を送付</p> <p>【デジタルワークフローシステム】 相談受付補助 申請データ取込（AI-OCR活用） システム審査（自動審査・確認補助） 審査ステータス管理 通知データ出力・システム連携</p> <p>【オンライン決済】 クレジットカード・QRコード決済・コンビニ払いを用いたオンライン決済 口座振替を用いた支払</p> </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタル通知サービス利用登録者数 ②デジタル通知の送付種類数 ③デジタル通知からオンライン申請への流入率 ④月次のオンライン決済利用件数 ⑤デジタルワークフローシステムでの処理件数 </div> <div style="flex: 2;"> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の入所検討期間の日数(空き枠公開～申込締切) ②月次の通知発送に要する日数の削減 ③デジタル通知サービスの利用者満足度 ④オンライン決済の利用者満足度 ⑤窓口での申請受付対応に要する時間の削減 ⑥問い合わせ対応に要する時間の削減 ⑦窓口対応の利用者満足度 </div> </div>				

事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル予診票を活用した小児予防接種DX】

自治体名	島根県奥出雲町	人口	11,364人	事業費	7,268千円
------	---------	----	---------	-----	---------

事業概要

母親の約8割が就労しており、家族形態も核家族化が進み、保護者の仕事と子育ての両立に関して調整が難しい環境となっている。妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用して、予防接種の予診票と接種記録をデジタル化することで、予防接種数の増加や複雑化が進む保護者の予防接種スケジュール管理や予診票記入の手間・医療機関、町の手間を削減するとともに、接種時期や接種間隔をシステムで自動制御することにより、簡単・便利で安心・安全な予防接種を実現する。

具体サービス

【子育てDX_小児予防接種DX】
 デジタル予診票の実装
 保護者～医療機関～町のデータ連携
 →住民/医療機関/自治体の3方に下記メリットを創出

【保護者】 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減

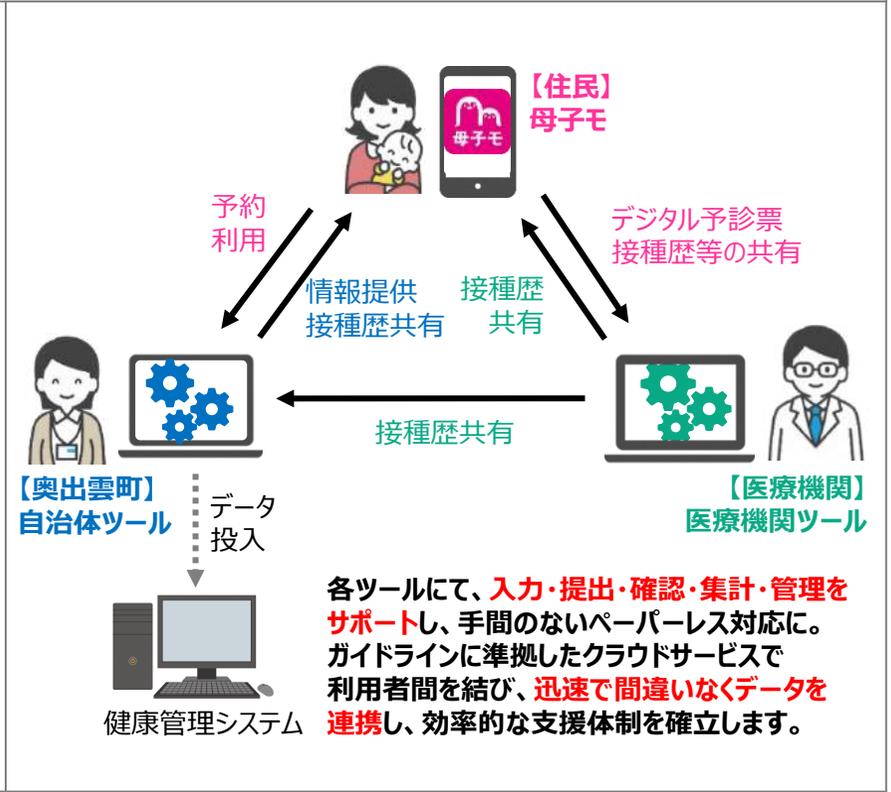
- ・予防接種スケジュールはアプリ上で個々に合わせて自動作成され、プッシュ通知により受け忘れを防止
- ・住民の基本情報はデジタル予診票へ自動記入
- ・同時接種の際は重複する内容を一括入力
- ・アプリなので紛失の心配がなく、機種変更時等も再ログインするだけ

【医療機関】 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化

- ・予診票の重複内容や、公費期間の確認はシステムで一括チェック
- ・システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止
- ・予診票への記録は一括入力＆自動記入
- ・請求金額は自動計算＆自動提出

【町】 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化

- ・全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック
- ・システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減
- ・健康管理システムへのデータ入力は、システムからCSV出力しアップロードするだけ

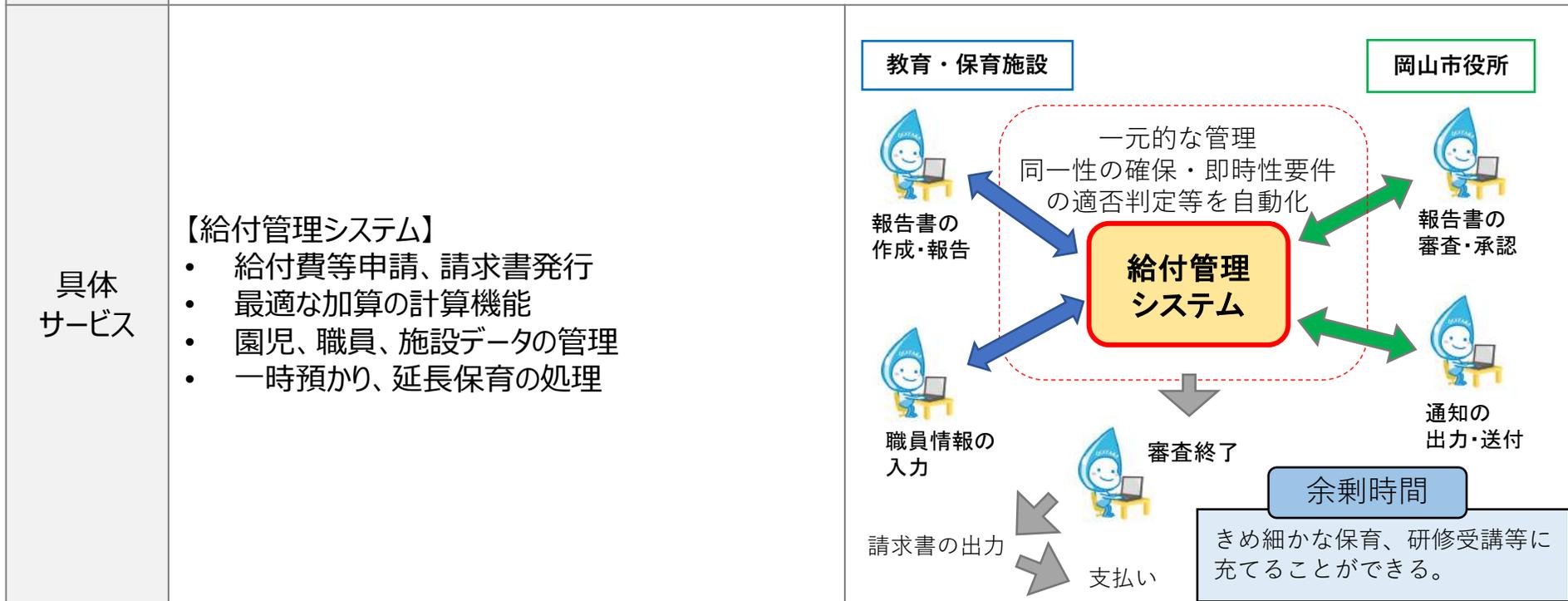


主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②予診票のデジタル化率 ③デジタル予診票に対応する医療機関数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル予診票の住民利用満足度 ②デジタル予診票の医療機関満足度
--------------	--	---

事業概要 【給付管理システム導入事業】

自治体名	岡山県岡山市	人口	698,919人	事業費	36,188千円
------	--------	----	----------	-----	----------

事業概要
 就学前の子どもが通う私立教育・保育施設（以下「教育・保育施設」という。）の給付費等請求業務は、事務量や制度改正も多く、業務負担が高まっている。給付管理システムを導入することにより、施設の給付費等請求業務の効率化を図り、そこで生まれた余剰時間を、きめ細かな保育や研修受講等に充てることで保育の質の向上につなげる。その効果として、子どもはより豊かな育ちにつながる保育を受けることができるとともに、手厚い保護者対応を行うことで保護者はより安心して子どもを預けることができる。



主な KPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①給付費等請求業務における本システムの利用率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①教育・保育施設職員の研修参加人数</p> <p>②障がい児の受け入れ人数</p> <p>③教育・保育施設のシステム満足度</p>
--------	--	--

事業概要 【母子健康アプリ（乳幼児健診・予防接種）】

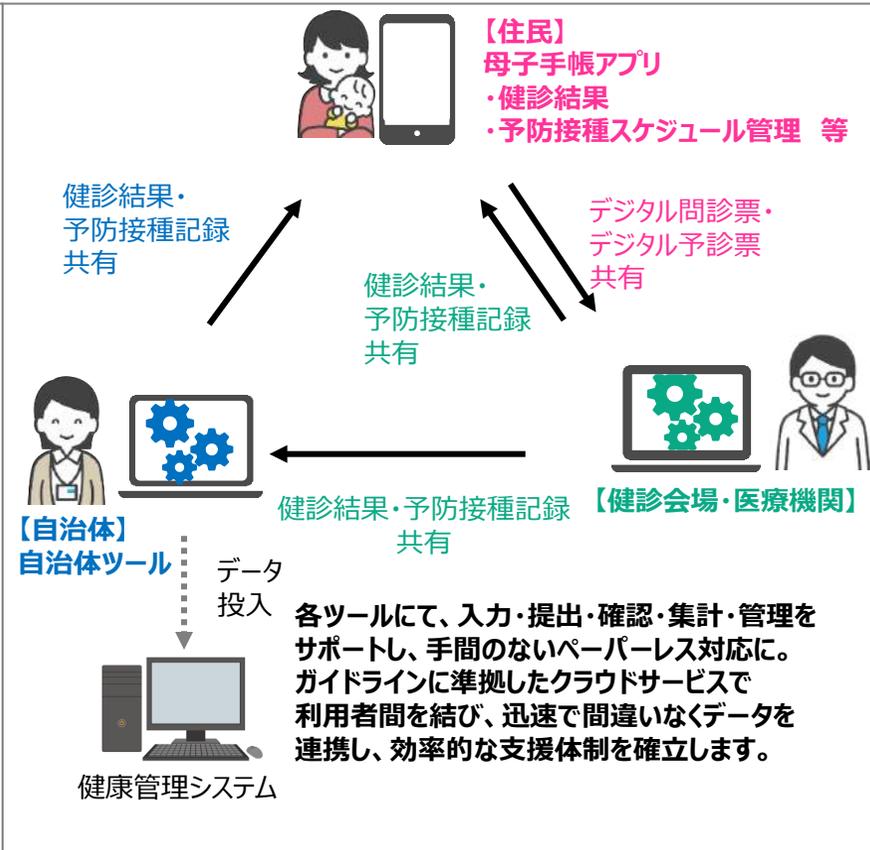
自治体名	岡山県高梁市	人口	26,940人	事業費	19,958千円
------	--------	----	---------	-----	----------

事業概要
 妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリを活用して、予防接種の予診票・接種記録や乳幼児健診の問診票・健診記録をデジタル化することで、住民の予防接種スケジュール管理や予診票等の記入の手間・医療機関、自治体の手間を削減すること子育て世帯に対するよりきめ細やかなサポートを実施する。

【乳幼児健診サービス】
 問診票、健診結果のデジタル化
【住民】 健診の受け忘れや記入漏れ・母子健康手帳紛失リスクを削減
 ・問診票や健診結果をデジタル化してアプリへ保存
 ・アプリなので紛失の心配が不要で、健診結果についてもアプリに保存
【健診会場】 業務効率化により、健診会場への滞在時間を削減
 ・健診結果をデジタル化してアプリに保存
【自治体】 業務効率化により、子育て世帯に対してきめ細かなサポートが可能に
 ・健診結果のデータは、データ化されたものを健康管理システムへ入力

【小児予防接種サービス】
 デジタル予診票の実装
【住民】 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減
 ・予防接種スケジュールはアプリ上で個々に合わせて自動作成される
 ・同時接種の際は重複する内容を一括入力
 ・アプリなので母子手帳の紛失の心配がない
【医療機関】 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化
 ・システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止
 ・予診票への記録は一括入力＆自動記入
 ・請求金額は自動計算
【自治体】 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化
 ・全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック
 ・システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減
 ・予防接種のデータは、データ化されたものを健康管理システムへ入力

具体サービス



主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】	【アウトカム指標（成果指標）】
	①母子手帳アプリ登録率 ②デジタル問診票に対応する健診数 ③予診票のデジタル化率 ④デジタル予診票に対応する医療機関数	①母子手帳アプリの利用満足度 ②デジタル問診票の住民利用満足度 ③デジタル予診票の住民利用満足度 ④デジタル予診票の医療機関満足度

事業概要 【保護者連絡ツール環境構築委託事業】

自治体名	岡山県新見市	人口	26,698人	事業費	5,780千円
事業概要	<p>現在学校と保護者の連絡手段は、主に電話回線を使用しているが、保護者から欠席連絡の電話が繋がりにくい状態であり、保護者と学校の円滑な連絡手段を確保し、保護者の負担軽減を図るとため、校務のDX化を推進する必要がある。</p> <p>市内こども園等で利用されている保護者連絡ツール「コドモン」を導入することにより、出欠連絡の管理及び簡易的な双方向でのやり取りを可能とし、保護者の利便性向上と教職員の働き方改革を推進する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保護者連絡ツール「コドモン」】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校 全校 (小学校15校・中学校5校) 主な機能 保護者からの出欠等の連絡 先生から保護者への簡易連絡 学校だより等の文書配布 アンケート配布 写真販売 	<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: #00a0e3;">学校・保護者間連絡をスムーズにし、先生の負担を減らします。</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">CoDMONは、学校機能と保護者アプリの2つで構成されるクラウド型の連絡システムです。 従来のメール配信方式よりもスムーズに保護者連絡ができ、先生の業務負担を軽減できます。 ICT苦手な先生方にも馴染み、保護者にも使ってもらえるよう、2つの大きな特徴があります。(次頁参照)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> <CoDMON学校管理画面・保護者アプリ> <アプリ型配信方式のメリット> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;">   <div style="margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center; color: #00a0e3; font-weight: bold;">従来のメール配信型の連絡方法を強化できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 送達率の低下を解消 <small>(迷惑メール扱い / 利用者減 / 災害時のサーバーダウン / アドレス変更)</small> ✓ アドレス管理の煩わしさが不要に <small>(アドレス変更・迷惑メール扱いの回避)</small> ✓ 既読者/既読時間の把握できる ✓ アプリとメール、2つ同時に配信できる </div> </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者連絡ツールのアプリのアカウント登録者数 ②サービスを活用した連絡通知数 ③ 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者満足度アンケート ② ③ 			

事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した伴走型相談支援サービス】

自治体名	岡山県真庭市	人口	41,740人	事業費	2,041千円
事業概要	<p>出産への不安や仕事との両立、身体的な不調や疲労がある中、住民の負担を軽減するため、母子健康手帳アプリを活用し、面談業務をデジタル化し、オンライン予約を導入する。これにより、住民は24時間いつでも事前申請や面談の予約が可能となり、当日の窓口手続時間も短縮される。同時に、自治体においても申請内容の事前把握による業務調整やデータ管理の効率化によって、支援プロセスの改善を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_伴走型相談支援サービス】 アプリ上での届出/アンケート等の提出、および面談の予約 自治体側での届出/アンケート/予約のデータ管理</p> <div data-bbox="306 782 1094 925" style="background-color: #f8d7da; padding: 5px;"> <p>保護者 </p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも簡単に申請でき、アンケート/問診票の手書きの手間も不要に 事前回答により、当日の待ち時間短縮につながり、負担を軽減 </div> <div data-bbox="306 939 1094 1160" style="background-color: #d1ecf1; padding: 5px;"> <p>自治体 </p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートや問診票等を事前に取得できるため、回答内容をもとに事前準備・業務調整ができ、当日の対応時間も短縮 データを出力し健康管理システムに投入できるため、入力作業の工数/ミス削減 予め指定した帳票に印刷でき、PCのない会場・窓口での運用にも対応可能 </div>	<div data-bbox="1131 465 1922 511" style="background-color: #343a40; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>案内・登録 ➤ 事前申請</p> </div> <div data-bbox="1131 518 1922 789" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科で案内を受けてアプリに登録 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上での事前申請&面談日時を予約 </div> </div> <div data-bbox="1131 825 1922 871" style="background-color: #343a40; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>面談実施 ➤ 面談後</p> </div> <div data-bbox="1131 878 1922 1175" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 事前申請した内容をもとに面談実施。 利用者目線では待ち時間がなく、スムーズに面談が可能。 自治体目線では、事前の申請内容をもとに業務調整や準備ができ、業務を効率化 </div> <div style="text-align: center;">  <p>データ投入</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>健康管理システム</p> </div> </div>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリ登録率 オンライン申請率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリの利用満足度 オンライン申請の利用満足度 			

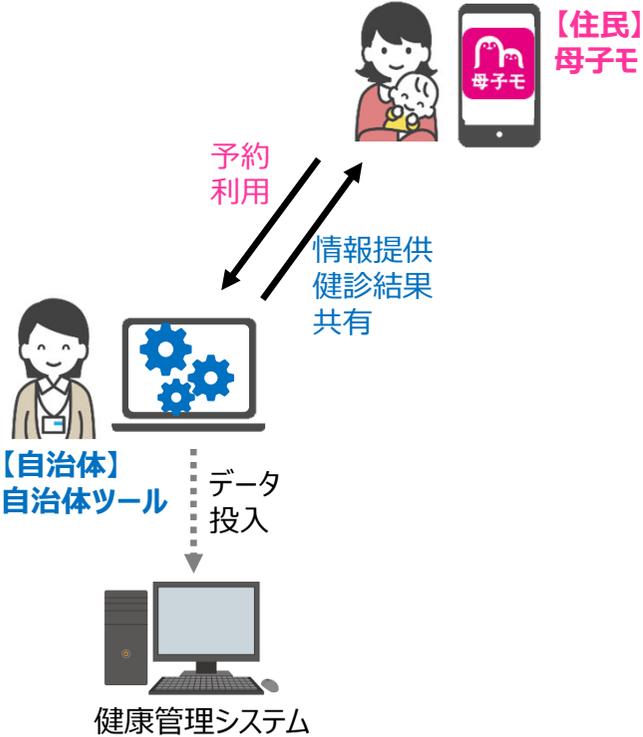
事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル予診票を活用した小児予防接種DX】

自治体名	岡山県真庭市	人口	41,740人	事業費	3,411千円
事業概要	<p>住民にとって子育て期の手続きは煩雑で、書類も非常に多く、特に予防接種が手間となっている。医療機関や自治体でも手動のデータ入力で非効率的であり、ヒューマンエラーも懸念される。この課題に対処するため、母子健康手帳アプリを活用して予診票と接種情報をデジタル化し、住民の手続き負担を軽減。また、医療機関と自治体においてもデータ関連の効率向上を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="306 439 1087 1182" style="width: 48%;"> <p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_小児予防接種DX】 デジタル予診票の実装 住民～医療機関～自治体のデータ連携 →住民/医療機関/自治体の3方に下記メリットを創出</p> <p>【住民】 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種スケジュールはアプリ上で個々に合わせて自動作成され、プッシュ通知により受け忘れを防止 ・ 住民の基本情報はデジタル予診票へ自動記入 ・ 同時接種の際は重複する内容を一括入力 ・ アプリなので紛失の心配がなく、機種変更時等も再ログインのだけ <p>【医療機関】 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予診票の重複内容や、公費期間の確認はシステムで一括チェック ・ システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止 ・ 予診票への記録は一括入力&自動記入 ・ 請求金額は自動計算&自動提出 <p>【自治体】 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック ・ システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減 ・ 健康システムへのデータ入力は、システムからCSV出力しアップロードするだけ </div> <div data-bbox="1108 439 1964 1182" style="width: 48%; text-align: center;"> <p>【住民】 母子モ</p> <p>予約利用</p> <p>デジタル予診票 接種歴等の共有</p> <p>情報提供 接種歴共有</p> <p>接種歴共有</p> <p>接種歴共有</p> <p>【自治体】 自治体ツール</p> <p>データ投入</p> <p>【医療機関】 医療機関ツール</p> <p>健康管理システム</p> <p>各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。</p> </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②予診票のデジタル化率 ③デジタル予診票へ対応する医療機関数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタル予診票の住民利用満足度 ②デジタル予診票の医療機関満足度 		

事業概要 【美作市公立保育園デジタル化事業】

自治体名	岡山県美作市	人口	25,540人	事業費	4,630千円
事業概要	<p>クラウド型の総合保育業務支援システムを導入することで、保護者が電話で行っていた欠席・遅刻連絡や、園が保護者に対して発送していた連絡物をデジタル化し、保護者の利便性向上を図る。また、保育現場の帳票管理もデジタル化し、業務効率の向上を行うことで、全体的な保育の質の向上を図る。保育分野における市のサービスの質を向上させ、移住者・定住者に対するブランド力の向上を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 登降園管理（QRコード等） <ul style="list-style-type: none"> →登降園時間の自動記録 →園児の置き去り防止等 ② 帳票管理（指導計画・日誌等） <ul style="list-style-type: none"> →業務のペーパーレス化 →園児の記録等の効率化・迅速化 ③ 保護者連絡（アプリ等の活用） <ul style="list-style-type: none"> →保護者の出欠連絡等の負担軽減 →園からの連絡物のペーパーレス化 <p>クラウド型のシステムであることから保護者アプリに「連絡物」や「アンケート」等の機能が集約される。保護者とのコミュニケーションの向上と業務効率化が実現可能である。</p>	 <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; text-align: center; border-radius: 5px;">①登降園管理</div> <div style="padding: 5px; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin: 5px;">QRコードを使って、登降園時間を自動で記録</div> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; text-align: center; border-radius: 5px;">②日誌・指導案など帳票作成</div> <div style="padding: 5px; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin: 5px;">必要な帳票や、指導計画等をシステム上で作成</div> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; text-align: center; border-radius: 5px;">③保護者とのコミュニケーション</div> <div style="padding: 5px; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin: 5px;">パソコンやスマートフォンから施設へ連絡</div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者アプリの登録率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①保護者側のアプリの利用満足度 			

事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル受診票を活用した乳幼児健診DX事業】

自治体名	岡山県里庄町	人口	11,014人	事業費	6,632千円
事業概要	<p>乳幼児健診では保護者が記載する受診票の項目が多く、保護者にとって大きな負担になっている。また、健診会場でも受診票の確認や母子手帳への結果の記入に手間がかかっており、健診終了後も結果のデータ入力に膨大な時間を要している。そのため、妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ「母子モ」を活用して、乳幼児健診の受診票や検診記録をデジタル化することで、保護者の受診票記入の手間・健診会場での健診業務の手間・自治体の事務作業の手間を改善し、3者にとって簡単・便利な乳幼児健診を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【子育てDX_乳幼児健診DX】 デジタル受診票の実装 住民～医療機関～自治体のデータ連携 →住民/健診会場/自治体の3方に下記メリットを創出</p> <p>[住民] 健診の受け忘れや記入漏れ・紛失リスクを削減</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリのお知らせで健診の受け忘れを防止 • 住民の基本情報はデジタル受診票へ自動記入 • 自動制御により問診票の記入漏れを防止 • アプリなので紛失の心配が不要で、健診結果についてもアプリで自動保存 <p>[健診会場] 業務効率化により、問診や診察をより手厚く実施可能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 注意すべき問診項目をハイライトで見やすく表示 • 標準地やカウプ指数等をシステムで自動計算し手間を削減 • 健診結果はシール印刷等で貼り付けるだけなので、記入の手間を削減 <p>[自治体] 業務効率化により、子育て世帯に対してきめ細かなサポートが可能に</p> <ul style="list-style-type: none"> • 健診結果のデータ入力は、CSV出力して健康システムへアップロードするだけ 		 <p>【住民】母子モ</p> <p>予約利用</p> <p>情報提供 健診結果共有</p> <p>【自治体】自治体ツール</p> <p>データ投入</p> <p>健康管理システム</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの登録率 ②受診票のデジタル化率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①デジタル受診票の住民利用満足度 ②子育て支援策の満足度 		

事業概要 【保育所・幼稚園業務ICT活用事業】

自治体名	広島県三原市	人口	88,206人	事業費	59,970千円
事業概要	<p>保育園等における保護者の利便性の向上、園内の安全の確立、保育士の業務効率化を通じた保育サービスの充実を目的に、①保育等業務支援システム（モデル仕様書活用）及び監視・見守り機能（カメラ）、②私立保育施設との施設型給付事務支援システムを実装する。これにより現在抱える現場の諸課題を解決し保育サービスを充実させる。 ※①は公立保育施設（13施設）が対象、②は私立保育施設（21施設）が対象</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【①保育業務ICTシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登降園管理による児童の居場所確認 ・午睡チェックによる安全な保育の提供 ・指導計画（年間・月、週など）等の効率的な計画作成 ・当該システム利用のための施設内ネットワークの用意 ・監視・見守り機能（カメラ）の実装 <p>【②施設型給付業務支援システム】</p> <p>毎年制度改正が行われ、私立保育所等の市への給付費等の申請等の提出業務が煩雑。私立保育施設における業務を効率化し、保育現場に注力できる環境を整備することにより保育サービスの充実を図る。</p>	<p>公立・私立、保育所・幼稚園・こども園、市内のすべての子どもたちの保育の充実へ</p> <p>市</p> <p>公立保育所・幼稚園・こども園</p> <p>保育業務ICTシステム</p> <p>カメラ</p> <p>ネットワーク・端末</p> <p>私立保育施設</p> <p>施設型給付業務支援システム</p> <p>施設の安全、保育の質の向上へ</p> <p>保育現場の対応充実へ</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育ICTシステムを利用している保護者の割合 ②システムのアクセス件数 ③システムを利用している保育施設の割合 ④死角・来客確認のための監視カメラ映像の確認回数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のシステム利用の5段階評価 ②監視カメラで保育施設の安心感の高まりを感じる保護者の割合 ③負担感が軽減し保育現場への対応の充実につながったと感じる事業者の割合 			

事業概要 【保育施設給付費等申請システム導入事業】

自治体名	広島県尾道市	人口	128,492人	事業費	6,600千円
事業概要	<p>施設型給付費の申請給付業務及び保育施設入所業務において、自治体側と保育施設側とで一括管理できる共通システムを導入し、給付管理業務等にかかる業務時間を削減することにより、職員が子どもと向き合う時間を確保し、保育サービスの充実を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【教育・保育給付費等業務管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウド上で自治体と保育施設がデータを共有し、電子的に申請・承認ができる。 入所に関わる保育時間や年齢、保育料などの情報を共有でき、入所承諾通知や保育料決定通知も、システム上で施設ごとに電子的な共有が可能となる。 公定価格等の変更に迅速に対応。 	<p>The diagram illustrates a cloud-based data sharing system. On the left, a box labeled '自治体' (Municipality) shows a person at a computer. Below it, a box lists tasks: 'お知らせ・通知' (Notice), '審査・確認' (Review/Confirmation), and '差戻・承認' (Return/Approval). On the right, a box labeled '保育施設' (Childcare Facility) shows a person at a laptop. Below it, a box lists tasks: '園情報登録' (Garden Information Registration) and '補助金申請' (Subsidy Application). In the center, a cloud contains a robot icon and the text 'データ共有' (Data Sharing). A blue arrow points from the municipality to the facility, and a red arrow points from the facility back to the municipality.</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①システム利用施設数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①給付業務にかかる作業時間の削減率</p> <p>②システム利用による保育施設の満足度</p>			

事業概要【保育所入所関連業務サービス向上事業】

自治体名	山口県宇部市	人口	158,611人	事業費	6,757千円
事業概要	<p>・保育所等の入所選考においては、業務が複雑で対応に時間がかかることから、希望園として申込みの数に制限がかかるほか、選定結果の通知に期間を要する状況となるなど、市民サービスの質の低下につながっている。</p> <p>・そこで、保育所入所の選考を、AIシステムで行うことで、より多くの希望園の登録を可能とし、かつ選考における省力化及び迅速化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p> <p>【保育所入所選考AIシステム導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の入所選考に係るAIシステムの導入 ・入所申込書類の様式変更（希望施設数の増） 	<pre> graph TD A[入所希望者] -- 提出 --> B[申込書類] B -- 取込 --> C[OCR] C --> D[AI] D -- 処理 --> E[〇〇保育園] D -- 処理 --> F[△△保育園] D -- 処理 --> G[保育園] D -- 処理 --> H[...] E -- 取込 --> I[基幹システム] F -- 取込 --> I G -- 取込 --> I H -- 取込 --> I I -- 結果通知 --> A </pre> <p>The diagram illustrates the workflow of the AI system. It starts with an applicant (入所希望者) submitting application documents (申込書類). These documents are scanned (取込) and processed by an OCR system. The data is then fed into an AI system (AI) for processing (処理). The AI system outputs results to various childcare facilities (〇〇保育園, △△保育園, 保育園, ...). These results are then imported (取込) into a core system (基幹システム), which finally sends result notifications (結果通知) back to the applicant.</p>				
<p>主なKPI</p> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育所入所選考AIシステム利用回数 ②オペレーションチェック会議の開催 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①選考期間（1次） ②窓口の滞留時間（期間最大） ③申込時に希望登録可能な施設数 				

事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル受診票を活用した幼児健診DX】

自治体名	山口県岩国市	人口	126,949人	事業費	9,546千円
事業概要	<p>妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用して、幼児健診の受診票や健診記録をデジタル化することで、保護者の受診票記入の手間・健診会場での健診業務の手間・市の事務作業の手間を改善し、3者にとって簡単・便利な幼児健診を実現する。</p> <p>現在、受診票記入項目は膨大で健診時にもかなりの時間が必要となり保護者や幼児にとってもかなりストレスのかかる状態である。デジタル化により自動入力等により記入の手間を削減、未入力項目チェック等で不備もなくなり会場でも確認時間が短縮でき、結果の母子手帳転記の手間も削減できることから時間短縮でき、結果の紛失などもなくなるため、健診時のストレスの削減が期待できる。</p>				
<p>【幼児健診DX】</p> <p>デジタル受診票の実装 住民～健診会場～市のデータ連携 →住民/健診会場/市の三方に下記メリットを創出</p> <p>【住民】 健診の受け忘れや記入漏れ・紛失リスクを削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリのお知らせで健診の受け忘れを防止 ・住民の基本情報はデジタル受診票へ自動記入 ・自動制御により問診票の記入漏れを防止 ・アプリなので紛失の心配が不要で、健診結果についてもアプリで自動保存 <p>【健診会場】 業務効率化により、問診や診察をより手厚く実施可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意すべき問診項目をハイライトで見やすく表示 ・標準値やカウブ指数等をシステムで自動計算し手間を削減 ・健診結果はシール印刷等で貼り付けるだけなので、記入の手間を削減 <p>【市】 業務効率化により、子育て世帯に対してきめ細かなサポートが可能に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診結果のデータ入力は、CSV出力して健康システムへアップロードするだけ ・健診会場からリアルタイムに情報が共有されるため、早期に保健師面談を実施でき、ハイリスク者・未受診者への対応も可能に <p>具体サービス</p>	<p>The diagram illustrates the data flow between three main entities: the Resident (【住民】母子モ), the City (【市】自治体ツール), and the Clinic (【健診会場】健診会場ツール). The Resident provides information to the City (情報提供 健診結果共有) and receives digital receipts and vaccination history (デジタル受診票 接種歴等の共有). The City provides information to the Clinic (情報提供 健診結果共有) and shares clinic results (健診結果共有). The Clinic shares results with the City (健診結果共有). Data is also shared between the City and the Health Management System (健康管理システム) via data input (データ投入).</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①母子手帳アプリ登録率 ②受診票のデジタル化率</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デジタル受診票の住民利用満足度 ②子育て支援策の利用満足度 ③デジタル受診票の健診従事者満足度</p>		

事業概要 【認定こども園ICT化推進事業】

自治体名	徳島県美馬市	人口	26,323人	事業費	9,840千円
事業概要	<p>認定こども園業務にICTを導入し、ICTにより得られる利便性及び限られた人材（保育教諭等）の業務時間を短縮することで子どもに関わる時間を増やし、きめ細やかな教育・保育を行い、保育の質の向上、子どもの安全面等に対する保護者の安心感の増加につなげる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【ICT環境の整備】 各部屋にICT環境を整備し、保育所業務支援システムの利用、児童票、指導計画等の書類作成事務のデジタル化を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市内認定こども園等（5園）各部屋にICT機器導入 • インターネット通信環境・Wi-Fiの整備 <p>【保育所業務支援システムの利用】 システムの利用により、保護者の利便性、安心感、満足度の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> • 園児の登降園管理 • 保護者との連絡 • 保育に関する日誌等の作成 • 園児に関する園内での情報共有 	 			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アプリ登録率 ② 園業務における電子化率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者アンケートによる満足度 			

事業概要 【公立保育所・こども園ICT化による保育環境・子育て環境向上事業】

自治体名	香川県坂出市	人口	48,749人	事業費	16,701千円
事業概要	<p>公立保育所・こども園5園へICTを活用した業務支援システムを導入することで、保護者はアプリ機能を使うことで確実な連絡手段の確保や都合の良い時間に連絡できるため保護者の負担が軽減される。また、保育所での様子等のおたより受信や保育所及び自治体からの緊急連絡が即時確認できることで保護者の安心と園児の安全につながる。さらに、絵本代等の集金に係る時間削減することで保護者・保育士双方の負担軽減に取り組むことでこどもと向き合う時間を増やす。これにより保育の質・安全性の向上を目指し、市として子育て環境を向上させる。</p>				
具体サービス	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもの登降園管理 保護者との連絡 保育に関する計画、記録 など <p>【集金業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実費徴収のキャッシュレス化 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="1135 472 1473 511">【保育所・こども園】</div> <div data-bbox="1769 472 1918 511">【保護者】</div> </div> <p>【システム】 登降園管理 計画・記録 請求・支払い 連絡</p> <p>スマホを通じていつでも・どこでも園とつながる。</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム利用率（保育業務支援システム） ②システム利用率（集金業務支援システム） ③保育所等からの情報発信件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育業務支援システムの利用満足度 ②集金業務支援システムの利用満足度 ③保育施設の定員充足率 ④保育士（正規職員）超過勤務の減少時間数 			

事業概要 【児童虐待相談対応体制強化事業（児相への音声認識システム導入）】

自治体名	愛媛県	人口	1,289,416人	事業費	24,998千円
事業概要	<p>児童虐待相談対応件数が増加し、事案内容も複雑・困難化する中、児童相談所に通話音声認識システムを導入し、上司が適時適切な指導・助言を行う体制を構築するとともに、記録作業等を効率化することにより、児童や家庭に対する相談等に迅速に対応するとともに、地域の関係機関との協議や調整に充てる時間を増やすことで、支援が必要な児童・家庭に対するきめ細かな援助を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【通話音声認識システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童福祉司の電話対応状況をリアルタイムでモニタリングし、対応状況や通話内容を把握 必要に応じてチャット機能でサポート・指示 キーワード登録によるガイダンスの自動表示による相談対応力の向上 <p>➔ 知識・経験不足による間違いやかけ直しを軽減し、電話対応品質の向上が図られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通話内容のテキスト化により、記録作業の省力化及び正確性が向上 <p>➔ 児童・家庭への援助や市町要保護児童対策協議会等の地域関係機関との連携等に充てる時間を確保し、きめ細かな支援を実現する。</p>		<p>通話内容をリアルタイムにテキスト化</p> <p>キーワードによるガイダンス表示</p> <p>上司等がリアルタイムでモニタリングし、適時に助言や指導、指示</p> <p>通話内容の文字データを記録作成時に利用</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記録作業の年間削減時間 ②システムを活用した電話対応件数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①職員一人当たりの年間相談対応件数 ②児童相談所関与ケースの死亡事例数 ③サービス利用満足度 		

事業概要 【母子健康手帳アプリの活用による子育て支援事業】

自治体名	愛媛県東温市	人口	33,170人	事業費	11,432千円
事業概要	<p>現在、本市の母子保健事業では、紙媒体を基本とした書類提出を求めており、住民の手続きに負担と記入誤りなどが発生している。また、手続き時での提出であるため、事前に内容が把握できず、対象者に応じた支援や相談が十分にできていない現状がある。母子健康手帳アプリの活用により、任意の時間帯での簡単かつ正確な手続きで来庁予約と必要書類の事前提出ができる環境を整備することにより、子育て世代の生活環境に合わせた質の高いサービスを提供するとともに、対象者のニーズやリスクを事前把握できること相談支援の充実と業務の効率化を図る。</p>				
具体サービス	<p>【子育てアプリサービス機能】 子どもの月齢に合わせた必要な情報を受け取ることができる。</p> <p>【オンライン予約サービス機能】 保護者はアプリを使うことで、任意の時間帯で予約・変更ができる。</p> <p>【質問票サービス機能】 保護者は、母子健康手帳交付の必要書類及び、母子保健事業のアンケートをオンラインで提出できる。 自治体は、事前に内容とリスクを把握し、必要な情報を伝えることができる。</p> <p>【乳幼児健診サービス機能】 保護者は、問診票をオンラインで提出できるため、仕事の合間や移動時間等に入力して提出することができる。 健診結果をその場で登録し家族で共有できる。</p>		<p>1 利用登録用QRコードを送付 市の子育て情報や事業をプッシュ型通知</p> <p>2 乳幼児健診問診票入力 アンケート入力・予約利用 健診ではQRコードを読み込んで問診票の入力・提出 妊娠届やアンケートを入力して提出 妊婦面談・健診・教室を予約</p> <p>3 【自治体】変換システム 個人情報管理番号へ変換 質問票や健診結果を取込</p> <p>健康管理システム</p> <p>データ移動</p> <p>【自治体】自治体ツール</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①母子健康手帳アプリ登録率 ②妊娠8か月アンケートの電子提出率 ③母子健康手帳交付の予約率 ④デジタル問診票の利用率</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①アプリ利用者の満足度 ②健診・相談の満足度</p>		

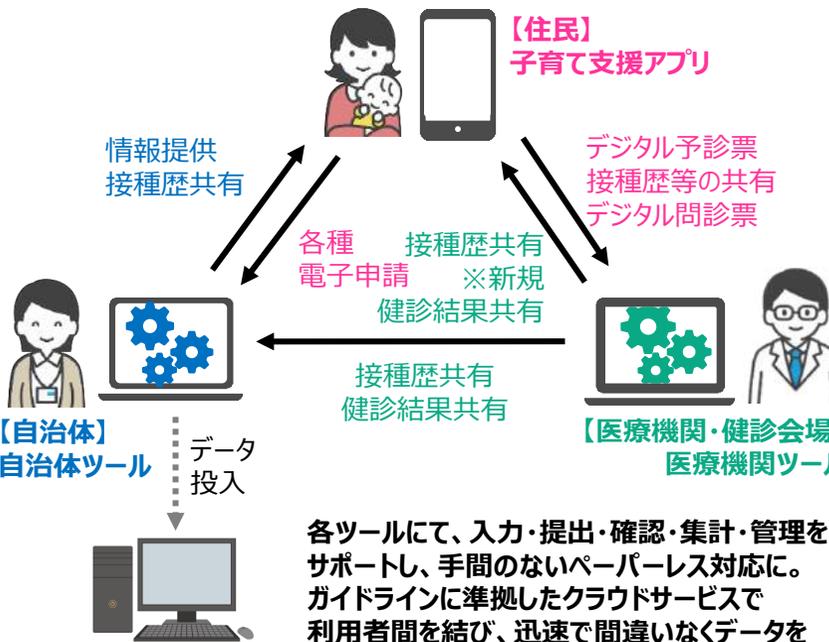
事業概要 【保育業務支援システム導入事業】

自治体名	愛媛県砥部町	人口	20,378人	事業費	6,325千円
事業概要	<p>町内の保育所等において、保護者が行う欠席・遅刻等の連絡や保育所からのお便りなどが、基本電話や紙で行われており、これらの対応に保護者・保育所双方で手間や時間がかかっていた。そこで、保育業務支援システムを導入することで、保護者と保育所間のやり取りをアプリで完結できるようになり、保護者の利便性の向上と、保育士の業務効率化を実現する。なお、効率化された時間を子どもに向き合う時間に充てることで「保育の質の向上」に繋げる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保育所からの連絡をアプリを通して、迅速・正確に受け取ることができる。 ● 園児の欠席や遅刻の連絡をアプリから行える。 ● 日々の連絡帳のやり取りをアプリで行える。 ● 園児の登降園管理を保護者のスマートフォンなどを活用して行える。 ● これまで紙で発行していた、帳票などを一元管理することで、業務効率化ができる。 ● アプリの活用により、家族間で子どもの情報を共有できる。 ● 園児の台帳をシステム管理することで、保育士間の情報共有をスムーズに行える。 		<p>【保育業務支援システム】</p>  <p>【Point01】 今までの手書き事務がなくなる</p> <p>【Point02】 自動集計・作成で事務処理時間が大幅に短縮</p> <p>【Point03】 登降園管理や保護者との連絡など便利な機能が利用可能</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①保護者のうちシステムを利用している人の割合</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保護者アンケートによる利用満足度</p>		

事業概要 【母子健康手帳アプリ及びデジタル予診票を活用した小児予防接種DX】

自治体名	福岡県直方市	人口	55,168人	事業費	7,545千円
事業概要	<p>乳幼児期の予防接種は種類が多く、接種間隔が複雑でスケジュール管理が保護者の負担となっていて、接種忘れや接種間隔の間違えなども心配される。妊娠・出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリを活用し、予防接種の予診票と接種記録をデジタル化することで、保護者の予防接種スケジュール管理や予診票記入の手間・医療機関・自治体の手間を削減するとともに、接種時期や接種間隔をシステムで自動制御することにより、簡単・便利で安心・安全な予防接種を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_小児予防接種DX】 デジタル予診票の実装 住民～医療機関～自治体のデータ連携 →住民/医療機関/自治体の3方に下記メリットを創出</p> <p>【住民】 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種スケジュールはアプリ上で個々に合わせて自動作成され、プッシュ通知により受け忘れを防止 ・ 住民の基本情報はデジタル予診票へ自動記入 ・ 同時接種の際は重複する内容を一括入力 ・ アプリなので紛失の心配がなく、機種変更時等も再ログインするだけ <p>【医療機関】 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予診票の重複内容や、公費期間の確認はシステムで一括チェック ・ システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止 ・ 予診票への記録は一括入力&自動記入 ・ 請求金額は自動計算&自動提出 <p>【自治体】 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック ・ システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減 ・ 健康システムへのデータ入力は、システムからCSV出力しアップロードするだけ 		<p>各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②予診票のデジタル化率 ③デジタル予診票へ対応する医療機関数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ・デジタル予診票の住民利用満足度 ②子育て支援施策の満足度 ③デジタル予診票の医療機関満足度 		

事業概要 【つながる子育てアプリあさくらっこ】

自治体名	福岡県朝倉市	人口	50,591人	事業費	15,600千円
事業概要	<p>一般家庭のスマートフォン等の情報通信機器の世帯保有率は9割を超えている。それに伴い、子育てに関する情報について、正確に素早く、簡単にアクセスでき、妊娠届出や乳幼児健診、予防接種等の様々な手続きをストレスなく行うことができる環境を整備することが求められている。当事業の実施により母子手帳アプリを住民提供し、必要な方へ必要な情報を提供し、自己管理をサポートする。また、妊娠届出等の手続・申請の電子化や、予防接種の予診票デジタル化、乳幼児健診の問診票デジタル化等も本アプリで実現し、現代社会に適合した母子保健・子育て支援の形を実現することにより、子育て家庭が楽しく安心して子育てできるまちづくりの推進をめざす。</p>				
具体サービス	<p>【母子手帳アプリ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【伴走型支援DX】 [住民] 事前提出や予約によって当日の手間や滞在時間を軽減 [自治体] 事前申請内容確認による面談質向上、滞在時間削減、データ投入によるデータ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p> <p>【小児予防接種DX】 [住民] 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減 [医療機関] 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化 [自治体] 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化 データ投入によるデータ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p> <p>【乳幼児健診DX】 [住民] 問診票記入の手間軽減や入力漏れ等の防止 [健診会場] 問診票確認サポートや入力漏れ等の防止 [自治体] データ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p>	 <p>【住民】子育て支援アプリ</p> <p>情報提供 接種歴共有</p> <p>デジタル予診票 接種歴等の共有 デジタル問診票</p> <p>各種電子申請 ※新規 接種歴共有 健診結果共有</p> <p>接種歴共有 健診結果共有</p> <p>【自治体】自治体ツール</p> <p>データ投入</p> <p>【医療機関・健診会場】医療機関ツール</p> <p>各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②デジタル申請の利用率 ③デジタル予診票・健診票の利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの住民利用満足度 ②デジタル申請の満足度 ③デジタル予診票・健診票の満足度 			

事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル受診票を活用した乳幼児健診・予約サービスDX】

自治体名	福岡県篠栗町	人口	31,133人	事業費	8,901千円
事業概要	<p>町の課題として、妊産婦や子育て世帯にタイムリーな情報提供ができない状況があること、乳幼児健診における業務量の増大が挙げられる。特に、乳幼児健診では保護者の受診票記入の負担や紙カルテ管理での発送・確認・入力など業務負担が生じている。そこで、妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用して、乳幼児健診の受診票や健診記録をデジタル化することで、保護者の受診票記入の手間・健診会場での健診業務の手間・自治体の事務作業の手間を改善し、3者にとって簡単・便利な乳幼児健診を実現する。また、予約サービスを連携し、子育て関連の事業を簡単・便利に活用できる体制を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="300 492 1067 1213" style="width: 48%;"> <p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_乳幼児健診DX】 デジタル受診票の実装 住民～医療機関～自治体のデータ連携 →住民/健診会場/自治体の3方に下記メリットを創出</p> <p>【住民】 健診の受け忘れや記入漏れ・紛失リスクを削減</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリのお知らせで健診の受け忘れを防止 • 住民の基本情報はデジタル受診票へ自動記入 • 自動制御により問診票の記入漏れを防止 • アプリなので紛失の心配が不要で、健診結果についてもアプリで自動保存 <p>【健診会場】 業務効率化により、問診や診察をより手厚く実施可能</p> <ul style="list-style-type: none"> • 注意すべき問診項目をハイライトで見やすく表示 • 標準地やカウブ指数等をシステムで自動計算し手間を削減 • 健診結果はシール印刷等で貼り付けるだけなので、記入の手間を削減 • 請求金額は自動計算され、クリックするだけで簡単に請求 <p>【自治体】 業務効率化により、子育て世帯に対してきめ細かなサポートが可能に</p> <ul style="list-style-type: none"> • 健診結果のデータ入力は、CSV出力して健康システムへアップロードするだけ • システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減 • 医療機関からリアルタイムに情報が共有されるため、早期に保健師面談を実施でき、ハイリスク者・未受診者への対応も可能に </div> <div data-bbox="1108 542 1947 1206" style="width: 48%; text-align: center;"> <p>The diagram illustrates the data flow and service integration. At the top, a resident uses the '母子モ' app. This app is linked to a '健診会場ツール' (Clinic Tool) and an '自治体ツール' (Municipality Tool). The '自治体ツール' is connected to a '健康管理システム' (Health Management System). Arrows indicate the following interactions: '予約利用' (Appointment Use) from the resident to the clinic; '情報提供 健診結果共有' (Information Provision and Health Check Result Sharing) from the clinic to the municipality; '健診結果共有' (Health Check Result Sharing) from the clinic to the health management system; and 'デジタル受診票 接種歴等の共有' (Digital Receipt and Vaccination History Sharing) from the municipality to the clinic. A 'データ投入' (Data Input) arrow points from the health management system to the municipality tool.</p> </div> </div>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②受診票のデジタル化率 ③オンライン予約率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て支援策の利用満足度 ②デジタル受診票の住民利用満足度 ③オンライン予約の利用満足度 			

事業概要 【学校等・保護者間連絡用ICTサービス導入事業】

自治体名	福岡県添田町	人口	8,531人	事業費	2,414千円
事業概要	<p>町内の保育園や小学校、中学校、放課後児童クラブ等に連絡ツールシステムを導入することで、教員等と保護者が迅速に情報共有ができる環境を構築する。なお、保育園から中学校まで一貫したシステムを利用することで保護者の利便性を図る。また、児童の登降園（入退室）や職員の出退勤を同システムで管理することで、児童の安心安全を確保するとともに事務の効率化を図り、子どもたちに向き合う時間を確保する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【基本システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アプリへのお知らせ一斉配信 ・アンケート配信、自動集計 ・欠席、遅刻連絡 ・連絡帳 ・写真共有、販売 ・園児、児童台帳 ・行事予定管理 ・ファイル共有、施設内連絡 <p>【バス運行管理サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンのGPS機能によるバス位置情報 <p>【登降園・出退勤管理サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の入退室時間や職員の出退勤時間の管理 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者連絡アプリのユーザー登録者数 ②アプリを利用して施設から保護者への連絡件数 ③欠席連絡におけるアプリの利用割合 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者連絡アプリのサービス満足度 		

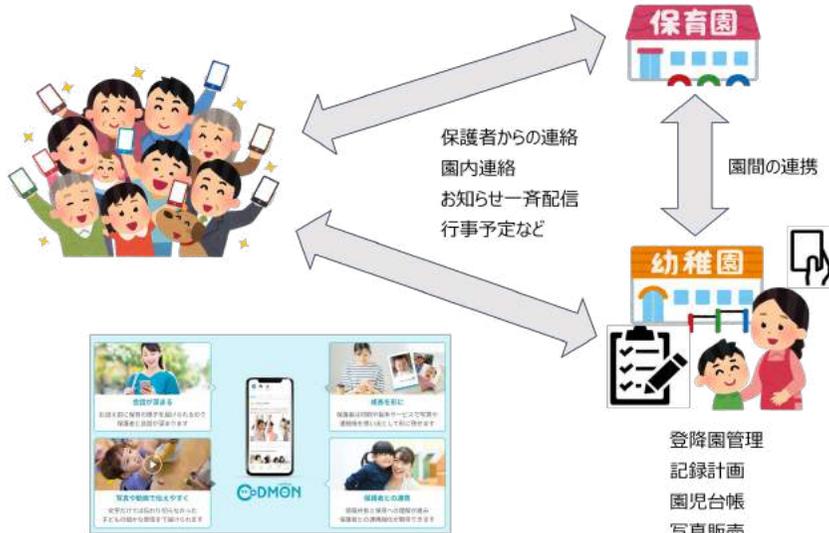
事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した伴走型相談支援サービス】

自治体名	佐賀県唐津市	人口	115,620人	事業費	4,217千円
事業概要	<p>電子母子手帳（H30導入済み）に、妊娠から出産・子育てを支援する機能を追加して、伴走型相談支援における「面談業務のデジタル化」と「面談のオンライン予約」を実現し、住民は24時間いつでも事前申請面談の予約ができ、事前回答により、当日の待ち時間が短縮し、唐津市は、申請内容の事前把握により、業務内容の調整や健康管理システムと連携したデータ管理により、業務の効率化を行う。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】（H30導入済み） 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信 《新規》</p> <p>【子育てDX_伴走型相談支援サービス】 アプリ上での届出/アンケート等の提出、および面談の予約 自治体側での届出/アンケート/予約のデータ管理</p> <div data-bbox="300 778 1077 928" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p>保護者 </p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも簡単に申請でき、アンケート/問診票の手書きの手間も不要に 事前回答により、当日の待ち時間短縮につながり、負担を軽減 </div> <div data-bbox="300 935 1077 1156" style="background-color: #e0f0ff; padding: 5px;"> <p>自治体 </p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートや問診票等を事前に取得できるため、回答内容をもとに事前準備・業務調整ができ、当日の対応時間も短縮 データを出力し健康管理システムに投入できるため、入力作業の工数/ミス削減 予め指定した帳票に印刷でき、PCのない会場・窓口での運用にも対応可能 </div>	<div data-bbox="1129 464 1916 506" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 案内・登録 事前申請 </div> <div data-bbox="1129 514 1916 792"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科で案内を受けてアプリに登録 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上での事前申請＆面談日時を予約 </div> </div> </div> <div data-bbox="1129 821 1958 863" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 面談実施 面談後 </div> <div data-bbox="1129 871 1958 1156"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 事前申請した内容をもとに面談実施。 利用者目線では待ち時間がなく、スムーズに面談が可能。 自治体目線では、事前の申請内容をもとに業務調整や準備ができ、業務を効率化 </div> <div style="text-align: center;">  <p>データ投入</p> <ul style="list-style-type: none"> データを健康管理システムに投入でき、入力作業の手間を大きく削減 指定した様式での帳票印刷も可能 </div> </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①母子手帳アプリ登録率 90%</p> <p>②オンライン申請率 50%</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①母子手帳アプリの利用満足度 50%</p> <p>②オンライン申請の利用満足度 50%</p> <p>③子育て支援策の利用満足度 50%</p>			

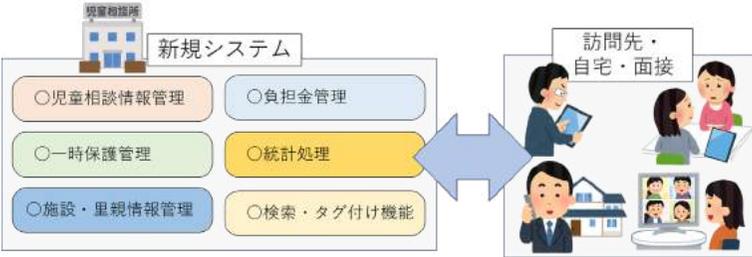
事業概要 【神崎市公立保育園ICT導入事業】

自治体名	佐賀県神崎市	人口	30,443人	事業費	5,834千円
事業概要	<p>神崎市の公立保育園では、園児の登降園の管理や保育の記録を職員の手書きにより行っており、安全管理上のリスクや職員の業務効率化の面で課題がある。また、保護者の満足度や園への信頼感を向上させるために、保護者への連絡体制の改善が必要である。保育園ICTのツール導入を通じて、保護者とのコミュニケーションの改善、及び職員の業務負担を軽減することで、より質の高い保育環境を実現し、保護者満足度の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【保育園業務アプリの開発・導入】 - 保護者が保育園からの連絡事項やお知らせを受け取ることができる - 園児の登降園の記録がデジタルで管理でき、職員間で共有できる - 保育に関する計画・記録をデジタル化により効率的に行うことができる - 保護者からの質問や相談を効率的に受け付けることができる 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育園へのアプリ利用登録者数 ② 保育園と保護者のコミュニケーション頻度 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護者満足度調査結果 ② 保護者への情報発信の迅速化 ③ 登降園の管理による事故防止 		

事業概要 【幼稚園教育現場のICT化による子育て支援サービスの充実】

自治体名	佐賀県吉野ヶ里町	人口	16,176人	事業費	2,294千円
事業概要	<p>公立幼稚園に保育業務支援システムを導入し、これまで紙で行っていたお便り等の電子データ配信や保護者との連絡方法をデジタル化することで保護者の利便性向上を図る。また、登降園時の多角的な安全管理と、導入により生み出された時間の有効活用により、より一層、きめ細やかな保育と幼保連携を深め、保育の質の向上による保護者の満足度向上に繋げるという将来像を描いている。</p>				
<p>具体サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆園児の登降園管理 <ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi環境を整備し、二次元バーコード読み取りにより出席簿が自動的に作成でき、職員がPC（タブレット）により保育室や職員室において広範囲の中で、瞬時に園児の出欠状況や保護者からの連絡等について確認することで、子どもの安全対策に資することが可能 ◆保育に関する計画・記録 <ul style="list-style-type: none"> • これまで手書きだった保育事務をシステム化することにより、事務時間の減少と職員間の情報共有化に伴う保育・教育の質の向上が可能。 ◆保護者との連絡 <ul style="list-style-type: none"> • 連絡帳アプリの活用により、お便り等の電子配信や子どもの様子の情報共有が瞬時に可能になるなど、保護者の利便性向上が可能。 		 <p>保育業務支援システム</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アプリ登録率 ②欠席連絡におけるアプリ利用割合 ③幼稚園から保護者への情報発信数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる満足度 		

事業概要 【児童相談所等システム導入事業】

自治体名	長崎県	人口	1,265,037人	事業費	31,888千円
事業概要	<p>本県の児童相談所が扱う児童虐待件数は昨年度過去最多となっており、業務量が大幅に増加している。新規システムを導入し、記録や会議資料にかかる時間を短縮することで、相談者や関係機関への支援や助言にかかる時間が増え、よりきめ細やかな支援を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>新たにパッケージ化されている児童相談所等業務支援システムを導入することで、統計業務、児童相談記録、一時保護所記録等を一元的に管理し、情報共有を円滑に行う。また、会議資料や面接記録の入力作業を削減する。</p> <p>【児童相談所等業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童相談所等業務支援システムの導入 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①相談記録の入力業務の削減（件） ②一時保護にかかる会議の時間（分） ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童相談所職員の業務負担減と感じた割合（％） ②児童・保護者との面接回数の増加（％） ③ 		

事業概要 【教育・保育給付事業】

自治体名	長崎県大村市	人口	98,658人 (R5年12月末)	事業費	8,283千円
事業概要	<p>現状は、各施設の給付費の請求申請から支払い、各種加算の申請から認定等、施設と本市の双方で事務負担が増えている。給付管理システムを導入することで、給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データを一括管理することで、施設と本市の業務負担の軽減を図る。このように事務環境を改善することによって、施設環境の向上、保育士の採用の増加及び待機児童状況の改善につながり、結果として、子ども、保護者に対しての裨益効果が期待できる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="290 458 1098 1218" style="width: 45%;"> <p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 </div> <div data-bbox="1098 458 1989 1218" style="width: 50%;"> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設職員の業務従事時間数 市職員の業務従事時間 委託費等の受給額 </div> </div>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設からの給付申請の差戻率 				

事業概要 【保育所関連業務改善支援システム導入事業】

自治体名	熊本県玉名市	人口	63,550人	事業費	17,396千円
事業概要	<p>市民が保育所等への入所を希望する際に、AIを活用した入所調整により市民への結果通知を早期化する事で円滑な就労復帰を行うための「時間的余裕」を提供する。また、クラウドシステムによる施設給付業務のデジタル化により、私立の保育所等の事務の効率化と負担軽減によって確保された時間をコロナ禍で減少した保護者との対話に費やし、市民が安心して保育所に預けられる環境を構築する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【保育所関連業務改善支援システム】</p> <p>(1)AI入所調整マッチングシステム</p> <ol style="list-style-type: none"> ①AIによるマッチングで決定通知の送付までに掛かる時間を短縮する ②入所決定通知の早期化で、就労復帰までに入所予定園への相談や就労復帰までの準備に係る時間的余裕を市民に提供する ③保育所等への入所予定者の情報提供を早期化（システムから各園への情報提供資料も作成可能） <p>(2)給付金支援システム</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保育所等の園児数や職員配置情報を共有 ②保育所等が請求する内容をシステムで自動計算 ③給付費請求までのワンストップ化を図る（保育所等の事務負担軽減） ④時間的な余裕をコロナ禍で減少した保護者との対話に費やす。 		<p>(1)AI入所調整マッチングシステム</p> <p>【効果】 4月の就労復帰までに時間的な余裕</p> <p>(2)給付金支援システム</p> <p>私立保育所等が申請書・請求書を自力で作成</p> <p>情報共有とシステムにより、申請書・請求書の作成をサポート</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①入所決定通知の早期化 ②給付金支援システムの利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①通知までの期間に対する保護者の満足度 ②システムの満足度（保育所等） ③保育士の増加 		

事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した伴走型相談支援サービス】

自治体名	熊本県合志市	人口	64,701人	事業費	2,605千円
事業概要	<p>従来から行っているホームページや広報誌ではタイムリーな情報更新ができず、手続きは紙による窓口申請となっている。子育て世帯のニーズに即した施策を提供し、妊娠・子育てに関する不安や孤独感の解消、負担の軽減を図るため、妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリを活用して、伴走型相談支援における「面談業務のデジタル化」を実現し、利用者・自治体ともに負担なく、効率的な実施を可能にする。利用者目線では、24時間いつでも事前申請ができ、事前回答により当日の待ち時間も短縮。自治体目線では、申請内容の事前把握による業務調整や、健康管理システムと連携したデータ管理により作業工数を削減し、業務を効率化する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子健康手帳アプリ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_伴走型相談支援サービス】 アプリ上での届出/アンケート等の提出等 自治体側での届出・アンケート等のデータ管理</p> <div data-bbox="292 811 1087 878" style="background-color: #f0e6ff; padding: 5px;"> <p>保護者 </p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも簡単に申請でき、アンケート/問診票の手書きの手間も不要に 事前回答により、当日の待ち時間短縮につながり、負担を軽減 </div> <div data-bbox="292 968 1087 1196" style="background-color: #e6f0ff; padding: 5px;"> <p>自治体 </p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートや問診票等を事前に取得できるため、回答内容をもとに事前準備・業務調整ができ、当日の対応時間も短縮 データを出力し健康管理システムに投入できるため、入力作業の工数/ミス削減 予め指定した帳票に印刷でき、PCのない会場・窓口での運用にも対応可能 </div>	<div data-bbox="1127 462 1964 511" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>案内・登録 ➤ 事前申請</p> </div> <div data-bbox="1127 518 1964 796" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="1127 518 1450 796" style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科で案内を受けてアプリに登録 </div> <div data-bbox="1450 518 1964 796" style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上での事前申請&面談日時を予約 </div> </div> <div data-bbox="1127 825 1964 873" style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>面談実施 ➤ 面談後</p> </div> <div data-bbox="1127 881 1964 1196" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="1127 881 1522 1196" style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 事前申請した内容をもとに面談実施。 利用者目線では待ち時間がなく、スムーズに面談が可能。 自治体目線では、事前の申請内容をもとに業務調整や準備ができ、業務を効率化 </div> <div data-bbox="1522 881 1964 1196" style="text-align: center;">  <p>データ投入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">健康管理システム</div> <ul style="list-style-type: none"> データを健康管理システムに投入でき、入力作業の手間を大きく削減 指定した様式での帳票印刷も可能 </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①母子健康手帳アプリ登録率 ②オンライン申請率</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①母子健康手帳アプリの利用満足度 ②オンライン申請の利用満足度</p>			

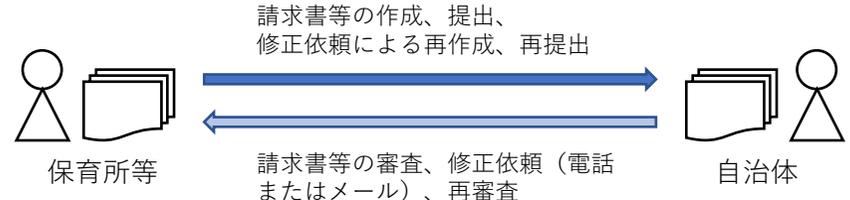
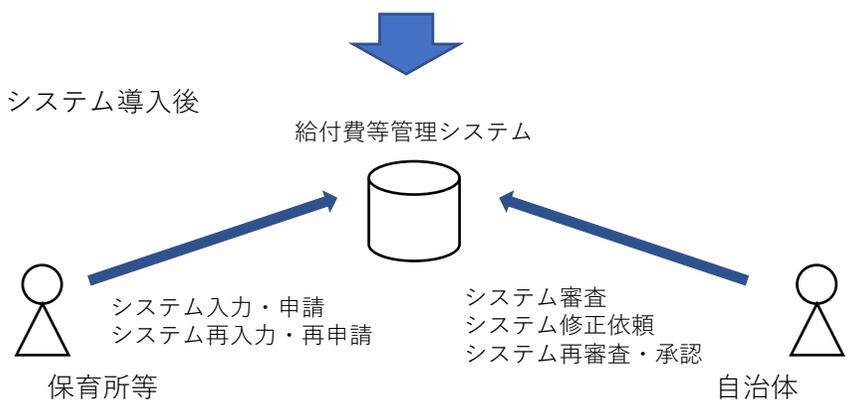
事業概要 【公立保育所ICT導入事業】

自治体名	熊本県南小国町	人口	3,860人	事業費	3,690千円
事業概要	<p>町内保育所（3か所）において、現状、紙や電話での伝達・共有が中心であるため、情報伝達の場面が限定的となっている。全保育所にICTシステムを導入することで、園への連絡等に関する保護者の負担軽減や利便性向上を図る。それにより、保育現場での業務負担が軽減され、保育士が子どもと向き合う時間がより確保できるようになり、保育の質及び保育に対する保護者の満足度向上につながる。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親以外の送迎であっても、タブレットの画面タッチで時間をデータ管理し、保護者・保育士双方で園児の登降園状況を把握できる。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働きの保護者にとって、紙や電話等、情報伝達の場面が限定的であることは現状とても不便であるが、アプリを活用することで自分のタイミングで欠席、預かり時間の変更などの連絡を行うことができる。 ・園児に関する連絡事項についても、保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。 ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信することで、迅速に情報伝達ができる。 <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、保育士が手書きで行っている児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等の事務が、データ連携により転記作業が省力化され、保育士の業務負担軽減につながる。 ・現状、紙・口頭で共有している園児・保育情報がデジタル化されることで職員間で共有可能となり、全員が素早く共通認識を持つことができることで、業務負担軽減にもつながる。 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者のシステム導入件数 ②アプリを活用したお便り等の通知数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者アンケートによる利用満足度 		

事業概要 【たかもりっこアプリ（母子健康手帳アプリ『母子モ』）DX化】

自治体名	熊本県高森町	人口	5,935人	事業費	3,812千円
事業概要	<p>妊娠から出産・子育てを支援するたかもりっこアプリ（母子健康手帳アプリ『母子モ』）を活用して、伴走型相談支援における「電子申請」と「面談のオンライン予約」を実現し、利用者・自治体ともに負担なく、効率的な実施を可能にする。</p> <p>利用者目線では、24時間いつでも電子申請や面談の予約ができ、事前回答により当日の待ち時間も短縮。自治体目線では、申請内容の事前把握による業務調整や電子申請化により業務を効率化する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【子育てDX_伴走型相談支援サービス】 アプリ上での届出/アンケート等の提出、および面談の予約 自治体側での届出/アンケート/予約のデータ管理</p> <div data-bbox="306 782 1094 925" style="background-color: #fce4ec; padding: 5px;"> <p>保護者 </p> <ul style="list-style-type: none"> 24時間いつでも簡単に申請でき、アンケート/問診票の手書きの手間も不要に 事前回答により、当日の待ち時間短縮につながり、負担を軽減 </div> <div data-bbox="306 939 1094 1160" style="background-color: #e1f5fe; padding: 5px;"> <p>自治体 </p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートや問診票等を事前に取得できるため、回答内容をもとに事前準備・業務調整ができ、当日の対応時間も短縮 電子申請化により窓口対応時間が削減し、業務の効率化つながる 予め指定した帳票に印刷でき、PCのない会場・窓口での運用にも対応可能 </div>	<div data-bbox="1131 465 1918 508" style="background-color: #424242; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>案内・登録 ➤ 事前申請</p> </div> <div data-bbox="1131 522 1918 793" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 産婦人科で案内を受けてアプリに登録 </div> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> アプリに自治体からの案内が届き、好きなタイミングでアプリ上での事前申請&面談日時を予約 </div> </div> <div data-bbox="1131 822 1918 865" style="background-color: #424242; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p>面談実施 ➤ 面談後</p> </div> <div data-bbox="1131 879 1918 1179" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <ul style="list-style-type: none"> 事前申請した内容をもとに面談実施。 利用者目線では待ち時間がなく、スムーズに面談が可能。 自治体目線では、事前の申請内容をもとに業務調整や準備ができ、業務を効率化 </div> <div style="text-align: center;">  <p>データ印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定した様式での帳票印刷が可能 紙での申請と同じように処理が可能 </div> </div>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリ登録率 オンライン申請率 予約サービス利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリの利用満足度 オンライン申請の利用満足度 			

事業概要 【保育所等における業務効率化推進事業】

自治体名	大分県日田市	人口	61,148人	事業費	5,390千円
事業概要	私立認可保育施設等の業務負担を軽減し、その時間を本来の教育・保育の質の向上に充てるため、本市と各施設と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理をクラウド型システムを導入してデジタル化するもの。				
具体サービス	<p>【給付費等管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 施設の職員配置状況管理 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 既存システムとのCSVデータ連携 実績データの外部出力機能 一時預かり、延長保育の人数報告 	<p>システム導入前</p>  <p>システム導入後</p> 			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①給付費等管理システムを用いた申請件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①保育士が保育に充てる時間の増加率</p> <p>②給付費等管理システムのサービス満足度</p>			

事業概要 【 公立保育所ICT化による保育環境・子育て環境向上事業 】

自治体名	宮崎県都農町	人口	10,154人	事業費	4,636千円
事業概要	<p>町内の公立保育所では、保護者とのやり取りを電話や紙で行っており、保護者にとって情報の発信・受信できる場面が限定的なものとなっている。また保育士の業務についても、指導案や日誌等の書類作成、連絡帳などの手書き業務等、事務作業も多く、超過勤務の増加に繋がっている。そこで、公立保育所にICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードによる画面タッチで、時間をデータ管理。 <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡） ・園児に関する連絡事項について保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は電話もしくは登園時、降園時の口頭伝達） ・緊急連絡やお便りをアプリにて配信（現在は紙、もしくは電話での連絡） <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <p>児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。（現在は紙・口頭での共有）</p>				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育所から保護者への情報発信数 ② アプリのダウンロード数 ③ 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① システム利用満足度（保育サービスに対する満足度） ② 保育士（正規職員）の超過勤務の減少時間数 ③ 		

事業概要 【給付費等申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	鹿児島県鹿児島市	人口	586,496人	事業費	3,813千円
事業概要	<p>本市では令和4年4月の待機児童数が全国ワーストワンであり、待機児童解消のためにはそもそもの保育の受け皿である保育士の確保が急務であるが、アンケートによると退職理由の2位に事務負担が挙げられており、保育士確保のためにも退職者を減らす取り組みとして、施設の事務負担の軽減を図る。なお、令和5年度に導入した教育・保育施設の給付費等の申請に係るクラウドシステムで一定の効果が期待できるため、新たに施設等利用給付費等事業に係る申請業務機能を加えることで、さらなる利便性の向上及び施設と市双方の業務負担軽減を図るもの。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育 <p>令和5年度導入済</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設等利用給付費等事業 令和6年度導入事業 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 活用施設数 給付申請の差戻率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> システムの満足度 待機児童の人数 業務従事時間数 			

事業概要 【保育運営費申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	鹿児島県出水市	人口	51,846人	事業費	8,767千円
事業概要	<p>各施設と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データの一括管理をすることで、施設と本市の業務負担を軽減し、もって保育サービスの充実を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の運営費申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の必要配置職員数の管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育事業申請 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①活用施設数 ②対応申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システムの満足度 ②施設職員の業務従事時間数 ③本市職員の業務従事時間数 			

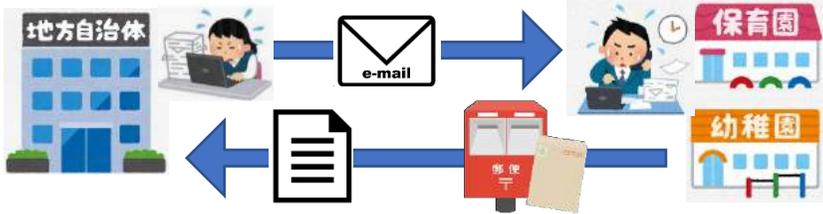
事業概要 【給付費等申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	鹿児島県霧島市	人口	124,075人	事業費	11,659千円
事業概要	各施設と個別のメールや郵送等で行っている教育・保育施設の給付費等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムでデジタル化し、データを一括管理することで、施設の業務負担の軽減を図り、保育士の採用、待機児童状況の改善に繋げる。これにより、働きたいのに働けない保護者の減少に繋がる。				
具体サービス	<p>【給付費等申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育、病児保育の人数報告 	<p>園児・職員情報 配置情報 加算申請</p> <p>エラーチェック 給付費計算 データ管理</p> <p>申請管理 承認・差戻 データ突合</p>			
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 活用施設数 給付費申請件数 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 園児や保護者と接する時間 潜在的待機児童の数 			

事業概要【SBS推進事業（安心子育て環境構築）】

自治体名	鹿児島県志布志市	人口	29,213人	事業費	8,571千円
事業概要	<p>人口減少が進む一方、本市においても2つある小児科医のうち1つが閉設され、子どもの医療・福祉体制不足が深刻な状況となっている。デジタル技術を活用して、安心して出産や子育てができる環境を構築することで医療環境に不安を抱く子育て世代の不安軽減に努め、年少人口の減少抑止を図るとともに、市民の利便性向上を図る。</p>				
具体サービス	<p>市民、事業者、行政が一つの輪となって、誰でも「簡単（Simple）」で、「最良（Best）」のサービスとなるよう協働で取り組み、様々な「相乗効果（Synergy）」を生み出すことに繋がる「志布志（SBS）」の姿勢を形成し、人も地域も輝くまちとなるよう「デジタルでつなぐ志（こころざし）」の輪を基本理念に基づいた取組となるよう構築する。</p> <p>【スマートナーシングルーム（可動型授乳室）】 デジタル技術を活用した可動型授乳室を公共施設等に整備し、子育てに優しい地域環境の整備促進と福祉サービスの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可動型授乳室の設置 ・デジタルサイネージによる子育て支援策等の情報発信強化 <p>【医療相談アプリ】 小児科と産婦人科をはじめ、子育て世帯がいつでもどこでも、気軽に医師と健康相談ができる環境を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日医療相談可能なスマホアプリ導入 		<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> <h3 style="text-align: center; color: green;">安心できる子育て環境の構築</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <h4 style="background-color: #FFD700; padding: 5px; text-align: center;">可動型授乳室</h4>  <ul style="list-style-type: none"> ●授乳からおむつ替えなどトータルナーシングに対応 ●デジタルサイネージによるピンポイントな情報発信 ●管理システムによる利用状況可視化 ●アラートシステムによる通知 </div> <div style="width: 45%;"> <h4 style="background-color: #4682B4; padding: 5px; text-align: center;">医療相談アプリ</h4>  <ul style="list-style-type: none"> ●チャットで24時間365日対応 ●医師から3分以内で返答 ●医療機関やドラッグストアをマップで表示 ●管理システムによる利用状況可視化 </div> </div> </div>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スマートナーシングルーム利用回数 ②医療相談アプリのダウンロード累計数 ③医療相談アプリの利用件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スマートナーシングルームの満足度 ②医療相談アプリの満足度 		

事業概要 【給付費等管理システム 導入事業】

自治体名	鹿児島県さつま町	人口	18,732人	事業費	3,538千円
事業概要	<p>保育所等の人材不足により、入所手続き等における事務的・時間的負担が増加。また、選考時の複雑な事務手続きの正確性確保と保護者へ選考結果通知書の早期発送が求められている。</p> <p>保育所等の申請、算定等に係る事務処理を、クラウドシステムにてデジタル化し、データの一括管理を行うことで各施設の事務負担の軽減と事務の効率化を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力 施設の職員等配置状況管理 既存基幹系システムとのCSVデータ連携 途中入退所、給付費差額計算等処理 一時預かり、延長保育等保育13事業の各種申請書作成 		<p>導入前 各種データを一般のメールにて送付 施設は受信後、データ入力、印刷等を行い郵送</p>  <p>導入後 各種データは閉塞されたクラウドにデータ保存 役所・施設はシステム内で確認し請求等を行う</p> 		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 活用施設数 申請件数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設職員のシステムの満足度 施設職員の業務従事時間数 		

事業概要 【こども家庭センター等相談業務DX事業】

自治体名	沖縄県那覇市	人口	315,603人	事業費	29,377千円
事業概要	<p>日々寄せられる児童等に関する電話相談について、AI音声認識サービスの活用により相談対応品質のばらつきを解消し、市民が安心して相談できる環境を整える。また、相談記録作成時間が短縮されることで、次に控える相談への迅速対応が可能になり、より多くの市民相談に対応するほか、相談記録作成時間の短縮により生み出された時間を地域における子育て支援の充実強化に充てる。オンライン相談システムの活用では、里帰り出産等により訪問が難しい妊産婦にも対面に近い相談を実施することで、子育て相談等における市民満足度の向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【AI音声認識サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通話内容をリアルタイムで管理者と共有することで、問題を早期に発見し可視化する。 通話内容から関連資料を自動表示することで、相談員の対応レベルを均一化する。 通話内容の録音・検索・再生することにより、相談内容を的確に捕捉する。 通話内容を自動的にテキスト化することで、対応記録作成時間を短縮する。 <p>【オンライン相談システム（ビデオ通話サービス）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 里帰り出産等で遠隔地にいる妊産婦とビデオ通話サービスの利用によりオンライン相談を実現する。 	<p>【AI音声認識サービス】</p>  <p>相談対応品質のばらつき解消や 通話記録作成時間の短縮を…</p> <p>…AIサービスで実現し地域 子育て支援等の充実強化へ</p> <p>【オンライン相談システム（ビデオ通話サービス）】</p>  <p>里帰り出産等で遠隔地にいる妊産婦も 安心して対面に近い相談ができるように</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①音声認識システムを活用し相談を受けた件数 ②相談記録作成時間の削減 ③オンライン相談の活用 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①子育て支援サービス利用者（申請者）数の増加 ②オンライン相談システム満足度 ③ 			

事業概要 【保育所入所受付等窓口改善事業】

自治体名	沖縄県浦添市	人口	115,579人	事業費	21,398千円
事業概要	<p>膨大な人的稼働を要している保育所入所選考事務において、RPAとAI-OCRを導入し業務の効率化を図り、『入所決定通知の早期発送や市民対応時間の拡大といった市民サービスの向上』を目指す。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>・現在は申請を紙と電子の両方で受付を行っている。紙で申請を受けた際は、記入内容を職員が入力を行っており、時間を要している。 また、紙・電子、両方ともに申請受付内容のチェックを実施する際に、現在は職員が目視にて記載誤り等が無いかを確認しているため多大な時間を要している。</p> <p>まずは、BPRを実施し、アナログを中心とした業務からの転換を実施。 加えて、AI-OCRによって、紙での入力内容を電子データ化し、RPAを活用してシステム入力や入力内容のチェックを自動化することで、入所受付審査業務の効率化を実現し、入所決定通知の早期発出や、市民対応時間の拡大を目指す。</p>	<p>紙申請 電子申請</p> <p>赤枠・赤字 : 改善範囲・対象</p> <p>紙申請 電子申請</p> <p>保護者からの保育所入所申し込み</p> <p>紙申請 電子申請</p> <p>職員 電子申請システム</p> <p>手動入力 自動入力</p> <p>子育て支援システム</p> <p>データ出力・紙の印刷</p> <p>職員チェック 目視</p> <p>データ入力 マクロ</p> <p>AI-OCR RPA 活用範囲</p> <p>保育所判定AI</p> <p>通知書発送</p> <p>BPR 対象範囲</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①AI-OCR処理件数</p> <p>②RPA処理件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①入所決定通知発送時期に対する保護者の満足度</p> <p>②入所決定通知発送時期</p>			

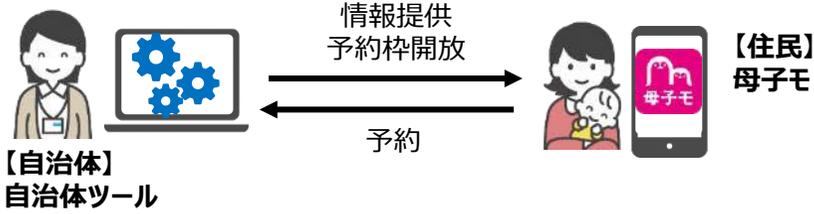
事業概要 【母子健康手帳アプリのデジタル予診票を活用した小児予防接種DX】

自治体名	沖縄県糸満市	人口	62,603人	事業費	9,469千円
事業概要	妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用して、予防接種の予診票と接種記録をデジタル化することで、保護者の予防接種スケジュール管理や予診票記入の手間・医療機関、自治体の手間を削減するとともに、接種時期や接種間隔をシステムで自動制御することにより、簡単・便利で安心・安全な予防接種を実現する。				
具体サービス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【母子手帳アプリ_母子モ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信 <p>【子育てDX_小児予防接種DX】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル予診票の実装 住民～医療機関～自治体のデータ連携 →住民/医療機関/自治体の3方に下記メリットを創出 <p>【住民】 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種スケジュールはアプリ上で個々に合わせて自動作成され、プッシュ通知により受け忘れを防止 住民の基本情報はデジタル予診票へ自動記入 同時接種の際は重複する内容を一括入力 アプリなので紛失の心配がなく、機種変更時等も再ログインするだけ <p>【医療機関】 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 予診票の重複内容や、公費期間の確認はシステムで一括チェック システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止 予診票への記録は一括入力&自動記入 請求金額は自動計算&自動提出 <p>【自治体】 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減 健康システムへのデータ入力は、システムからCSV出力しアップロードするだけ </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p> 情報提供 接種歴共有 デジタル予診票 接種歴等の共有 新規の 接種歴共有 接種歴共有 データ投入 健康管理システム </p> <p> 【住民】 母子モ 【自治体】 自治体ツール 【医療機関】 医療機関ツール </p> <p> 各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。 </p> </div> </div>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 母子手帳アプリ登録率 予診票のデジタル化率 デジタル予診票へ対応する医療機関数 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタル予診票の住民利用満足度 デジタル予診票の医療機関満足度 		

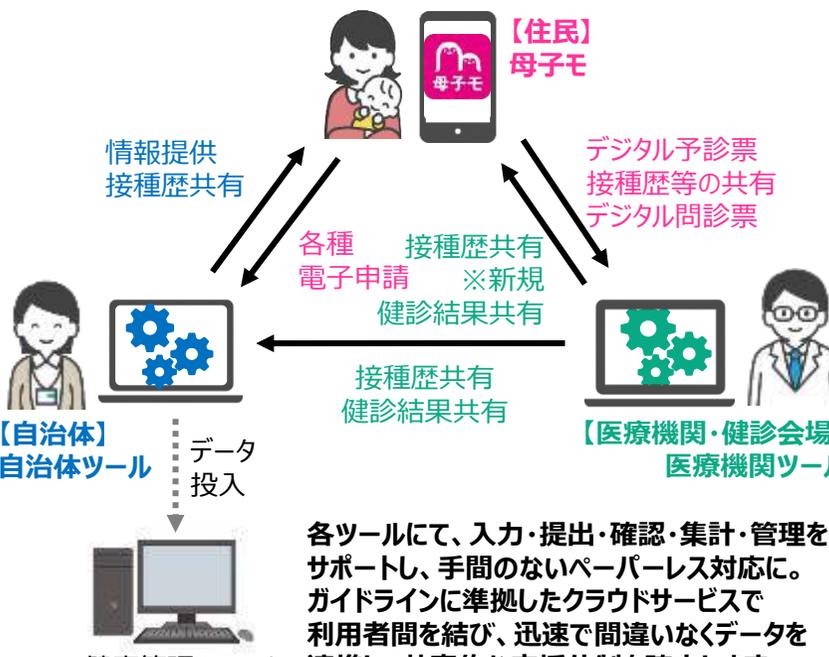
事業概要 【給付費等申請クラウドシステム導入事業】

自治体名	沖縄県沖縄市	人口	142,248人	事業費	33,000千円
事業概要	<p>現在、民間保育所等は運営に必要な毎月の給付費等を受け取るため、市への申請事務に多大な時間と労力を要している。クラウド上で市と民間保育所等がデータを共有し、申請・承認ができる「給付費等申請クラウドシステム」を導入し、煩雑な事務作業時間を短縮する。それにより、保育士等が保育に注力できる職場環境を整え、子どもたちを健全に育成するための保育の質の維持・向上を図る。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【給付費等申請クラウドシステム】 民間保育所等と市が、共通の画面を用いて給付申請事務を行う。複数ある申請事務をひとまとめにして事務が可能。→ 事務に係る作業時間が削減</p> <p>加算シミュレーション機能により保育士配置等による給付費の試算が可能 → 民間保育所等が今後の運営方針を正確に検討することが可能</p> <p>※クラウド上で行う業務（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育施設の給付費等申請、請求書発行 実績データの外部出力機能 施設の配置状況管理 既存保育システムとのCSVデータ連携 途中入退所、差額計算、遡り一括処理機能 一時預かり、延長保育、病児保育の人数報告 				
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①給付費等申請クラウドシステムを利用する保育所等の数 ②施設からの給付申請の差戻率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①給付費等申請クラウドシステムの満足度 ②事務量の作業時間数の削減率 ③保護者の保育に対する満足度 		

事業概要 【母子手帳アプリを活用した子育て事業のDX】

自治体名	沖縄県宮古島市	人口	55,690人	事業費	1,798千円
事業概要	<p>妊娠から出産・子育てを支援する母子手帳アプリ『母子モ』を活用して、母子保健・子育て支援制度の情報を効率的に配信することで、予防接種のスケジュールをはじめとした自己管理のサポート体制を実現する。また、同アプリにおける予約サービスを活用し、様々な窓口対応や事業における住民の予約を受付できるようにし、利便性を向上する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ 母子モ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防接種管理機能で予防接種のスケジュールをサポートし、接種間違いや接種漏れを防止する。 ・適齢期における情報を母子モから効率的に配信し、必要な方へ必要な情報をタイムリーにお届けする。 ・各種記録機能をクラウド型で提供することで、より安全に情報の保護ができるようになる。 <p>【予約サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業において、予約枠を設定することで体制に準じた対応を実施することができる。 ・事前に予約を受けることで人員配置などが容易になり、より質の高い対応を実施できるようになる。 ・住民は24時間365日予約ができるようになり、混雑などを避け、待ち時間を軽減して対応を受けられるようになる。 	 <p>【自治体】自治体ツール</p> <p>情報提供 予約枠開放</p> <p>予約</p> <p>【住民】母子モ</p> <p>案内・登録</p> <p>事前予約</p> <p>アプリの登録勧奨と予約枠の開放</p> <p>ご自身の状態に合わせた適切な予約枠の案内 →予約期間内の自由な予約</p> <p>事業実施</p> <p>面談や健診、イベントなどの事業を実施 【自治体】突発対応が減り、計画的で質の高い対応を実施。 【住民】混雑を避け、滞在時間の短縮などの効果も。</p>			
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②予約サービス利用率 	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの住民利用満足度 ②予約サービスの利用満足度 			

事業概要 【母子手帳アプリ導入による子育てDX事業】

自治体名	沖縄県本部町	人口	12,974人	事業費	24,831千円
事業概要	<p>現在、母子保健・子育て支援の分野は紙ベースの情報管理となっており、アクセス性や管理の効率性の課題がある。妊娠届出等の手続・申請の電子化や、予防接種の予診票デジタル化、乳幼児健診の問診票デジタル化等を本アプリで実現する。親の記入・記録作業の手間が削減され、職員のデータ入力ミスと負担が軽減することが期待できる。特に本町では保健師が限られているため、効率化により重要業務に注力でき、母子保健サービスの質の向上につながる。この取り組みにより、現代社会に適した効率的でアクセスしやすい子育て支援を実現する。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【伴走型支援DX】 [住民] 事前提出や予約によって当日の手間や滞在時間を軽減 [自治体] 事前申請内容確認による面談質向上、滞在時間削減、データ投入によるデータ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p> <p>【子育てDX_小児予防接種DX】 [住民] 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減 [医療機関] 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化 [自治体] 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化 データ投入によるデータ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p> <p>【子育てDX_乳幼児健診DX】 [住民] 問診票記入の手間軽減や入力漏れ等の防止 [健診会場] 問診票確認サポートや入力漏れ等の防止 [自治体] データ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p>		 <p>各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリ登録率 ②デジタル申請の利用率 ③デジタル予診票・健診票の利用率 		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①母子手帳アプリの住民利用満足度 ②デジタル申請の満足度 ③デジタル予診票・健診票の満足度 		

事業概要 【母子健康手帳アプリを活用した子育てDX事業】

自治体名	沖縄県西原町	人口	35,634人	事業費	9,011千円
事業概要	<p>妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用し、母子保健事業に係る手続きの簡素化を行うとともに、各種記録をデジタル化することで、保護者の利便性の向上や自治体、医療機関の業務効率化を実現する。なお、本事業の背景として、つわり等の体調不良時に妊娠届等に時間がかかっていたことや予防接種スケジュールが複雑で分かりにくいという声があった。</p>				
<p>具体サービス</p>	<p>【母子手帳アプリ_母子モ】 母子手帳省令様式に応じた各種記録 子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信</p> <p>【伴走型支援DX】 [住民] 事前提出や予約によって当日の手間や滞在時間を軽減 [自治体] 事前申請内容確認による面談質向上、滞在時間削減、データ投入によるデータ化作業の手間削減とヒューマンエラー防止</p> <p>【子育てDX_小児予防接種DX】 [住民] 接種スケジュールの管理調整・予診票記入の手間の削減 ・住民の基本情報はデジタル予診票へ自動記入 ・同時接種の際は重複する内容を一括入力 ・アプリなので紛失の心配がなく、機種変更時等も再ログインするだけ [医療機関] 予診票確認・接種間隔チェック・請求処理の効率化 ・予診票の重複内容や、公費期間の確認はシステムで一括チェック ・システムによる自動確認で、手間なく正確に接種間違い防止 ・予診票への記録は一括入力 & 自動記入 [自治体] 予診票や請求書の確認・データ入力作業の効率化 ・全接種結果の「接種間違い」や「公費期間」の確認は、医療機関での接種時にシステムで自動チェック ・システムで自動計算された間違いのない請求書が届き、確認の手間を軽減 ・健康システムへのデータ入力は、システムからCSV出力しアップロード</p>		<p>【住民】母子モ</p> <p>【自治体】自治体ツール</p> <p>【医療機関】医療機関ツール</p> <p>健康管理システム</p> <p>情報提供 接種歴共有</p> <p>各種電子申請</p> <p>接種歴共有 ※新規</p> <p>デジタル予診票 接種歴等の共有</p> <p>接種歴共有</p> <p>データ投入</p> <p>【RPA】データ投入はRPAで対応</p> <p>各ツールにて、入力・提出・確認・集計・管理をサポートし、手間のないペーパーレス対応に。ガイドラインに準拠したクラウドサービスで利用者間を結び、迅速で間違いなくデータを連携し、効率的な支援体制を確立します。</p>		
<p>主なKPI</p>	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①母子手帳アプリ登録率 ②デジタル申請の利用率 ③デジタル予診票の利用率</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①母子手帳アプリの利用満足度 ②デジタル申請の利用満足度 ③子育て支援策の利用満足度</p>		